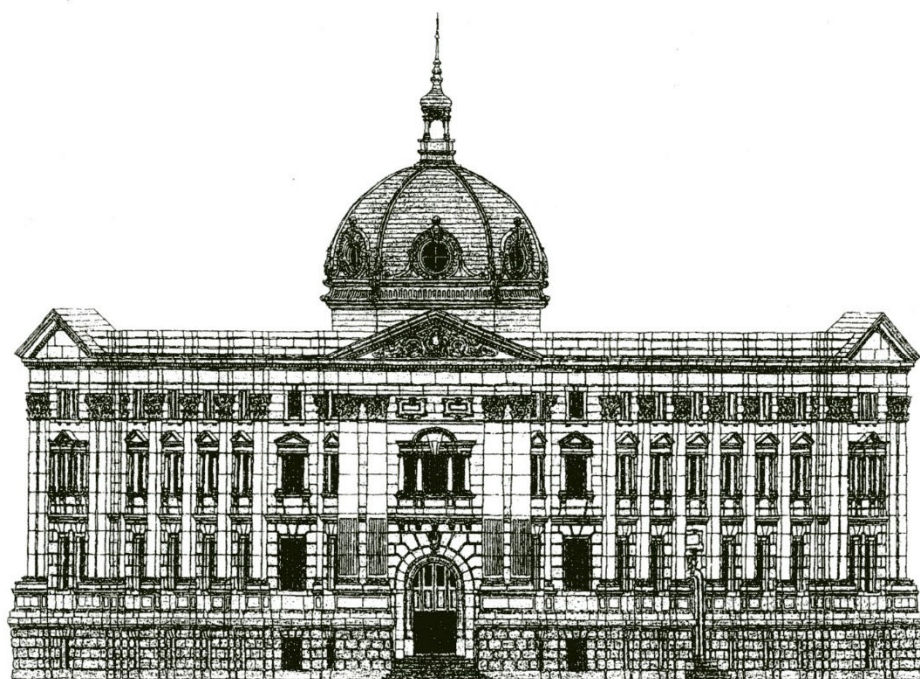


神奈川県立歴史博物館年報

令和3年度



神奈川県立歴史博物館

はじめに

新型コロナウイルス感染症の影響が、依然として厳しい中で、令和3年度を迎えました。

当館では、まん延防止等重点措置期間であった6月に2日間の臨時休館をすることになりましたが、企画していた特別展及びコレクション展は、会期を変更することなく、すべて開催することができました。

令和3年度の展覧会は、特別展「錦絵にみる明治時代」からスタートしました。明治時代の錦絵を多数収める当館が誇る「丹波コレクション」ならではの企画で、前・後期ですべての作品の展示替えを行い、明治の歩みを多くの鮮やかな作品で紹介しました。続いての特別展「重要文化財修理完成記念 十王図」では、5か年にわたる修理事業を経て、全幅を修理後初めて公開するとともに、修理過程を紹介するなど貴重な機会を提供し、特別展「開基500年記念 早雲寺」では、戦国大名北条氏の菩提寺である早雲寺とその寺宝が今日に至るまで形成された歴史的過程を捉え、大切に伝えてられてきた数々の宝物を一举に公開しました。

コレクション展では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催時期に合わせ、1964年の東京オリンピック・パラリンピックや1998年のかながわ・ゆめ国体に関する館蔵資料を紹介する「運動のすすめ」を皮切りに、「赤星直忠と神奈川県立博物館」では、「郷土史」を描くことに注がれた赤星の思いを、「帰源院文書からみた戦国時代」では、帰源院に伝わった古文書を通して小田原北条氏の事績などを紹介しました。

常設展では、当館の基本テーマである「かながわの文化と歴史」を軸に当館所蔵の資料を中心に展示するとともに、計画的な展示替えなどを行い、訪れるたびに新たな発見を見出したり興味が持ち続けられるよう努めました。

また、各学芸員は専門分野の調査研究活動を着実に進め、その成果を展示に反映させるとともに「神奈川県立博物館研究報告—人文科学—」をはじめ、様々な媒体により発表しました。

学習支援活動では、新型コロナウイルスへの対応として、特別展の展示解説や講座などで中止や日程変更、受講者数の制限なども行いましたが、オンラインによる講座配信も初めて実施しました。

ミュージアムライブラリーでは、図書の整備や、利用者一人ひとりに寄り添ったきめ細やかなレファレンス等を通じて情報提供を行いました。

ボランティアの方々の活動は、まん延防止等重点措置期間や緊急事態宣言期間も断続したため、11月からのスタートで、しかも3ヵ月足らずとなりましたが、展示室内の看視活動や新人ボランティアの育成等にご協力いただきました。

当館は、令和4年3月に、前身の神奈川県立博物館から開館55年を迎えました。また、同月、観覧料のキャッシュレス決済を新たに開始し、来観される皆様へのサービス向上につなげました。

博物館の果たすべき役割が問われている昨今、今後とも、県民の皆様に一層親しまれる博物館となるよう当館の魅力向上に努め、生涯学習の推進に尽力してまいります。

神奈川県立歴史博物館

目 次

はじめに

1 沿革・理念

- (1) 沿革…………… 3
- (2) 神奈川県立歴史博物館の理念…………… 4
- (3) 神奈川県立歴史博物館の使命と運営方針…………… 5

2 管理運営

- (1) 組織…………… 6
 - ア 組織及び分掌
 - イ 職員名簿
- (2) 歳入・歳出…………… 7
 - ア 歳入
 - イ 歳出
- (3) 入館者状況…………… 7
 - ア 入館者数
 - イ 有料入館者内訳
 - ウ 無料入館者内訳
 - エ 特別展の入館者状況
- (4) 広報・広聴…………… 9
 - ア 広報実績
 - イ ホームページアクセス件数
 - ウ Twitter ツイート数・フォロワー数
- (5) 事業評価…………… 9
 - ア 各目標値及び評価指標の達成状況
 - イ 総括
- (6) 施設概要…………… 10
 - ア 概要
 - イ 館内施設
 - ウ 館外施設
 - エ 外部協力
 - オ 平面図

3 調査・研究

- (1) 館独自の研究事業費によるもの… 14
 - ア 総合研究
 - イ 個別研究
 - ウ グループ研究
- (2) 日本学術振興会科学研究費助成事業によるもの…………… 14
- (3) その他外部研究資金によるもの… 18
- (4) 個人研究活動…………… 18
 - ア 研究報告書
 - イ 個人研究活動

4 資料収集・修理・保管・利用

- (1) 考古資料…………… 30
- (2) 歴史資料…………… 31
- (3) 美術資料…………… 34
- (4) 民俗資料…………… 36
- (5) 写真資料…………… 37
- (6) 資料の燻蒸等…………… 38
- (7) その他の資料…………… 38
 - ア 図書
 - イ 写真
 - ウ 情報システム

5 展示・教育普及・学習支援

- (1) 総合テーマ展示(常設展)…………… 41
 - (2) 特別展…………… 42
 - (3) コレクション展…………… 52
 - (4) その他の展示…………… 57
 - (5) 教育普及・学習支援事業…………… 58
 - ア 県立社会教育施設公開講座
 - イ 特別展等関連行事
 - ウ 学芸員による展示解説
 - エ ミュージアムトーク「今月の逸品」
 - オ その他の行事
 - カ 子ども・青少年向け教育普及事業
 - キ 中止した行事
 - ク 学校連携事業の状況
 - (6) ミュージアムライブラリー…………… 69
 - (7) 普及印刷物…………… 70
 - ア 図録
 - イ 広報印刷物
 - ウ 神奈川県立歴史博物館だより
 - (8) ボランティアの活動…………… 71
 - ア 活動状況及び実績
 - イ 専門研修
 - ウ その他の研修
 - (9) 博物館実習生の受け入れ…………… 72
 - ア 見学実習
 - イ 実務実習
- #### 6 資料
- (1) 条例・規則…………… 74
 - ア 神奈川県立の博物館条例
 - イ 神奈川県立の博物館組織規則
 - ウ 神奈川県立の博物館の利用等に関する規則
 - (2) 利用案内…………… 78

1 沿革・理念

(1) 沿革

昭和 38 年 6 月	神奈川県教育庁に博物館準備事務室を設置
昭和 41 年 11 月	神奈川県立博物館条例の制定により、神奈川県立博物館を設置 神奈川県立博物館組織規則の制定により、庶務部、学芸部の 2 部を置く
昭和 42 年 3 月	神奈川県立博物館開館 (20 日)
4 月	附属機関の設置に関する条例の一部改正により神奈川県博物館協議会を設置 (委員 20 名)
6 月	神奈川県立博物館組織規則の一部改正により、庶務部に庶務課、経理課の 2 課を置く
昭和 43 年 4 月	神奈川県立博物館組織規則の一部改正により、学芸部に学芸課、人文課、自然課の 3 課を置く
昭和 44 年 3 月	旧館である旧横浜正金銀行本店が国の重要文化財に指定される
7 月	神奈川県立博物館組織規則の一部改正により、庶務部を管理部に、庶務課を管理課に名称変更
昭和 47 年 8 月	神奈川県立博物館組織規則の一部改正により、学芸部の各課の名称を廃し、企画調整課、学芸第一課、学芸第二課及び学芸第三課の 4 課を置く
昭和 49 年 8 月	神奈川県立博物館組織規則の一部改正により、管理部に施設保全課を置く
昭和 52 年 5 月	神奈川県立博物館組織規則の一部改正により、学芸部の各課を廃止
昭和 53 年 9 月	文部省学術研究機関の指定を受ける
昭和 55 年 2 月	入館者数 100 万人達成
昭和 62 年 4 月	第 2 次新神奈川計画の重点政策「文化施設 21 世紀構想」の一環として、博物館再編整備事業策定
昭和 63 年 12 月	神奈川県立博物館整備構想懇談会が「神奈川県立博物館整備構想に関する提言－自然系博物館・人文系博物館の基本的な考え方－」を提出
平成 2 年 3 月	人文系博物館の整備計画・展示計画策定
平成 3 年 3 月	博物館総合情報システム整備計画、資料収集計画を策定
平成 4 年 3 月	展示基本設計
平成 5 年 3 月	改修工事基本・実施設計、展示工事実施設計
4 月	県立博物館休館(～7 年 3 月)
10 月	改修工事及び展示工事開始
平成 6 年 11 月	改修工事終了
平成 7 年 1 月	神奈川県立博物館条例改正に伴い「神奈川県立博物館」は「神奈川県立歴史博物館」と名称変更、神奈川県立博物館組織規則の一部改正により、企画情報部に企画普及課及び情報資料課の 1 部 2 課を置き、管理部の施設保全課を廃止
3 月	展示工事終了、博物館情報システムの一部稼働開始 神奈川県立歴史博物館開館(18 日)
6 月	国の史跡に指定される
平成 9 年 7 月	博物館ボランティアが活動を開始
平成 11 年 2 月	金銅装笈・椿彫木朱漆笈・清拙正澄墨跡・石室善攻墨跡・源頼朝袖判下文・源頼家袖判下文が県の重要文化財に指定される 神奈川の職人の道具(17 職種 1,982 点)が県の有形民俗文化財に指定される
4 月	重要文化財の公開承認施設として文化庁から承認される

- 平成 13 年 1 月 三浦市間口洞窟遺跡出土品(450 点)が県の重要文化財に指定される
- 3 月 附属機関の設置に関する条例の一部改正により、神奈川県博物館協議会を廃止
- 平成 18 年 4 月 神奈川県立博物館組織規則の一部改正により、管理部管理課と経理課を統合し管理課に改め、企画情報部企画普及課、情報資料課及び学芸部の 2 部 3 課となる
- 平成 19 年 11 月 旧館である旧横浜正金銀行本店が、経済産業省により近代化産業遺産(横浜港周辺の関連建築物群)に認定される
- 平成 21 年 8 月 入館者数 200 万人達成
- 平成 28 年 6 月 空調設備等改修工事のため休館(～平成 30 年 4 月)
- 9 月 事務室を(宇徳ビル 6 階に)移転
- 10 月 空調設備等改修工事開始
- 平成 29 年 12 月 空調設備等改修工事終了
- 平成 30 年 4 月 空調設備等改修工事終了に伴い、博物館業務を再開

(2) 神奈川県立歴史博物館の理念

神奈川県立歴史博物館の前身は昭和 42 年開館の神奈川県立博物館である。昭和 62 年から自然系と人文系が分離分館する再編整備の検討が行なわれ、平成 7 年のリニューアル開館に至るまで、3 回にわたって博物館活動の理念やテーマが検討・提案された。

ア 検討・提案の経緯

- (ア) 昭和 63 年 12 月、神奈川県立博物館整備構想懇談会から提出された「神奈川県立博物館整備構想に関する提言－自然系博物館・人文系博物館の基本的な考え方－」(以下「提言」という。)
- (イ) 平成 2 年 3 月に策定された「神奈川県立人文系博物館(仮称)整備計画」(以下「整備計画」という。)
- (ウ) 平成 7 年 3 月の再編整備時に作られた「神奈川県立歴史博物館概要説明」(以下「概要」という。)

イ 活動理念・テーマ

(ア) 「提言」における活動理念・テーマ

a 人文系博物館の「意義」(「提言」を要約、抜粋)

- (a) 文化の視点からの未来の探求
- (b) 考古、歴史、美術、民俗等を統合化した新しい文化史の創造
- (c) 歴史的、文化的特色による神奈川のアイデンティティの探求
- (d) 振幅の大きな神奈川の歴史にみる人々の生き方の探求
- (e) 神奈川の文化と内外の文化との交流や相互関係の探求
- (f) 文化史的意義のある資料の集積と後世への継承

b 「基本テーマ」等の設定

(a) 基本テーマ：「文化の交流と変容」

上記の意義を踏まえ、また、神奈川の文化と歴史を専門的かつ学際的な観点から総合的にとらえる唯一の博物館として活動していくため、基本テーマが設定された。

(b) サブテーマ：「神奈川の文化と歴史を考える」「日本・世界の神奈川を考える」

空間的、時間的な広がりのある視点や、先人から受け継がれた地域の固有性をとらえる視点に立って 2 つのサブテーマが設定された。

(c) 展開の視点

これらの基本テーマ、サブテーマを、展示をはじめとした様々な博物館活動に反映させるため、次のような展開の視点が設けられた。

- [継 承] 各時代の文化と時代を超えて継承される文化を歴史の流れの中でとらえる
- [交 流] 他の国や他の地域との文化交流を空間的、時間的広がりの中でとらえる
- [変 容] 文化の変容をダイナミックにとらえる
- [風 土] 文化の特色を地域風土を通してとらえる

(イ) 「整備計画」における活動理念・テーマ

上記「提言」を受け、平成2年に「整備計画」が策定され、再編整備の具体的な内容がまとめられたが、「提言」における博物館の意義、性格、基本テーマなどは、歴史博物館のあるべき姿を示す目標・指針として継承されることとなった。

(ウ) 「概要」における活動理念・テーマ

平成7年のリニューアル開館に際して作成された「概要」では、当館を「かながわの文化と歴史」を総合的に扱う博物館と位置付けて博物館活動の基本テーマとし、展示テーマを「文化の交流と変容」とすることが示された。

(3) 神奈川県立歴史博物館の使命と運営方針

当館が令和元年度に作成した「神奈川県立歴史博物館評価書（社会教育施設個別評価）」では、当館の使命と運営方針を次のように定めている（事業評価の概要については9ページを参照）。

ア 神奈川県立歴史博物館の使命

神奈川県立歴史博物館は、「かながわの歴史と文化」を通史的・総合的に扱う唯一の博物館として、県民や利用者が「かながわ」への理解を深め、「かながわ」に魅力を感じ、「かながわ」の新たな価値を見出すことができる博物館活動を展開します。

イ 神奈川県立歴史博物館の運営方針

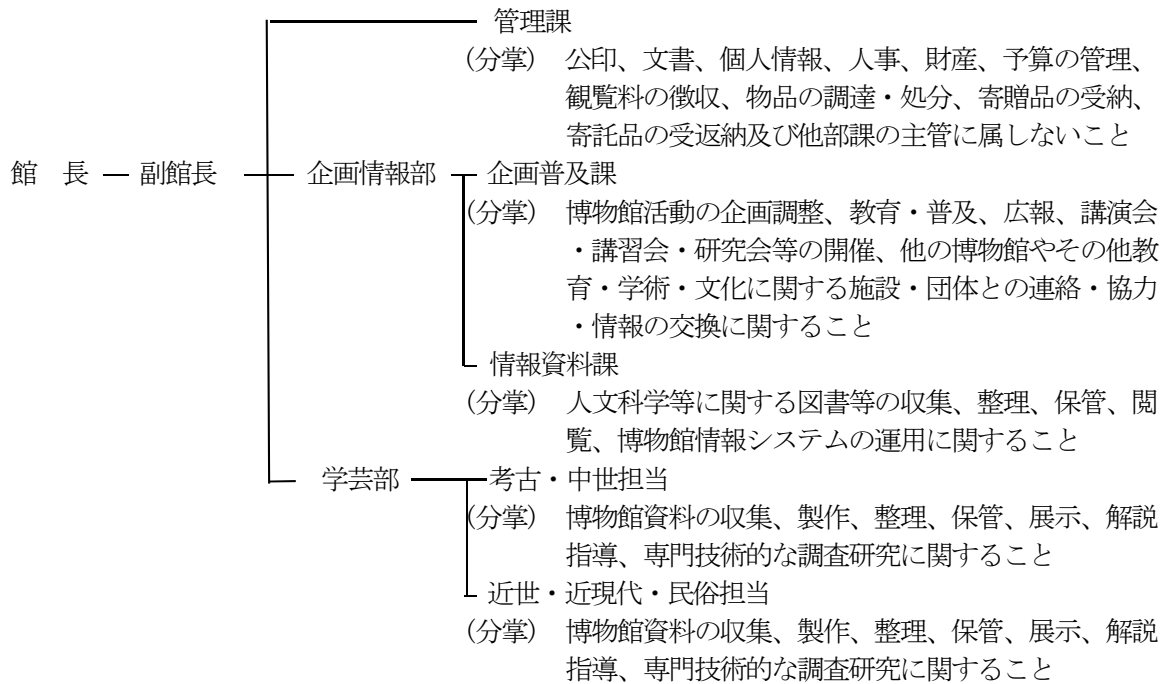
かながわの歴史や文化に関する様々な貴重な資料を適切に保存・活用し、未来につなぐとともに、専門性を発揮した調査研究活動を着実に進め、特色を生かした魅力ある展示や講座等を展開し、地域や関係機関等とも連携しながら、人生100歳時代において生涯にわたる県民の学びを支援します。

2 管理運営

(1) 組織

(令和3年4月1日現在)

ア 組織及び分掌



イ 職員名簿

館長	望月 一樹	非常勤写真職	荒井 孝則
副館長	吉田 浩	非常勤写真職	井上 久美子
管理課長	原田 真奈美	非常勤資料整理員	檜皮 千穂
管理課 副主幹	岡本 桂子	非常勤資料整理員	加茂 たがね
主査	上松 純子	非常勤事務補助員	三瓶 裕子
主事	笠原 美佐子	非常勤事務補助員	神津 由紀子
主任専門員	竹内 廣一	非常勤事務補助員	濱本 明海
非常勤事務補助員	西村 純子	非常勤図書整理員	深野 亜希子
非常勤事務補助員	沼田 とも子	非常勤図書整理員	京極 順子
非常勤事務補助員	佐々木 誠	学芸部長	丹治 雄一
非常勤事務補助員(9月～)	内田 忠男	業務専門員	新井 実
非常勤自動車運転員	大塚 清志	非常勤事務補助員	杉山 誠
企画情報部長兼企画普及課長	小森 晴美	非常勤資料整理員	吉澤 智恵子
企画普及課 主査	岡田 和子	非常勤資料整理員	中村 栄貴
主任主事	田村 佳大	(考古・中世担当)	
主任学芸員(兼務)	桑山 童奈	主任学芸員	千葉 毅
学芸員(兼務)	渡邊 浩貴	学芸員	神野 祐太
非常勤博物館学習指導員	沼尻 港	学芸員	橋本 遼太
非常勤事務補助員	松井 礼子	学芸員	渡邊 浩貴
非常勤事務補助員	野島 愛子	学芸員	梯 弘人
非常勤資料整理員	渡邊 実華子	臨時学芸員	佐藤 登美子
非常勤学芸員	豊田 倫子	(近世・近現代・民俗担当)	
非常勤学芸員	市野 悦子	主任学芸員	嶋村 元宏
非常勤学芸員(～5月)	福田 真由美	主任学芸員	桑山 童奈
非常勤学芸員(6月～)	下田 充代子	主任学芸員	角田 拓朗
情報資料課長	宇賀田 信	主任学芸員	新井 裕美
情報資料課 主査	小川 和哉	学芸員	武田 周一郎
主任専門員	森 由紀	学芸員	寺西 明子
業務専門員	能勢 悦子	非常勤学芸員	根本 佐智子
非常勤司書	鈴木 隆雄	非常勤学芸員	三浦 麻緒

(2) 歳入・歳出

ア 歳入

(単位：千円)

科 目	金 額	内 訳
教育使用料	9,637	観覧料収入、目的外使用許可使用料
教育費国庫補助金	2,900	国庫補助金
公有財産売却収入	185	ぐるっとパス清算金
教育事業収入	1,602	図録販売収入
教育受講料収入	143	県立社会教育施設公開講座受講料
教育立替収入	252	ミュージアム・ショップ、喫茶等の光熱水費
雑入	20	複写代
合 計	14,739	

イ 歳出(人件費含まず)

(単位：千円)

事 業 名	金 額	内 訳
教育施設維持修繕費	1,163	施設・設備の修繕
教育施設各所営繕費	2,376	設備の改修
県立社会教育施設公開講座事業費	205	講座の開催
維持運営費	70,568	維持管理(電気、ガス代を除く)・事業運営
博物館事業費	21,993	展示事業、調査研究、資料整備、学習支援等
情報システム整備費	43,431	システム運用、データ入力等
合 計	139,736	

(3) 入館者状況

ア 入館者数

(単位：名)

月	展示室入館者			フリーゾーン 利用者	合 計
	有料入館者	無料入館者	小 計		
4	1,362	452	1,814	191	2,005
5	3,288	1,242	4,530	179	4,709
6	2,291	1,468	3,759	106	3,865
7	1,892	1,241	3,133	16	3,149
8	2,450	1,072	3,522	45	3,567
9	1,094	352	1,446	67	1,513
10	2,565	1,155	3,720	83	3,803
11	5,923	3,769	9,692	315	10,007
12	2,549	2,797	5,346	302	5,648
1	1,319	724	2,043	204	2,247
2	1,031	479	1,510	78	1,588
3	1,640	2,665	4,305	437	4,742
合計	27,404	17,416	44,820	2,023	46,843

6月3日(木)、4日(金) 臨時休館

4月1日(木)～10月24日(日)、令和4年1月21日(金)～3月21日(月・祝) 事前予約に限り入館可能

イ 有料入館者内訳

(単位：名)

月	個人				団体(団体扱い含む)				合計
	20歳以上	20歳未満	高校生	65歳以上	20歳以上	20歳未満	高校生	65歳以上	
4	639	82	64	276	267	12	0	22	1,362
5	1,116	149	66	440	1,198	87	0	232	3,288
6	889	109	64	359	634	56	0	180	2,291
7	817	130	45	250	535	32	0	83	1,892
8	928	145	78	297	758	80	0	164	2,450
9	648	87	9	170	172	8	0	0	1,094
10	883	120	34	538	725	46	0	219	2,565
11	1,655	224	174	1,316	1,648	120	0	786	5,923
12	893	138	115	586	540	46	0	231	2,549
1	659	80	12	286	272	10	0	0	1,319
2	586	56	18	189	172	10	0	0	1,031
3	797	110	102	345	270	16	0	0	1,640
合計	10,510	1,430	781	5,052	7,191	523	0	1,917	27,404

ウ 無料入館者内訳

(単位：名)

月	条例別表備考欄指定の無料入館者				減免による無料入館者							合計
	未就学 幼児	小学生	中学生	特別 支援 学校	高校生	生徒 引率 者	優待 券	招待券	障が い者	ぐるっ とハッ ス入場券	その 他	
4	17	166	18	0	16	6	0	24	52	43	110	452
5	20	167	423	0	9	28	9	257	118	101	110	1,242
6	15	310	456	0	6	38	3	400	101	52	87	1,468
7	29	394	366	0	10	33	6	195	69	51	88	1,241
8	44	198	71	0	0	6	4	353	90	106	200	1,072
9	27	91	22	0	0	2	0	5	67	57	81	352
10	13	341	100	0	41	38	14	217	137	116	138	1,155
11	17	706	1,442	8	41	131	10	782	192	177	263	3,769
12	23	707	1,136	0	170	100	6	351	83	131	90	2,797
1	20	254	96	8	35	28	4	14	65	96	104	724
2	24	143	46	0	48	22	2	21	42	95	36	479
3	20	222	2,065	24	0	88	6	18	60	92	70	2,665
合計	269	3,699	6,241	40	376	520	64	2,637	1,076	1,117	1,377	17,416

エ 特別展の入館者状況(前掲表内数)

(単位：名)

特 別 展 名	有料入館者	無料入館者	合 計
錦絵にみる明治時代	2,821	1,301	4,122
重要文化財修理完成記念 十王図	1,570	1,293	2,863
開基 500 年記念 早雲寺	4,814	2,340	7,154
合 計	9,205	4,934	14,139

(4) 広報・広聴

ア 広報実績

令和3年度の広報実績は次のとおり(館のPR、特別展・テーマ展、催しもの等)。

(単位：件)

媒体別	紙媒体				電波媒体		インター ネット	計
	新聞	雑誌	単行書	その他	テレビ	ラジオ		
件数	101	15	0	9	7	6	98	236

イ ホームページアクセス件数

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
HP	140,264	133,281	136,483	154,331	144,397	123,009	149,864	164,143	139,973	137,740	111,736	123,965	1,659,186

参考(内数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
デジタル ミュージアム	1,467	1,328	1,224	2,112	1,530	1,291	1,445	1,726	1,364	1,486	1,133	1,032	17,138

ウ Twitter ツイート数・フォロワー数

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
Twitter ツイート数	25	36	37	31	30	34	31	30	32	32	31	44	393
Twitter フォロワー数	9,842	9,863	9,884	9,925	9,941	10,047	10,114	10,190	10,226	10,285	10,367	10,439	-

(5) 事業評価

平成30年度から県立社会教育施設(県立図書館、県立川崎図書館、金沢文庫、近代美術館、生命の星・地球博物館、当館)において、事業評価を実施することとし、全館共通の評価項目による「社会教育施設評価書(目標設定・実施結果)」(以下、全館共通評価)を作成している。

また、令和元年度からは、全館共通評価に加えて、「神奈川県立歴史博物館評価書(社会教育施設個別評価)」(個別評価)を作成し、当館が独自に設定した評価指標による事業評価をあわせて実施している。

令和3年度における事業評価の概要は次のとおりである。

ア 各目標値および評価指標の達成状況

	達 成 (目標値 ≥ 100%)	ほぼ達成 (目標値 ≥ 80%)	未 達 (目標値 < 80%)	—
全館共通項目	5	6	0	1
個別評価項目 (定量評価)	7	6	0	3

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴う臨時休館等が達成値へ大きな影響を与えた項目については「達成度」を記載せず「—」とした。

	達 成 (チェックリストクリア数 80%以上)	ほぼ達成 (同クリア数 50%以上80% 未満)	未 達 (同クリア数 50%未満)
個別評価項目 (定性評価)	14	0	0

イ 総括

新型コロナウイルス感染症による影響 [令和3年6月3日(木)・4日(金)を臨時休館、令和3年4月1日(木)から10月24日(日)まで、令和4年1月21日(金)から3月21日(月・祝)までは当館HPから事前予約した方に限り入館可能。] は大きく、観覧者や講座等参加者、学校の団体利用を含む入館者数、観覧料及び事業等収入もコロナ禍前と比べると大きく減少した。しかし令和2年度と比べ、令和3年度は緩やかではあるが回復傾向にある。これは、担当学芸員の独自企画による展示の魅力はもとより、展示内容紹介の特設ページをHP上に開設するなどの工夫や、HP・ツイッター等による継続的な情報発信なども寄与したと考える。特にツイッターについては令和3年9月にはフォロワーが1万人を超え、その後も順調に増え続けていることは特筆すべきことである。また、令和2年度から新たな取組としてホームページ上に開設した「おうちでかながわけんぱく」について、当初はおうち時間が増えた子どもを対象としていたが、令和3年度は大人にも興味を持ってもらえるようなコンテンツも追加し、引き続き内容の充実に努めた。今後も感染症対策に万全を期して運営を継続するとともに、オンラインによる展示の補完や講座をはじめとして、ウィズコロナ、アフターコロナにおける博物館活動について検討を進める必要がある。

(6) 施設概要

ア 概要

(ア) 施設の規模

敷地面積	4,160.82 m ²
構造	石・煉瓦造り(一部鉄筋コンクリート造り)地上3階・地下1階
延床面積	10,565.47 m ²
部門別面積	展示部門＝約3,896 m ² 、学習支援部門＝約386 m ² 、収蔵部門＝約619 m ² 研究部門＝約1,306 m ² 、サービス部門＝約438 m ² 、管理部門＝約1,251 m ² その他共用部分＝約2,670 m ²

(イ) 建物の特徴

旧館部分	旧横浜正金銀行本店本館(明治37年(1904)竣工、設計：妻木頼黄) ネオ・バロック様式
新館部分	神奈川県立博物館として新築(昭和42年(1967))
指定状況	国指定重要文化財(建物旧館部分・昭和44年(1969)3月12日指定) 国指定史跡(平成7年(1995)6月27日指定)

(ウ) 施設の状況

- 1 階：【展示室、学習支援関係諸室】
特別展示室、コレクション展示室、
ミュージアムライブラリー、ミュージアムショップ、喫茶室、情報処理室 等
- 2 階：【展示室、管理課・企画情報部関係諸室】
総合テーマ展示室(近世・近代・現代、民俗)
館長室、管理課、企画情報部、応接室、図書整理室、書庫 等
- 3 階：【展示室、学芸部関係諸室】
総合テーマ展示室(古代・中世)
学芸部、資料整理室、保存修復処置室/印刷室、作業室 等

地下1階：【講堂、バックヤード諸設備】

講堂、写場、写真整理室、その他機械室 等

イ 館内施設

1階のフリーゾーンには来館者のために次の施設がある。

(ア) ミュージアムショップ

博物館の刊行物(展示解説書、特別展図録)をはじめ、神奈川の文化や歴史に関する書籍、所蔵資料の絵はがき、博物館見学の記念になるような品々を販売する。運営は民間の企業が行っている。

(イ) 喫茶室 (喫茶ともしび)

来館者に休憩してもらえるように喫茶室がある。喫茶の他、軽食を提供し、店内には県内の福祉施設で作られた品々も販売されている。運営は「社会福祉法人 県央福祉会」が行い、知的障がい者の就業の場ともなっている。

(ウ) ミュージアムライブラリー

県民の学習活動を支援する場として設置している。図書、情報システム端末(デジタルミュージアム用)などがあり、展示を中心とした神奈川の歴史や文化について学ぶことが出来る。

ウ 館外施設

昭和42年(1967)の開館以来継続的に収集してきた資料により、館内の収蔵庫の狭隘化が進行してきたため、現在、神奈川県教育委員会生涯学習部文化遺産課が所管する「文化遺産課収蔵センター」(旧神奈川県立野庭高等学校校舎)の一角を「野庭資料庫」(旧体育館、面積3,100.84㎡)として占有し、民俗資料等の一部を収蔵している。

エ 外部協力

神奈川県立歴史博物館には、県内の博物館の質的向上や文化財に対する普及啓発を行う次の外部団体の事務局が設置されている。

(ア) 神奈川県文化財協会

昭和29年(1954)から活動している任意団体である。現在は会員に対しての講演会、見学会など文化財に関する知識の啓発活動を中心に活動している。協会員数190人(令和3年4月1日現在)。

事務局長	副館長	吉田 浩
事務局次長	学芸部長	丹治 雄一
事務局員	企画普及課長	小森 晴美
〃	学芸員	橋本 遼太
〃	学芸員	渡邊 浩貴
〃	副主幹	岡本 桂子
〃	主査	上松 純子
〃	主事	笠原 美佐子
〃	専門員	新井 実

(イ) 神奈川県博物館協会

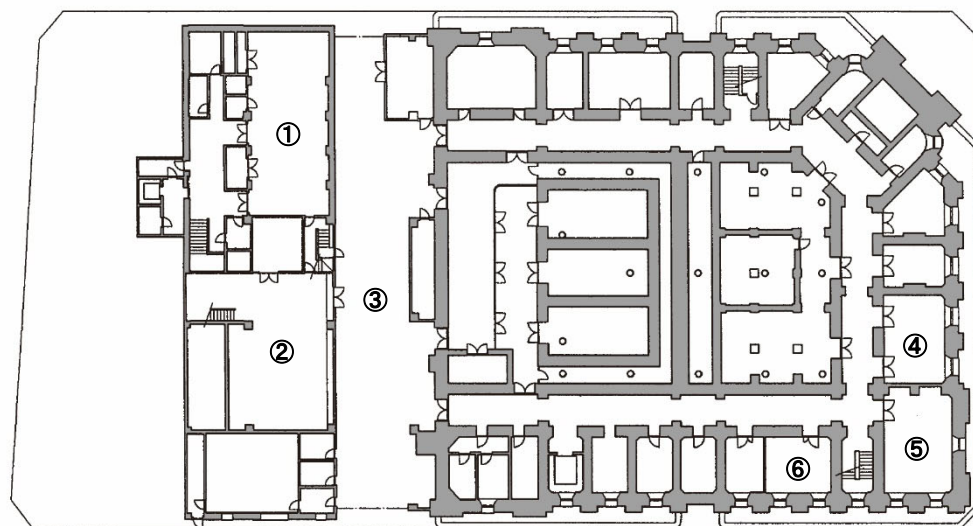
昭和30年(1955)から活動している県内博物館施設の任意団体で、博物館のPR、職員の研修、会報の発行など各種活動を行っている。加盟館園数98館(令和3年4月1日現在)。

会長	館長	望月 一樹
事務局長	副館長	吉田 浩
事務局次長	学芸部長	丹治 雄一
人文科学部会幹事	学芸員	神野 祐太
機能研究部会幹事	主任学芸員	新井 裕美
事務局員	主任専門員	竹内 廣一
〃	非常勤事務補助員	杉山 誠

オ 平面図

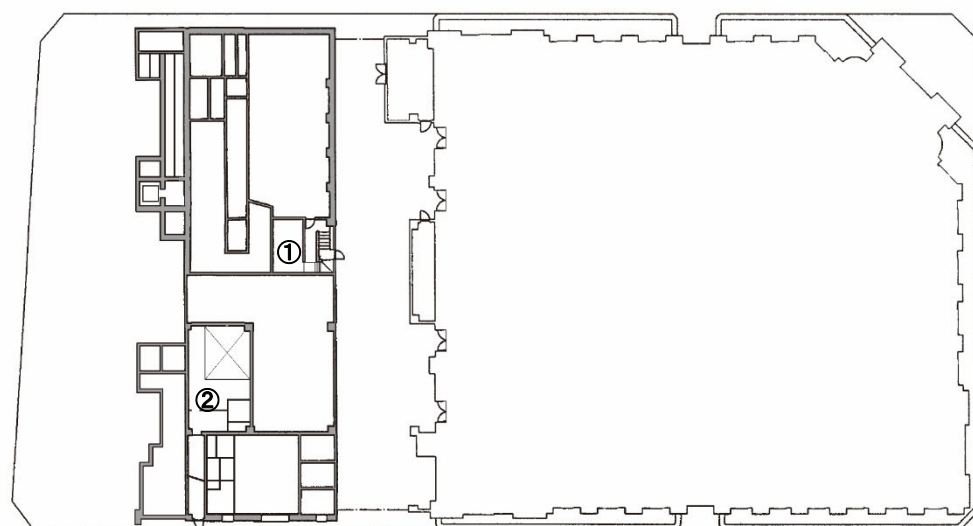
地階

- ①講堂
- ②空調機械室
- ③サービスヤード
- ④展示準備室
- ⑤写場
- ⑥写真整理室



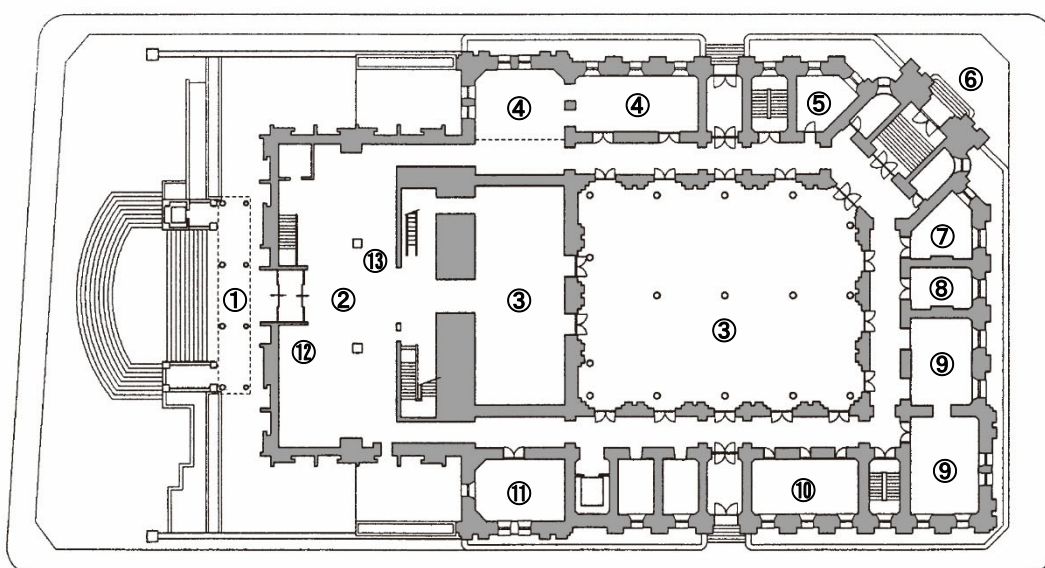
中1階

- ①映写室
- ②中央監視室



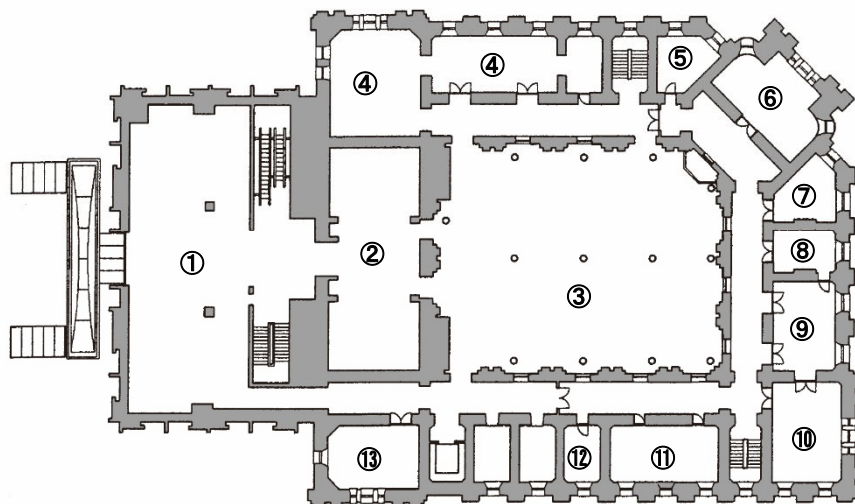
1階

- ①正面玄関
- ②エントランスホール
- ③特別展示室
- ④コレクション展示室
- ⑤ボランティアルーム
- ⑥馬車道玄関
- ⑦情報処理室
- ⑧書庫
- ⑨ミュージアム
ライブラリー
- ⑩会議室
- ⑪喫茶室
- ⑫ミュージアム
ショップ
- ⑬総合受付



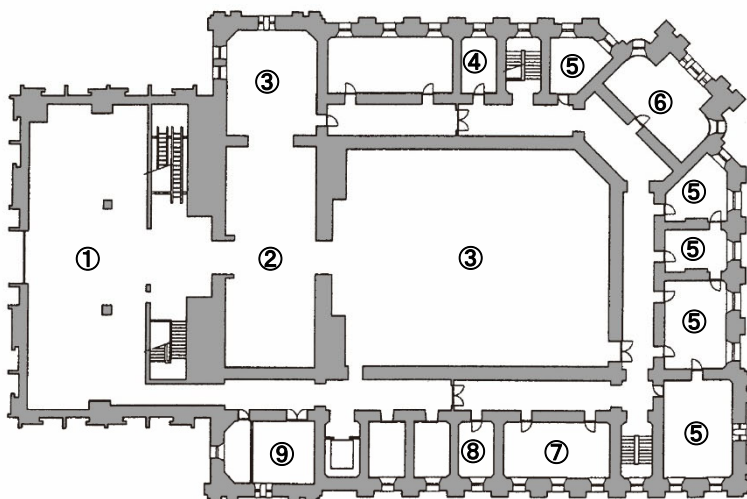
2階

- ①総合テーマ展示室 テーマ 3
- ②総合テーマ展示室 テーマ 4
- ③総合テーマ展示室 テーマ 4/5
- ④総合テーマ展示室 テーマ 5
- ⑤図書整理室
- ⑥書庫
- ⑦電話交換室
- ⑧館長室
- ⑨応接室
- ⑩管理課室
- ⑪企画情報部室
- ⑫第2 応接室
- ⑬空調機械室



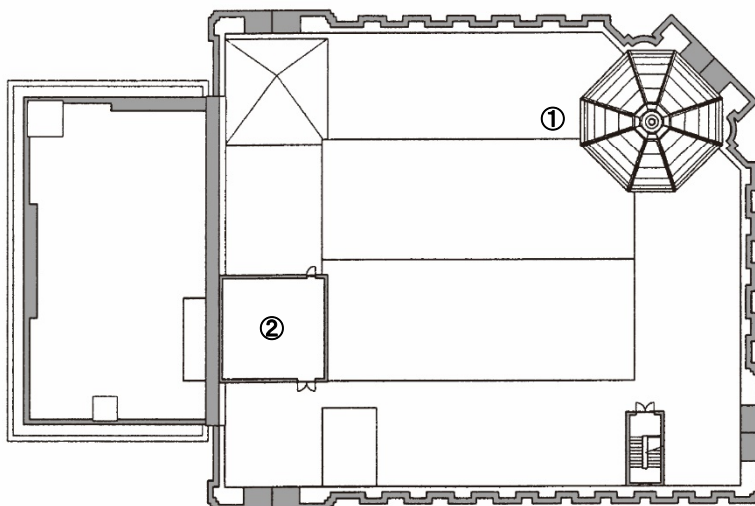
3階

- ①総合テーマ展示室 テーマ 1
- ②総合テーマ展示室 テーマ 1/2
- ③総合テーマ展示室 テーマ 2
- ④畳敷作業室
- ⑤資料整理室
- ⑥保存修復処置室／印刷室
- ⑦学芸部室
- ⑧共同作業室
- ⑨空調機械室



屋上

- ①ドーム
- ②空調機械室



3 調査・研究

(1) 館独自の研究事業費によるもの

ア 総合研究

研究課題：横須賀市満願寺出土中世瓦の分析を通じた永福寺式瓦と鎌倉御家人の総合研究

研究代表者：学芸員 渡邊 浩貴

研究分担者：伊豆の国市教育委員会 池谷 初恵 氏、鎌倉市教育委員会 押木 弘巳 氏、公益財団法人かながわ考古学財団 高橋 香 氏、横須賀市教育委員会 中三川 昇 氏

研究期間：令和3～5年度

概要：鎌倉幕府有力御家人の三浦一族の拠点・横須賀市満願寺から出土した大量の中世瓦を調査・分類し、瓦製作に関する技法や様式、産地（尾張国八事裏山窯遺跡出土瓦など）、編年という基礎的な作業を通じて、三浦一族の動向を地域社会のなかから明らかにするものである。本年度は横須賀市自然・人文博物館所蔵の満願寺出土中世瓦の調査・整理・分類を行い、報告書作成のための基礎データの収集を実施した。

イ 個別研究

研究課題：『鈴木藤助日記』の基礎的整理 藤助と留五郎

研究代表者：学芸員 寺西 明子

研究期間：令和3年度

概要：川崎市多摩区・宮前区鈴木快輔家文書について、資料整理及び調査と、特に『鈴木藤助日記』の基礎的整理を行った。藤助から留五郎に家督が移行する際実施された地租改正業務を通して、留五郎の性格や職務を把握し、「日記の書き手」としての留五郎を考察した。

ウ グループ研究

次のテーマでグループごとに研究を進めている。

考古：神奈川県内遺跡・遺物調査

中世：宋風文化の研究

近世・近代：横浜の木版印刷に関する基礎的研究

現代：戦後横浜における映画館活動に関する基礎的研究

民俗：民俗社会における贈答慣行

(2) 日本学術振興会科学研究費助成事業によるもの

神奈川県立博物館であった昭和53年度から、文部省学術研究機関の指定を受け、科学研究費補助金が交付されるようになった。神奈川県立歴史博物館に機構変更後も継続して指定されている。令和3年度の採択は13件である。

ア 研究種目名：基盤研究(B)

課題番号：19H01677

研究課題：明治期図画手工教科書データベースの充実と活用に基づく教科横断的学習の史的研究

研究代表者：岡山大学 教授 赤木 里香子 氏

研究分担者：主任学芸員 角田 拓朗

研究期間：令和元～3年度

研究実績概要：データベース作成のための、データ整理及び入力を進め、令和3年12月に本格稼働を開始した。令和3年9月に明治美術学会、令和4年3月に美術科教育学会にて研究成果報告を行った。また、最終年度として研究論考にかかる調査研究に着手し、令和4年3月に研究成果報告書を刊行した。令和3年9月からはトピック展示「横浜美術史」のなかで研究成果の一部を公開するなど、普及事業の実践にも努めた。

イ 研究種目名：基盤研究(B)

課題番号：19H01313

研究課題：西還・北還東国武士の社会的権力化

研究代表者：国立歴史民俗博物館 准教授 田中 大喜 氏

研究分担者：学芸員 神野 祐太、学芸員 渡邊 浩貴

研究期間：令和元～4年度

研究実績概要：本年度は新型コロナウイルス感染症予防の観点及び緊急事態宣言発出期間があり、県外調査の実施が困難であった。そのため前年度に実施した佐賀県小城市でのフィールド調査で得られた調書やデータの整理、関連する文献調査を行った。

ウ 研究種目名：基盤研究(B)

課題番号：20H01314

研究課題：オランダ別段風説書の研究

研究代表者：青山学院大学 教授 岩田 みゆき 氏

研究分担者：主任学芸員 嶋村 元宏

研究期間：令和2～4年度

研究実績概要：本研究は、アヘン戦争を契機として、従来の「風説書」とは別にオランダ船が日本へもたらした、詳細で体系的な海外情報である「別段風説書」について、その内容と国内における動向を研究するものである。研究分担に従い、オランダ別段風説書の活用について研究を進めている。新型コロナウイルスの感染拡大により、令和2年度に実施できなかった上田市立博物館、真田宝物館、古河歴史博物館、東北大学附属図書館における史料調査を行った。それらにより、オランダ別段風説書をはじめとする海外情報の伝達ルートについて、仙台藩儒大槻磐溪と古河藩家老鷹見泉石との関係、ペリー来航時の探索方の身分と姓名、伝写者の姓名等を新たに明らかにした。横浜開港資料館、三井文庫史料館、佐賀県立図書館、武雄市歴史館、長崎歴史文化博物館、関西大学図書館、神戸大学附属図書館、弘前市立博物館及び個人が所蔵する史料について調査を行い、必要箇所をデジタルカメラ撮影により収集した。その結果、「和蘭告密御受取始末」の伝播状況について、林大学頭復齋の儒者の日記他、複数の史料から明らかにできた。また、弘前市立博物館が所蔵する津軽家文書に別段風説書などの海外情報の請書が含まれており、幕府から大名家への伝達事例について確認できた。

エ 研究種目名：基盤研究(C)

課題番号：18K00951

研究課題：幕末期地方藩士による江戸在勤日記の基礎的研究

研究代表者：非常勤学芸員 根本 佐智子

研究協力者：元学芸員 古宮 雅明 氏、学芸員 寺西 明子

研究期間：平成30～令和3年度

研究実績概要：本年度は研究成果報告書の編集作業及び版組を行った。報告書には当館所蔵『松平造酒助江戸在勤日記』の全文翻刻を、彩色の挿絵はカラー図版として掲載した。また、鶴岡市郷土資料館所蔵「松平武右衛門文書」のうち、父が江戸在勤中の父宛造酒助書簡、造酒助江戸在勤中国元宛同書簡、造酒助帰国後江戸在勤中弟弓矢多宛同書簡を翻刻掲載した。『松平造酒助江戸在勤日記』・「松平武右衛門文書 造酒助書簡」を分析した論考も執筆した。令和4年3月より常設展示テーマ3トピック展において「江戸在勤武士の江ノ島日帰り旅」として、造酒助部下の江ノ島見物の様子を取上げ紹介した。この展示を基に当館HP「おうちでかながわけんぱく」において、該当箇所の古文書解説に挑戦する「おうちでみきのすけ」を作成した（公開は令和4年4月2日）。令和5年2月特別陳列「松平造酒助江戸在勤日記―武士の絵日記―」展の開催が決定し、その準備も開始した。

オ 研究種目名：基盤研究 (C)

課題番号：18K01111

研究課題：岩石・石材を素材とした歴史系および自然系博物館による地域学習プログラムの協働開発

研究代表者：学芸部長 丹治 雄一

研究分担者：神奈川県立生命の星・地球博物館情報資料課長 山下 浩之、同主任学芸員 田口 公則

研究期間：平成30～令和3年度

研究実績概要：本研究は、岩石・石材を素材にして、神奈川県内の各地域における大地の形成（自然的条件）とそこで展開された人間の営み（歴史的事象）を地域の歴史として一体的に捉え、理解し学ぶことができる地域学習プログラムを、歴史系博物館である神奈川県立歴史博物館と自然史系博物館である神奈川県立生命の星・地球博物館の学芸員の文理融合の研究組織による協働研究で作成し、その実践を行うことで、地域の歴史に対する理解の促進に資することを目的としている。研究期間を延長した今年度は、着手中の県西地域、県央地域、横浜・川崎地域、三浦半島地域の学習プログラムの実践と改善を行った。今年度は三浦半島地域の中学校で授業型プログラムの実践を行えたことが特筆される。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により、プログラム改善のために必要となる資料調査や現地調査が積み残しとなった。研究期間を再延長することとしたので、資料調査や現地調査の成果を盛り込み、学習プログラムを完成させることが最終年度の課題である。

カ 研究種目名：基盤研究(C)

課題番号：18K12252

研究課題：相模川中流域の仏像彫刻に関する調査研究

研究代表者：学芸員 神野 祐太

研究期間：平成30～令和3年度

研究実績概要：本年度は、最終年度のため過去の調査ノートや画像資料を整理し研究成果報告書の作成・刊行をおこなった。本研究で実査を行った16件の仏像について報告した。また、『神奈川県立博物館研究報告（人文科学）』第48号に「海老名・龍峰寺千手観音菩薩立像について」を發表し、龍峰寺千手観音像の製作年代について論じた。一方で調査の計画を立てていたが、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、県内外の寺院への調査は中止した。

キ 研究種目名：基盤研究(C)

課題番号：19K00187

研究課題：近代日本美術史における大倉孫兵衛の活動に関する総合的調査研究

研究代表者：主任学芸員 角田 拓朗

研究期間：令和元～3年度

研究実績概要：基礎文献・資料等の収集を実施し、当館が寄託をうけている《大倉孫兵衛旧蔵錦絵画帖》の目録整備とその分析を実施した。研究成果公開の一環として、令和3年4月開催予定の美術史学会東支部例会にて口頭発表を行った。関連して、森村組輸出台帳の調査を行った。その最終的な成果のまとめとして、令和4年3月に研究成果報告書を刊行した。さらに、同年7月発行の『國華』1521号に論考を掲載した。

ク 研究種目名：基盤研究(C)

課題番号：19K01218

研究課題：南関東地方における湯立神楽の基礎的研究

研究代表者：主任学芸員 新井 裕美

研究分担者：非常勤学芸員 三浦 麻緒、横須賀市自然・人文博物館学芸員 瀬川 渉 氏、帝京大学 高久 舞 氏

研究協力者：横浜市歴史博物館 羽毛田 智幸 氏、

研究期間：令和元～3年度

研究実績概要：本研究は、神奈川県内及び本県周辺で奉納される湯立神楽を分析対象として、地域研究の一助とすることを目的とする。現在でも相模国鎌倉郡・同国三浦郡・武蔵国久良岐郡・同国橋樹郡・房総半島等では湯立神楽が盛んに奏される。これを大別すると鎌倉鶴

岡八幡宮に奉仕していた職掌家に依る「職掌系湯立神楽」と職掌家に依らない「非職掌系湯立神楽」があり、後者の発生は前者の伝播に因るとされてきた。そのため従来の研究では、専ら前者に関心が払われていたために後者の実態は等閑視され、地域毎の湯立神楽の類似・相違点、関係性は未詳である。そこで本研究は、両者の祈願内容・演目・所作・神楽場の設え・催行する組織等の項目で両者の比較研究を行い、「非職掌湯立神楽」の現行を考察する。

ケ 研究種目名：基盤研究(C)

課題番号：19K01149

研究課題：歴史的な鳥瞰図に対する博物学的な視点から観た数値標高モデルによる再構築

研究代表者：神奈川県立生命の星・地球博物館 主任学芸員 新井田 秀一

研究分担者：学芸員 武田 周一郎

研究期間：令和元～3年度

研究実績概要：本研究は、鳥瞰図に描かれた地物の位置関係や投影法等について数値標高モデルを用いて解析し、これらの図が持つ主張や意図を理解することを目標とする。本年度は、大正期以降に発行された「箱根名所図絵」を事例として作成過程等を検討し、研究代表者の所属機関で実施した講座等で成果を公表した。

コ 研究種目名：基盤研究(C)

課題番号：21K00824

研究課題：開国期・「虚構」による日本観の形成に関する基礎的研究：その方法論を中心に

研究代表者：主任学芸員 嶋村 元宏

研究期間：令和3～5年度

研究実績概要：「外国人による叙述や画像という表象物を、無批判に客観的事実を示す史料として利用することは問題ではないか？」、「必ずしも正確な事実を伝えていない表象物、すなわち「虚像」によって欧米における日本観は形成されているのではないか？」—これが本研究の核心をなす学術的「問い」である。この「問い」に応えるべく、本研究は、文字史料を中心に、対象とする時代や学術分野を問わず進められてきたこれまでの日本観研究に対し、画像史料を歴史史料として利用する新たな方法を提示することを目的としている。本年度は、当初の計画に従い、『ペリー提督日本遠征記』に含まれる随行画家 ヴェルヘルム・ハイネが描いた画像の内、琉球周辺で描かれた画像を主たる対象に、外国籍研究者を含む史学研究者、絵画、写真を専門とする美術史研究者などの研究協力者による意見を踏まえ、メタヒストリー研究及び「物語論」などの史学研究方法も意識しつつ考察をすすめた。なお、新型コロナウイルスの影響により沖縄における現地調査は延期した。

サ 研究種目名：基盤研究(C)

課題番号：21K00963

研究課題：縄文土器の微視的観察から縄文時代における集団の移動・交流を探る

研究代表者：主任学芸員 千葉 毅

研究期間：令和3～5年度

研究実績概要：本研究は、これまでの縄文土器型式学的研究では焦点があまり当てられて来なかった「微視的な製作痕跡」に着目し、異系統土器型式共存の背景や縄文時代の人間集団の移動・移住、それに伴う集団間の接触や交流の動態の細部を描き出すことを目的としている。本年度は、縄文土器の素材粘土採取時における色調による選択性を検討するために、胎土の色調についての分析方法を検討、計測を試みた。具体的には、土器胎土の色調を客観的に記録し、定量的な分析を行う方法として以下の方法を検討した。1[色差計で直接計測] 器面全体から複数箇所の色調を色差計で測定し、その組み合わせを記録する。測定に際しては、明らかな付着物等を除く範囲から20箇所程度で行う。2[土色帖での肉眼計測] 器面全体から複数箇所の色調を土色帖との肉眼対照により測定し、そ

の組み合わせを記録する。測定に際しては、明らかな付着物等を除く範囲から20箇所程度で行う。3[3Dモデルから色面積を計測] 色温度を管理した照明下で撮影したデジタル画像から、フォトグラメトリにより3Dモデルを作成し、3Dモデル上で同一の色面積を記録する。複数個体の縄文土器を対象に上記の方法にて試験したところ、1が最も再現性が高く、作業効率も良いことが確認できた。これを踏まえ、同方法にて、所属機関が所蔵する資料の中から縄文土器40点、弥生土器20点を対象とし計測を行った。所属機関の所蔵資料のみでは、研究目的である異系統土器の関係性を考察するには不十分であるため、今後、他機関所蔵資料を対象に計測・分析を進める必要がある。

シ 研究種目名：若手研究

課題番号：18K12251

研究課題：鎌倉～南北朝時代における絵所の並立と絵師の交流をめぐる調査研究

研究代表者：学芸員 橋本 遼太

研究期間：平成30～令和3年度

研究実績概要：おもに鎌倉時代～南北朝時代に制作された絵画を対象に、図像や技法を比較しながら、制作集団の違いや図像の転写関係を考察する研究課題。特別展「十王図」の準備過程で総世寺（小田原市久野）の十王二使者図や根津美術館の地藏十王図を調査する機会を得た。

ス 研究種目名：若手研究

課題番号：19K13451

研究課題：近代東アジアにおける地図製図・印刷技術の展開過程に関する基礎的研究

研究代表者：学芸員 武田 周一郎

研究期間：令和元～4年度

研究実績概要：本研究は、近代の日本・台湾・朝鮮における地図製図・印刷技術の展開過程を明らかにすることを目的とする。本年度は、大正期から昭和戦前期の陸地測量部における地図印刷事業の動向や、明治期以降の府県管内図・分県地図について検討し、口頭発表で成果を公表した。

(3) その他外部研究資金によるもの

ア 助成内容：公益財団法人 河川財団河川基金助成事業

研究課題：戦国大名北条氏の水資源開発を事例とした博物館展示普及事業

研究代表者：学芸員 渡邊 浩貴

研究期間：令和元～3年度

研究実績概要：当館所蔵「北条家文書」の整理・撮影・調査を実施し、また箱根町早雲寺でも未整理の近世文書分の整理・撮影・調査を行った。こうした基礎的作業を通じて、戦国大名北条氏の系譜をひく近世狭山藩北条氏における、文書集積と家譜・由緒形成にいたる諸相を検討した。

(4) 個人研究活動

ア 研究報告書

(ア) 『神奈川県立博物館研究報告—人文科学—』第48号 令和4年2月25日発行

a 種別：論文

表題：海老名・龍峰寺千手観音菩薩立像について

筆者：学芸員 神野 祐太

要旨：本稿は、海老名市・龍峰寺に伝わる千手観音菩薩立像の基礎データを提示し、伝来や製作年代について私見を述べる。本像は、大正14年（1925）に古社寺保存法下で国宝に指定され、文化財保護法下で重要文化財に指定された神奈川県域でも比較的知られた仏像である。令和2年（2020）に特別展「相模川流域のみほとけ」に出品するにあたり、詳しく調査する機会を得ることができた。製作年代について従来は古像を模刻した鎌倉時代の仏像と考え

られることが多いが、作風や構造の検討から奈良時代末から平安時代初頭に造られた可能性について言及する。

キーワード：清水寺信仰、代用檀像、一木造り、相模国分寺、相模国分尼寺（湧河寺・漢河寺）

b 種 別：論文

表 題：仙台藩儒・大槻磐溪によるペリー来航前後の情報収集活動とその活用

筆 者：主任学芸員 嶋村 元宏

要 旨：仙台藩儒者・大槻磐溪を対象とし、ペリー来航前後の情報収集活動の実態がいかなるものであったのか、さらにその収集した情報がいかに活用されたのかを明らかにすることが、本稿の目的である。まず第1章では、磐溪が執筆した対外意見書から、磐溪がいかなる著作物を利用したのかを確認し、磐溪の持つ海外知識が、対外意見書を執筆するにあたりいかに活用されたのかを明らかにした。また、同じく対外意見書を執筆するにあたり根拠とした、本来幕府によって厳重に管理されてしかるべき対外関係文書を入手している実状を確認し、磐溪の情報収集能力について明らかにした。次に第2章では、これまで活用がみられてこなかった『米夷紀事』を根本史料として活用し、そこに記述された内容から、浦賀奉行与力・中島三郎助、香山英左衛門、応接掛・林大学頭復齋、松崎満太郎、上田藩士・恒川才八、中津藩士、長州藩士等から情報を得ており、また儒学者・宮内彦太郎と共同調査をしていることが判明した。また、磐溪に同行した塾生が横手新太郎であったこと、ならびに絵師が辻探昌であったこと等、人的情報源について明らかとなった。さらに入手した情報を他の情報と照合する等の活用がおこなわれていたことも判明した。

キーワード：儒学者、昇平坂学問所（昌平黌）、ネットワーク、『金海奇観』、「鎖国」と開国、別段風説書、受取始末

c 種 別：研究ノート

表 題：芝浦製作所電気技術者の岸敬二郎と関東大震災の復興事業

筆 者：学芸員 武田 周一郎

要 旨：本稿では、芝浦製作所の電気技術者である岸敬二郎の書簡を分析し、関東大震災の復興事業の一例として芝浦製作所の被災から工場での生産再開に至る経緯を詳細に明らかにした。岸は、芝浦製作所の電気技術者として製品の開発に取組むとともに、その技術を活かして日本各地で水力発電事業に携わり、電気工学や土木工学などを専門とする技術者や企業家との間に広範な人脈を築いた。関東大震災によって芝浦製作所が甚大な被害を受けると、岸は自身の人脈を活かして工場の復旧を進めた。書簡からは、岸が多忙な日々喜怒哀楽を感じる様子や、将来に希望を持って復興事業に邁進しようとする姿勢が看取された。

キーワード：関東大震災、芝浦製作所、電気技術者、岸敬二郎、水力発電

d 種 別：研究ノート

表 題：小田原北条氏と本光寺の関係―大徳寺龍泉派寺院への関与について―

筆 者：学芸員 梯 弘人

要 旨：小田原北条氏と大徳寺関東龍泉派（以下、関東龍泉派）に属する本光寺の関係について考察した。先行研究によって、北条氏が関東龍泉派へ保護を行っていた様子が明らかにされている。本稿では北条氏からの保護に加えて、保護の前提となる宗教的なつながりや、北条氏による権力的な関与について検討した。第一に、北条氏による本光寺への保護についてその処遇を通して確認した。本光寺は北条氏から所領を寄進され、不入の特権と役負担の免除を認められるなど、保護を受けていた様子が見受けられた。第二に、北条氏からの保護の前提となる、北条氏と本光寺の宗教的つながりを確認した。本光寺では、開基である北条為昌のために施餓鬼会と年忌法要を行っていた。法要執行に際し、為昌の菩提者である北条氏規により財政的援助がなされていた。また、本光寺は北条氏当主への祈祷を行っていたと推測される。最後に、本光寺の住持職をめぐる交渉をとおして、北条氏による

関東龍泉派への権力的な関与について確認した。関東龍泉派による住持職継承は自明のものではなく、交渉の結果北条氏から認められたと推測される。

キーワード：小田原北条氏、大徳寺関東龍泉派、本光寺、住持職輪番制

e 種 別：研究ノート

表 題：近世村落の湧水紛争と水資源開発—近江国甲賀郡柏木御厨故地の水論絵図から—

筆 者：学芸員 渡邊 浩貴

要 旨：本稿は、近江国甲賀郡柏木御厨故地（現滋賀県甲賀市水口町）を事例に、前近代村での農業開発における湧水利用の実態を検討することを目的とし、資料調査で見出した寛政13年（1801）作成の「江州甲賀郡酒人村与植村水論立会絵図」（「植区有文書」）という水論絵図を繙くことで、水資源をめぐる紛争の経過および原因、そして係争関連地で実施したフィールドワークを踏まえた農業開発での湧水利用の実態を明らかにした。

キーワード：近世村落、湧水、水資源開発、柏木御厨、水論絵図

f 種 別：資料紹介

表 題：相模国津久井県与瀬村名主・問屋役の由緒—坂本是正家文書資料 文政三年「与瀬本村名主内蔵助天正年中より代々名主役相勤候儀記置申候」—

筆 者：学芸員 寺西 明子

要 旨：相模国津久井県与瀬村（現相模原市緑区）は一村のうちに甲州道中小原宿・与瀬宿の2つの宿場を内包しており、村政も与瀬宿を中心とする与瀬村本村と、小原宿を中心とする小原組にわかれていた。当館所蔵坂本是正家文書資料 文政三年「与瀬本村名主内蔵助天正年中より代々名主役相勤候儀記置申候」は、八代坂本内蔵助が名主を退役するにあたり、名主、問屋役の由緒、役儀について取りまとめた資料である。作成の背景にあった三件の争論についてその概要を紹介し、八代内蔵助がなぜ坂本家由緒や名主、問屋役儀を取りまとめたのかについて考察した。

キーワード：北津久井、甲州道中、名主、問屋、由緒

イ 個人研究活動

〈凡例〉（刊行年などは西暦で統一）

氏名（役職・専門分野等）

(ア) 著作

a 単著・共著・学術論文

b 書評・余録

c 資(史)料紹介

(イ) 学術口頭報告

(ウ) 図録執筆・解説書執筆

(エ) 新聞・雑誌等への寄稿

(オ) 各種調査委員会等

(カ) 講師等

a 外部依頼講座講師等

b 当館主催講座等講師

c 当館出張講座講師

(キ) ここ1年間の課題・研究テーマ

望月 一樹（館長・歴史）

(ウ) 川崎市文化財指定に伴う調書「阿弥陀如来種子板碑（文永4年）」

(エ) 収蔵品レスキューの記録「関係者コメントの記録『神奈川県博物館協会』」（川崎市市民ミュージアムホームページ）

「着任のあいさつ」（『ボランティアニュース』86号、神奈川県立歴史博物館ボランティア会、7月）

- (オ) 神奈川県博物館協会会長、神奈川県文化財協会常任理事、日本博物館協会参与、棚橋賞・博物館活動奨励賞選考委員、相模原市立博物館協議会公募委員選考委員、シルク博物館運営委員
- (カ) a かわさき市民アカデミー「富士山噴火と田中丘隅」（川崎市生涯学習プラザ、6月19日）
第3回多摩川流域歴史シンポジウム パネルディスカッション「歴史セミナーを振り返って」
（日野市東部会館、9月26日）
青葉区郷土史の会「江戸時代・庶民の旅」（青葉区山内地区センター、11月25日）
- (キ) 大師河原村名主であった池上太郎左衛門幸豊の日記「博望舎日記」、「与楽亭日記」、「大本堂日記」の解説を行うとともに、殖産興業家としての幸豊の事業（新田開発や砂糖製造など）遂行の上での実態について検討を加えた。

丹治 雄一（学芸部長・歴史）

- (ア) a 「講座『秦野まち歩き：ジオでみつめてみよう』の実践—まち歩きで取り上げる『観る』要素の取捨選択—」（田口公則・山下浩之と共著、『神奈川県博物館協会会報』第93号、pp.20-25、神奈川県博物館協会、3月）
- (イ) 国史学会11月例会「明治・大正期における神奈川県西部の『安山岩』石材産地の動向について」（オンライン開催、11月20日）
- (ウ) 図版解説「箱根血戦」他14件（特別展図録『錦絵にみる明治時代—丹波コレクションが語る近代ニッポン—』、神奈川県立歴史博物館、4月）
- (エ) 特別展「錦絵にみる明治時代—丹波コレクションが語る近代ニッポン—」①「歴史の瞬間 華やかに 国家の一大イベント『内国博』」（『毎日新聞 神奈川版』、5月12日）
特別展「錦絵にみる明治時代—丹波コレクションが語る近代ニッポン—」③「和洋折衷独特な外観文明開化を象徴、格好の画題に」（『毎日新聞 神奈川版』、5月26日）
- (オ) 首都圏形成史研究会常任委員
- (カ) a 神奈川県立生命の星・地球博物館友の会地学グループ講座・観察会「秦野まち歩き：ジオでみつめてみよう」（事前ガイダンス〔オンライン〕6月5日、観察会〔秦野市本町地区〕6月12日）
神奈川県立生命の星・地球博物館野外観察会「大磯の地域資源を楽しむ—大磯の地形×石材×アオバト—」（大磯町、9月19日）
神奈川県立生命の星・地球博物館秋の地形地質観察会「箱根登山鉄道沿線の地形と石材」（小田原市、11月3日）
- b 旧横浜正金銀行本店本館建物見学会Ⅰ（6月2日）Ⅱ（12月8日）Ⅲ（3月13日）
連続講座「明治時代を語る」④「錦絵にみる日本の工業化」（6月6日）
展示解説 特別展「錦絵にみる明治時代—丹波コレクションが語る近代ニッポン—」（5月3日、8日、15日、29日）
ミュージアムトーク「今月の逸品」（「重要文化財『神奈川県庁舎』附指定の建築図面」、7月）
- c 「かながわの地質と歴史を学ぶ」（逗子市立逗子中学校、9月17日）
- (キ) 科学研究費助成事業にかかる近代石材産業史研究として、「白丁場石」をはじめとする神奈川県西部産「安山岩」の調査を継続するとともに、当館建物である旧横浜正金銀行本店本館建築関係資料の再調査を行った。

（古代）

千葉 毅（主任学芸員・考古）

- (ア) a 「収蔵庫の浸水を想定した資料搬出訓練の実践と課題」（武田 周一郎と共著、『博物館研究』56巻9号、pp.24-26、日本博物館協会、8月）
「赤星直忠考古学研究資料デジタルアーカイブ」（神野 祐太・武田 周一郎と共同制作）9月23日公開。
『赤星直忠考古学研究資料』2～6（神野 祐太・武田 周一郎と共著）（神奈川県立歴史博物館・赤星直忠博士文化財資料館、9月）
「間口洞窟遺跡のなぞと魅力—特別展「洞窟遺跡を掘る—海蝕洞窟の考古学—」によせて—」（『神奈川県立歴史博物館だより』219、pp.2-5、神奈川県立歴史博物館、3月）

「大正・昭和期の在野研究者フィールドノートを CC BY でオンライン公開するまで —赤星直忠考古学研究資料デジタルアーカイブの公開—」（『デジタル技術による文化財情報の記録と利活用 4』奈良文化財研究所研究報告 33、pp. 171-178、奈良文化財研究所、3 月）

- b 新刊紹介 奈良文化財研究所飛鳥資料館、埋蔵文化財センター環境考古学研究室（編）『骨ものごたりー環境考古学研究室のお仕事ー』（『動物考古学』39、pp. 93-94、日本動物考古学会、3 月）
- (ウ) 『錦絵にみる明治時代ー丹波コレクションが語る近代ニッポンー』 編集・ブックデザイン・DTP 編集（pp. 1-152、神奈川県立歴史博物館、4 月）
- (オ) 三田史学会委員、神奈川県考古学会役員
- (カ) a 神奈川県文化財協会第 7 回見学会「コレクション展「赤星直忠と神奈川県立博物館ー赤星直忠コレクション展ー」」（神奈川県立歴史博物館、1 月 26 日、27 日）
 - c 「「もの」から考えるー考古学ー」（藤沢市立長後小学校、5 月 20 日）
- (キ) 前年度で終了した総合研究の成果報告の一環として、コレクション展示「赤星直忠と神奈川県立博物館ー赤星直忠コレクション展ー」を開催した。当館所蔵の考古資料および県下の学史的な未報告考古資料に関わる情報の収集、整理も継続している。また、博物館が蓄積してきた多様な情報のオンライン公開のための整理、検討を進めている。

(中世)

渡邊 浩貴（学芸員・歴史）

- (ア) a 「二つの中世陵王面ー鎌倉鶴岡八幡宮と六浦瀬戸神社(上)ー」（『民具マンスリー』54ー(3)、pp. 1-11、神奈川大学常民文化研究所、6 月）

「西遷御家人内田氏の本拠景観と高津川流域社会ー現地調査の聞き書きと文献史料からー」（田中大喜編『中世武家領主の世界ー現地と文献・モノから探るー』pp. 21-47、共著、勉誠出版、8 月）

「〈小特集・「「荘園調査」の現在地」から 10 年後〉湧水は中世景観を語れるのかー滋賀県甲賀市水口町の現地調査と山中氏両惣領家ー」（『民衆史研究』第 101 号、pp. 15-32、民衆史研究会、8 月）

「神奈川県における音楽芸能のアーカイブス化を通じた非文字資料・文字資料の歴史民俗学的研究ー金沢・三浦半島地域の芸能 GIS 作成の試みー」（『2020 年度助成研究等報告書』、pp. 5-8（別表 p. 6 付き）、共著、公益財団法人横浜学術教育振興財団、9 月）

「近世村落の湧水紛争と水資源開発ー近江国甲賀郡柏木御厨故地の水論絵図からー」（『神奈川県立博物館研究報告ー人文科学ー』第 48 号、pp. 61-80、神奈川県立歴史博物館、2 月）
- b 「交叉する文化と権力ー特別展「開基 500 年記念 早雲寺ー戦国大名北条氏の遺産と系譜ー」によせてー」（『神奈川県立歴史博物館だより』通巻 218 号、pp. 2-5、神奈川県立歴史博物館、8 月）

「〈史料散歩〉俊乗房重源と相模国糟屋荘地域ー近年の隣接諸分野の研究成果からー」（『日本歴史』879 号、pp. 63-65、日本歴史学会、8 月）

「〈書評〉落合義明著『中世東国武士と本拠』」（『大東史学』第 4 号、pp. 103-116、大東文化大学歴史文化学会、3 月）
- (イ) 「初期鎌倉幕府の音楽と三浦一族ー二つの舞楽面を手がかりにー」（鎌倉御家人研究会例会報告、神奈川県立歴史博物館、6 月 12 日）

「三浦氏の音楽文化と鎌倉幕府ー京・鎌倉・本拠の場からー」（鎌倉御家人研究会例会報告、神奈川県立歴史博物館、6 月 12 日）

「三浦氏の芸能と鎌倉幕府ー鎌倉御家人の音楽受容と京・鎌倉・本拠ー」（2021 年度三田史学会大会、オンライン、6 月 26 日）

「地名・聞き書き・景観に探る中世武士本拠ー島根県益田市の現地調査実践からー」（神奈川県高等学校社会科部会歴史科会日本史研究推進委員会研究会例会報告、希望が丘高校、7 月 7 日）

「鎌田正清一族と東海地域ー「義朝ガーノ郎等」の実像をめぐってー」（鎌倉御家人研究会例会報告、神奈川県立歴史博物館、3 月 27 日）
- (ウ) 特別展図録『文字景 = Letter-scape : センチュリー赤尾コレクションの名品に見る文と象』作品解説（慶應義塾ミュージアム・コモンズ、4 月）

特別展図録『早雲寺 = 500th Anniversary of the Founding of Sōun-ji Templeー開基 500 年記念 戦国大名北条氏の遺産と系譜ー』（神奈川県立歴史博物館企画・編集、小さ子社、ISBN

978-4-909782-11-3、10月)

(エ) 特別展「開基 500 年記念・早雲寺」

「戦国大名北条氏の遺産と系譜① 開基 500 年、宝物一堂に」(『毎日新聞 神奈川版』、10月27日)

「戦国大名北条氏の遺産と系譜② 東国社会も収斂させ 先進的な「小田原文化」」(『毎日新聞 神奈川版』、11月3日)

「戦国大名北条氏の遺産と系譜③ 歴代住持、京都と交流 栄枯盛衰、北条氏とともに」(『毎日新聞 神奈川版』、11月10日)

「戦国大名北条氏の遺産と系譜④ 「断絶之軀」江戸期の復興 末裔ら供養、宝物戻す」(『毎日新聞 神奈川版』、11月17日)

「戦国大名北条氏の遺産と系譜⑤ 「宝物継承 狭山藩の功績」」(『毎日新聞 神奈川版』、12月1日)

神奈川県国際文化観光局発行『神奈川 鎌倉殿×13人の御家人たち「ゆかりの地」めぐり』(リーフレット、1月発行、神奈川県愛川町郷土資料館：岩田慎平氏、神奈川県藤沢市生涯学習部郷土歴史課：宇都洋平氏とともに参加)にて、[人物紹介：初期の鎌倉幕府を支えた13人の御家人] 北条義時・源頼朝・北条政子以下15名の取材協力/[コラム：知ってるほど！鎌倉時代のトリビア] ①武士の名前はなぜ長い？②北条家の家紋「三つ鱗」の由来はある女性のお告げ！？③なぜ兄が十郎で、弟は五郎？④実は13人全員、集まったことがない！？⑤イイハコ？イイクニ？⑥鎌倉御家人は教養人！⑦北条義時の別称は江間！？(以上執筆)/[歴史年表](取材協力)/[系図](取材協力)/[マップおよび解説文]大河ドラマ2022年「鎌倉殿の13人」ゆかりの地 鶴岡八幡宮・永福寺以下20箇所のゆかりの地解説および116箇所のゆかりの地マップ図作成(取材協力および執筆)

NHK 横浜放送局『大河ドラマ「鎌倉殿の13人」瓦版、vol.1：今年の舞台は“地元・神奈川県”さあ、いざ鎌倉！』(リーフレット、3月発行、取材協力・執筆)にて、[コラム：ご近所の鎌倉時代：神奈川「ゆかりの地」] ①御所台の井戸、②鬘手洗池跡、③えな塚 懷島山の碑(以上執筆)

(オ) 立川市史編さん室古代・中世史部会主任調査員、東京大学史料編纂所連携研究員、「令和3年度大河ドラマを活用した周遊観光促進事業業務委託」神奈川県国際文化観光局コンペ・プロポーザル審査委員

(カ) a 出張講座「日本中世史における現地調査事始—フィールドに出かけよう！—」(神奈川県立足柄高等学校、8月5日)

早稲田大学教育学部・特別講義 「学芸員と地域研究の最前線—博物館の現場で歴史学はどう活かされるのか—」(早稲田大学、10月22日)

神奈川県高等学校社会科部会歴史科会日本史研究推進委員会研究会例会報告 「文化史からみる政治史—特別展「開基 500 年記念 早雲寺 —戦国大名北条氏の遺産と系譜—」によせて—」

(神奈川県立歴史博物館、10月27日)

国寶史蹟研究会見学会 特別展「開基 500 年記念 早雲寺 —戦国大名北条氏の遺産と系譜—」

(神奈川県立歴史博物館、11月14日)

2021年度ICP「鎌倉をめぐる歴史と文化」見学会 特別展「開基 500 年記念 早雲寺 —戦国大名北条氏の遺産と系譜—」(神奈川県立歴史博物館、11月28日)

神奈川県文化財協会第5回見学会 特別展「開基 500 年記念 早雲寺 —戦国大名北条氏の遺産と系譜—」(神奈川県立歴史博物館、12月1日・2日)

NHK 横浜放送局・ラジオ放送番組出演：はま☆キラ！『鎌倉殿の13人、、、って、誰？』(第1回1月14日放送、第2回1月28日放送(途中首都圏ネットワークの中継あり)、第3回2月25日放送)にて、北条義時・北条時政・三浦義澄の解説ほか

大河ドラマセミナー講演会・トークショー「鎌倉御家人の実像と武家故実(ぶけこじつ)—NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」をもっと楽しむために—」(NHK 横浜放送局・湯河原町共催、湯河原町の町防災コミュニティーセンター、2月11日)

神奈川集中観光キャンペーン実行委員会『かながわ魅力再発見！オンラインツアー《特産品・グッズが当たる抽選付き》』オンラインツアーへの出演(第3回「神奈川ぶらり歴史旅〜鎌倉幕府ゆか

りの地編～」2月26日、第4回「神奈川ぶらり歴史旅～鎌倉時代・相模武士たちの足跡編～」3月19日、いずれも(株)旅コレクション横浜店)

- b 入門講座「早雲寺展をふかめる―早雲寺をとりまく文化と権力の相克―」(11月3日)
現地見学会「早雲寺と戦国大名北条氏ゆかりの地を訪ねる」(正眼寺・早雲寺、11月5日)
連続講座「体験!大人のせんごく寺子屋《パートI》」「戦国文書を書いてみよう―文書の書き方・折り方・とじ方―」(11月20日)
展示解説 特別展「開基500年記念 早雲寺 ―戦国大名北条氏の遺産と系譜―」(11月6日、12日、19日、23日、12月3日)
- (キ)a 昨年度から引き続いて「東国武士の本拠景観と地域開発の景観復原的研究」を個人の研究テーマとし、個別研究のテーマとあわせて東国武士本拠の現地調査、および中世景観の復原作業を実施した。
- b 上記に加えて「中世都市鎌倉の音楽受容と地域的展開」の研究も行い、都市鎌倉や武士本拠での文化受容の実相を音楽芸能の視座から明らかとする。
- c 河川財団の助成を受け、館蔵資料「北条家文書」の整理・撮影・調査を進めた。

神野 祐太(学芸員・美術[彫刻])

- (ア)a 「海老名・龍峰寺千手観音菩薩立像について」(『神奈川県立博物館研究報告―人文科学―』第48号、pp.1-18、2月)
『2018年度～2020年度 科学研究費助成事業 若手研究 研究成果報告書 課題番号 18K12252 相模川中流域の仏像彫刻に関する調査研究』(pp.1-80、3月)
- b 「神奈川の仏像をめぐって」(『中外日報』、6月23日)
- (ウ) 「赤星直忠考古学研究資料デジタルアーカイブ」(千葉 毅・武田 周一郎と共同制作)9月23日公開
『赤星直忠考古学研究資料』2～6(千葉 毅・武田 周一郎と共著)(神奈川県立歴史博物館・赤星直忠博士文化財資料館、9月)
解説13件、『神像彫刻重要資料集成』1 東日本編(国書刊行会、10月)
解説1件 如来坐像(経筒納入仏)、浅草寺什宝研究会編『浅草寺什宝目録』工芸編、(金龍山浅草寺、2月)
看板解説4件「運慶meets 鎌倉 BUSHIDO」(鎌倉武士文化財活用協議会主催、3月設置)
- (カ)a 「十王図」(国寶史蹟研究会見学会、神奈川県立歴史博物館、7月24日)
「古面の見方―伎楽面・舞楽面・能面―」(NPO法人鎌倉地域振興協会主催、「鎌倉の歴史を楽しむ講座」、若宮大路ビル、7月25日)
「移動する仏像―仏像の伝来を中心に―」(NPO法人鎌倉地域振興協会主催、「鎌倉の歴史を楽しむ講座」、若宮大路ビル、10月24日)
神奈川県文化財協会第7回見学会「コレクション展「赤星直忠と神奈川県立博物館―赤星直忠コレクション展―」」(神奈川県立歴史博物館、1月27日)
「大和市周辺の仏像をたずねて―相模国のほとけたち―」、(やまとみらい主催(文化創造拠点等 指定管理者)／大和市生涯学習センター、大和市文化創造拠点シリウス、3月4日)
- b 展示解説 特別展「重要文化財修理完成記念 十王図」(7月24日)
展示解説 コレクション展「赤星直忠と神奈川県立博物館―赤星直忠コレクション展―」(2月13日、20日)
- c 「博物館・学芸員の仕事」(湘南白百合学園中学校、4月23日)
「鎌倉大仏になってみよう」(横浜女学院中学校、5月19日)
「鎌倉大仏になってみよう」(横浜市立桂台小学校、6月25日)
「鎌倉大仏になってみよう」(平塚市立なでしこ小学校、7月8日)
「鎌倉大仏になってみよう」(寒川町立寒川小学校、10月26日)
- (キ) 相模川流域の仏像について調査研究をおこなった。科学研究費若手研究の最終年度のためこれまでの調査記録をまとめて報告書を作成した。

橋本 遼太（学芸員・美術〔絵画〕）

- (ア)a 「清拙正澄墨蹟「与鏡空浄心偶頌」にみられる雲母刷り装飾について」（『アートと、そのあわいで』、pp.136-142、中西出版、5月）
『重要文化財修理完成記念 十王図』（神奈川県立歴史博物館、7月）
「神奈川県立歴史博物館所蔵「十王図」の修理概要」（展覧会図録『重要文化財修理完成記念 十王図』、pp.5-8、神奈川県立歴史博物館、7月）
「神奈川県立歴史博物館所蔵の十王図と同系統の転写本」（特別展図録『重要文化財修理完成記念 十王図』、pp.94-100、神奈川県立歴史博物館、7月）
「北条早雲像をはじめとする北条五代画像の転写と伝来について―神奈川県立歴史博物館所蔵狭山藩北条家伝来の下絵類の描写をめぐって―」（『開基500年記念早雲寺 戦国大名北条氏の遺産と系譜』神奈川県立歴史博物館企画・編集、pp.183-190、小さ子社、10月）
「敏昌筆 渡唐天神像」（『國華』1515号、pp.26-31、國華社、1月）
「神奈川県小田原市総世寺所蔵の十王二使者図について」（『ことば・ほとけ・図像の交響 法会・儀礼とアーカイヴ』近本謙介編、pp.341-380、勉誠出版、3月）
- (ウ) 図版解説「十王図」ほか17件（特別展図録『重要文化財修理完成記念 十王図』、神奈川県立歴史博物館、7月）
図版解説「富嶽図 伝祥啓筆」ほか24件（展覧会図録『開基500年記念早雲寺 戦国大名北条氏の遺産と系譜』、神奈川県立歴史博物館企画・編集、小さ子社、10月）
- (エ) 「特別展「十王図」①全10幅修復後初の公開 技術者ら協議重ねようやく」（『毎日新聞 神奈川版』、7月28日）
「特別展「十王図」②丁寧な筆致両親供養か 神武寺6幅1組に2種の王」（『毎日新聞 神奈川版』、8月11日）
「特別展「十王図」③滅亡した三浦氏鎮魂 総世寺二使者図箱蓋に墨書」（『毎日新聞』、8月18日）
「特別展「十王図」④箱に奉納や修理の記録 大仙寺所蔵10点1組の作例」（『毎日新聞 神奈川版』、8月25日）
- (カ)a 神奈川県文化財協会第3回見学会 「重要文化財修理完成記念 十王図」（神奈川県立歴史博物館、8月18日、19日）
大井町文化財審議員視察「重要文化財修理完成記念 十王図」（神奈川県立歴史博物館、8月25日）
2021年度ICP「鎌倉をめぐる歴史と文化」「神奈川県立歴史博物館の十王図と陸信忠筆十王図」（鎌倉市大路ビル、12月19日）
- b 「重要文化財修理完成記念 十王図」教員のための博物館講座（8月4日）
講演会「神奈川県立歴史博物館所蔵の《十王図》について」（8月8日）
講演会「十王図の図像と転写にみる死生観」（8月22日）
展示解説 特別展「重要文化財修理完成記念 十王図」（7月17日、31日、8月7日、14日、21日、28日）
ミュージアムトーク「今月の逸品」（「祖栄筆 蘆葉達磨図」、3月）
- c 「中世の美術（室町絵画の魅力）」（横須賀市立公郷小学校、12月16日）
- (キ) 中近世に制作された絵画の図像の転写関係に注目して調査研究を進めた。研究成果は特別展「重要文化財修理完成記念 十王図」、特別展「開基500年記念早雲寺 戦国大名北条氏の遺産と系譜」と、それらの展覧会図録で公開した。また8月からは令和4年度開催予定の特別展「洞窟遺跡を掘る―海蝕洞窟の考古学―」の副担当として資料の調査撮影および文書事務等を担当した。

佐藤 登美子（臨時学芸員・美術・〔工芸〕）

- (ア)a 「中世唐物仏具から考える工芸展示」（『神奈川県立歴史博物館だより』、通巻219号、pp.6-7）
- (カ)a 2021年度ICP「六十六部の文化と鎌倉」（鎌倉市大路ビル、6月27日）
- b ミュージアムトーク「今月の逸品」（「金銅六角経筒」、6月）
- (キ) 館蔵及び保管の工芸品についての調査研究、整理作業を行った。
中世における六十六部廻国聖とその信仰に関する工芸品について、調査研究を行った。

梯 弘人(学芸員・歴史)

- (ア)a 「小田原北条氏と本光寺の関係―大徳寺龍泉派寺院への関与について―」（『神奈川県立博物館研究報告―人文科学―』第48号、pp.47-60、2月）
- (イ) 「『北条五代記』にみる『山上宗二記』の情報」（茶の湯文化学会報告、オンライン、6月27日）
「小田原北条氏の宗教政策における鎌倉五山寺院」（小田原地方史研究会報告、小田原市民交流センター、1月16日）
「小田原北条氏と円覚寺 ―塔頭への外護と本寺への関与―」（戦国史研究会報告、オンライン、3月12日）
- (カ)a 鎌倉の歴史を楽しむ講座「戦国時代の鎌倉と小田原北条氏 ―円覚寺との関わりを中心に―」（NPO 法人鎌倉地域振興協会主催、神奈川県立歴史博物館、3月27日）
b コレクション展講演会「戦国時代の鎌倉と小田原北条氏」（3月20日）
ミュージアムトーク「今月の逸品」（「海岸線は国境～江梨鈴木家文書からみた海上交通～」、4月）
c 「鎧兜の移り変わりから見る歴史」（横浜市立大豆戸小学校、10月26日）
- (キ) 特別展「早雲寺」、コレクション展「帰源院文書からみた戦国時代」準備のため、小田原北条氏と早雲寺末寺の本光寺、円覚寺塔頭の帰源院との関係について考察した。

(近世)

寺西 明子(学芸員・歴史)

- (ア)c 「相模国津久井県与瀬村名主・問屋役の由緒―坂本是正家文書資料文政三年「与瀬本村名主内蔵助天正年中より代々名主役相勤候儀記置申候」―」（『神奈川県立博物館研究報告―人文科学―』第48号、pp.107-120、2月）
- (カ)b 体験教室（子ども向け）「レプリカでタイムスリップ！江戸時代の地図をつくる」（8月1日）
ミュージアムトーク「今月の逸品」（「御手洗正邦自画詠 江島鎌倉名所図会」、2月）
県博講座「博物館の古文書を読む」①「古文書をよむために一旅の心得」（1月13日）
県博講座「博物館の古文書を読む」②「かな文字をよんでみよう―江ノ島への旅から―」（3月3日）
- (キ) 県費研究として鈴木快輔家文書の整理・調査を行った。また、当館所蔵近世資料整理を継続し「相陽勝地大山全景図」「箱根屋並図」「御手洗正邦自画詠 江島鎌倉名所図会」等を調査、公開した。

根本 佐智子(非常勤学芸員・歴史)

- (ア)b 「オープンフォーラム5号を読んで」（『オープンフォーラム』6号 pp.6-7、オープンフォーラム編集委員会、3月）
- (カ)b 子ども向け体験教室「レプリカでタイムスリップ！江戸時代の地図をつくる」、8月）
ミュージアムトーク「今月の逸品」（「七沢村と煤ヶ谷村田畑境并山論裁許絵図」、9月）
県博講座「博物館の古文書を読む」③「「漢字を読んでみよう―大山への旅から―」（3月10日）
県博講座「博物館の古文書を読む」④「「日記・紀行文を読む ―箱根への旅から―」（3月17日）
「おうちでみきのすけ」（「おうちでかながわけんぱく」令和4年4月2日公開）
- (キ) 科学研究費の『松平造酒助江戸在勤日記』『松平武右衛門文書』の調査研究。神奈川県内における初期裁許絵図の研究。箱根宿名産「山椒魚」の研究。当館所蔵近世資料の調査研究を行った。

桑山 童奈(主任学芸員・美術〔絵画〕)

- (ア)b 書評「鈴木健一〈東海道五十三次をよむ〉」（『浮世絵芸術』No.182、国際浮世絵学会、pp.55、7月）
- (ウ) 『錦絵にみる明治時代―丹波コレクションが語る近代ニッポン―』（神奈川県立歴史博物館、4月）
- (エ) 特別展「錦絵にみる明治時代―丹波コレクションが語る近代ニッポン―」②「時事的話題も数多く群集、憲法発布を祝福」（『毎日新聞 神奈川版』、5月19日）
特別展「錦絵にみる明治時代―丹波コレクションが語る近代ニッポン―」④「特徴捉えた肖像画 高官威厳を持って描かれ」（『毎日新聞 神奈川版』、6月2日）
特別展「錦絵にみる明治時代―丹波コレクションが語る近代ニッポン―」⑤「光を意識 鮮烈な表現 芳年と清親の画業を概観」（『毎日新聞 神奈川版』、6月9日）

「常設展からのメッセージ「常設展の浮世絵展示」」（『ボランティアニュース』87号、pp. 1-2、神奈川県立歴史博物館ボランティア会、12月）

- (オ) 国際浮世絵学会常任理事・企画委員会副委員長、藤沢市藤澤浮世絵館運営委員、公益財団法人氏家浮世絵コレクション評議員
- (カ) a 神奈川県文化財協会第2回見学会 「特別展「錦絵にみる明治時代」」（神奈川県立歴史博物館、6月16日、17日）
 - b 連続講座「明治時代を語る」「『丹波コレクション』と明治の錦絵」（5月16日）
ミュージアムトーク「今月の逸品」（「国芳の武者絵」、12月）
展示解説 特別展「錦絵にみる明治時代—丹波コレクションが語る近代ニッポン—」（4月29日、5月1日、5日、22日、6月5日、12日、19日）
 - c 「江戸時代の花、浮世絵の話」 横浜市立港北小学校（10月27日）
「江戸時代の花、浮世絵の話」 川崎市立宮内小学校（11月2日）
- (キ) 錦絵に描かれた政府高官の肖像に関する研究と常設展示とトピック展のための調査・研究。

(近代)

嶋村 元宏（主任学芸員・歴史）

- (ア) a 『2020年度文学部附置人文科学研究所 研究プロジェクト研究成果報告書』「近世日本における海外情報の研究」（分担執筆、4月）
「仙台藩儒・大槻磐溪によるペリー来航前後の情報収集活動とその活用」（『神奈川県立博物館研究報告—人文科学—』第49号、pp. 19-46、2月）
- (イ) 「大槻磐溪によるペリー来航前後の情報収集活動について」科研費「オランダ別段風説書の研究」（JSPS 科研費 JP20H01314）（オンライン、6月19日）
- (エ) 「常設展からのメッセージ 「横浜居留地模型」」（『ボランティアニュース』88号、神奈川県立歴史博物館ボランティア会、pp. 1-3、3月）
- (オ) 明治維新史学会会誌編集委員、独立行政法人日本学術振興会 科学研究費委員会専門委員（平成30年12月1日～令和1年11月30日）※本委員の就任については、委嘱先が氏名を公表するまでは、守秘義務が課されていることから、令和元年度の年報に掲載できなかった。
- (カ) b ミュージアムトーク「今月の逸品」（「ペリーの肖像画」、8月）
講演会『「ペリー来航」を記録した男・大槻磐溪』（12月11日）
※Microsoft Teamsにより録画した映像を、一部編集の上YouTubeで限定配信も行った。
- (キ) 「19世紀中葉における国際秩序の変容」をメインテーマに研究を継続するとともに、本年度より3カ年を研究期間として新たに採択されたJSPS 科研費 JP21K00824「開国期・「虚像」による日本観の形成に関する基礎的研究」及び研究分担者として参加しているJSPS 科研費 JP20H01314「オランダ別段風説書の研究」（研究代表者：青山学院大学 教授 岩田 みゆき 氏、令和2～4年度）を主におこなった。

角田 拓朗（主任学芸員・美術）

- (ア) a 「明治期輸出美術の構造と特徴—大倉孫兵衛を焦点として—」（科学研究費成果報告書『近代日本美術史における大倉孫兵衛の活動に関する総合的調査研究』、pp. 1-16、神奈川県立歴史博物館、3月）
「明治期図画手工教育の地方実情—市村才吉郎を事例として—」（科学研究費成果報告書『明治期図画手工教科書データベースの充実と活用に基づく教科横断的学習の史的研究』、pp. 56-76、岡山大学・神奈川県立歴史博物館、3月）
- b 「回顧と展望 2020 近現代・美術」（『史学雑誌』pp. 189-192 史学会、5月）
「展覧会レビュー 福富太郎コレクション礼賛」（『美人画研究会誌 紫陽花』5号、pp. 30-32、美人画研究会、8月）
「共生でいいじゃないか」（『批評集 FUSION』、pp. 39-40、松前記念館、8月）
「展覧会レビュー イケメンをみて美女を思う—企画展「美男におわす」を見る」6号、pp. 28-31、美人画研究会、12月）
- c 「向島の花」ほか作品解説20点（『鏑木清方 美人画集成』、pp. 287ほか計19頁、小学館、3月）

- (イ) 「《大倉孫兵衛旧蔵錦絵画帖》の史的位罫」 (美術史学会東支部例会、オンライン、4月)
「趣旨説明 いま美人画を研究する意義と意味」 (シンポジウム「美人画・熟考」、東海大学文明研究所、6月)
「近代図画手工教科書データベースの構築とその活用」 (明治美術学会例会、オンライン、9月)
「明治期図画手工教科書データベースの充実と活用に基づいた美術教育史研究の可能性と課題」 (第44回 美術科教育学会東京大会、オンライン、赤木 里香子 氏、山口 健二 氏、金子 一夫氏、角田 拓朗、3月)
- (ウ) 「山手資料館所蔵『ジャパン・パンチ』の価値」 (『山手資料館所蔵『ジャパン・パンチ』調査報告書 付目録』、pp.15、山手資料館、10月)
- (エ) 「清方好みの美人」 (『芸術新潮』73巻4号、pp.61-64、新潮社、3月)
- (オ) 明治美術学会監事、松戸市美術品等選定委員会委員、馬車道日曜画家展審査委員
- (カ) ミュージアムトーク「今月の逸品」 (「五姓田義松 神奈川・横浜の風景」、10月)
- (キ) 科学研究費にかかる調査研究を展開し、それぞれ口頭報告や論考などの成果公開を果たした。いずれも次年度以後、継続的に成果公開の予定がある。そのほか、近代日本美術史研究の泰斗青木茂氏の蔵書群の寄贈にかかる調査等を実施した。その蔵書群の整理とそれにかかる調査研究の成果も、次年度以後、継続的に実施する予定である。

(現代)

武田 周一郎 (学芸員・歴史)

- (ア) a 「芝浦製作所電気技術者の岸敬二郎と関東大震災の復興事業」 (『神奈川県立博物館研究報告—人文科学—』48号、pp.81-106、2月)
b 「収集のすすめ—コレクション展『運動のすすめ』の開催にあたって—」 (『神奈川県立歴史博物館だより』27巻2号、pp.6-7、8月)
「収蔵庫の浸水を想定した資料搬出訓練の実践と課題」 (『博物館研究』56巻9号、千葉 毅と共著、pp.24-26、日本博物館協会、9月)
「吉田初三郎の鳥瞰図を使った地形地質観察会」 (『自然科学のとびら』27巻4号、新井田 秀一と共著、pp.26-27、12月)
- (イ) 「大正期から昭和戦前期の陸地測量部における地図印刷事業の動向」 (歴史地理学会大会、8月1日)
「吉田初三郎の鳥瞰図を用いた博物館講座の実践と課題」 (日本地図学会大会、新井田 秀一と共同発表、8月20日)
「博物館における歴史地理学の展開可能性」 (人文地理学会歴史地理研究部会、12月19日)
「府県管内図の総体的把握—神奈川県を中心にして—」 (歴史地理学会例会、3月5日)
- (ウ) 「赤星直忠考古学研究資料デジタルアーカイブ」 (神野祐太・千葉毅と共同制作) 9月23日公開。
『赤星直忠考古学研究資料』2~6 (神野祐太・千葉毅と共著)、神奈川県立歴史博物館・赤星直忠博士文化財資料館、9月
- (エ) 首都圏形成史研究会常任委員、歴史地理学会編集委員、同評議員 (6月~)
- (カ) a 「春の地形地質観察会—神奈川県鳥瞰図スペシャル2—」 (神奈川県立生命の星・地球博物館、5月9日)
「武蔵国鶴見寺尾郷絵図を読む」 (神奈川県立金沢文庫、5月16日)
神奈川県文化財協会第3回見学会 コレクション展「運動のすすめ」 (神奈川県立歴史博物館、8月18日、19日)
b ミュージアムトーク「今月の逸品」 (「日本語ワードプロセッサ—JW-10モデル2」、1月)
展示解説 コレクション展「運動のすすめ」 (6月27日、7月25日、8月15日)
c 「身近な地域の現代史」 (神奈川県立相模原総合高校、12月2日)
- (キ) 主に館蔵現代資料を対象として調査を進め、コレクション展を担当した。また、科研費の研究課題として特に地図の印刷技術に関する調査に取り組んだ。

(民俗)

新井 裕美 (主任学芸員・民俗)

- (ア)b 「コロナ禍の祭礼を記録するということ」 (『オープンフォーラム』6号、pp. 8、文教大学オープンフォーラム編集委員会、3月)
- (カ)a 「神奈川県の正月行事」 (はだの歴史博物館、1月22日) コロナ蔓延のため延期
 - b ミュージアムトーク「今月の逸品」 (「端午の節供飾り」、5月)
教員向け社会体験学習 (8月10日)
- (キ) 多摩川流域の雨乞い習俗や祭礼について文献等から事例を収集した。また、南関東地方における湯立神楽について、報告書やフィールドワークから事例を収集し、分析を行った。

三浦 麻緒 (非常勤学芸員・民俗)

- (ア)c 「常設展からのメッセージ 「ハレの日とケの日の食事」」 (『ボランティアニュース』86号、pp. 3-4、神奈川県立歴史博物館ボランティア会、7月)
- (カ)b ミュージアムトーク「今月の逸品」 (「エビス講」、11月)
 - c 「昔の食べ物と台所」 (横浜市立新羽小学校、1月18日)
- (キ) 館所蔵の民俗資料の整理。科学研究費の研究分担者として神奈川県と近隣地域の湯立神楽についての事例を収集・整理した。

中村 茉貴 (非常勤資料整理員・美術・近現代)

- (ア)c 翻刻補助『東京経済大学百二十年史 資料編 第二巻』(東京経済大学百二十年史編纂委員会、日本経済評論社、3月)
- (イ) 「創造美育協会」の活動記録にみる戦後日本の美術教育－島崎清海資料を手掛かりに (第5回文化財情報資料部研究会「創造美育協会の活動とアーカイブ」、東京文化財研究所、9月)
- (キ) 島崎 清海 氏 (元創造美育協会本部事務局長) の資料調査を行い、戦後日本の美術教育について言及した。また、以前から研究課題としている蕨画塾に関する成果物の作成を、元塾生と共に取り組んでいる。

4 資料収集・修理・保管・利用

〈凡例〉

ア 購入、 イ 原始取得・寄贈・寄託・借用・管理換、 ウ 修理、 エ 貸出、 オ 特別利用、 カ その他

(1) 考古資料

イ 原始取得・寄贈・寄託・借用・管理換
(借用)

No.	資料名	当初借用年月日	返却年月日	数量
1	壺（神奈川県立横須賀高等学校裏山遺跡）他	平成7年2月10日	-	1件6点
2	灰釉陶器碗（上浜田遺跡）他	平成30年4月12日	-	108件237点
合計				109件243点

ウ 修理

No.	資料名	(備考)	数量
1	縄文土器 深鉢	縄文時代	1件1点
2	縄文土器 深鉢	縄文時代	1件1点
3	縄文土器 深鉢	縄文時代	1件1点
4	弥生土器 甕	弥生時代	1件1点
5	弥生土器 壺	弥生時代	1件1点
合計			5件5点

エ 貸出

No.	資料名	申請者・目的	利用方法	利用期間	数量
1	小林幸雄氏コレクション	横浜市鶴見区 地域の文化財に対する啓発	展示	令和3年4月1日 ～令和4年3月31日	1件72点
2	三浦市間口洞窟遺跡出土動物遺体（脊椎動物骨）	慶應義塾大学文学部民族学考古学資料室 研究のため（遺跡出土動物遺体の非破壊による調査分析）	現生標本との照合同定計測撮影等	令和4年3月2日 ～3月17日	1件一括
合計					2件72点他

オ 特別利用

No.	資料名	申請者・目的	利用方法	利用期間	数量
1	三浦市間口洞窟遺跡出土資料 内59点：県指定	個人・研究のため	熟覧 撮影 実測	令和3年6月3日	1件60点
2	横浜市十王堂免遺跡採集資料	個人・研究のため	熟覧 撮影 フォト グラム トリ、 3Dレ ーザー スキャ ニング	令和3年9月29日 ～10月1日	1件75点

3	横浜市十王堂免遺跡採集資料	個人・研究のため	熟覧 撮影 フォト グラメ トリ、 3Dレ ーザー スキャ ニング	令和3年10月13日 ～10月15日	1件75点
4	銛（横須賀市榎戸遺跡）他	個人・研究のため	熟覧 実測 撮影	令和3年10月15日 ～10月17日	24件24点
5	横浜市十王堂免遺跡採集資料	個人・研究のため	熟覧 撮影 フォト グラメ トリ、 3Dレ ーザー スキャ ニング	令和3年10月27日、 10月28日、11月10日	1件70点
6	三浦市間口洞窟遺跡出土動物遺体	個人・研究のため	熟覧 メモ 撮影	令和4年1月8日	1件一括
7	三浦市間口洞窟遺跡出土土器片	個人・研究のため	熟覧 メモ 撮影	令和4年2月26日	1件一括
合計					30件304点他

(2) 歴史資料

ア 購入

No.	資料名	概要	規格・寸法	数量
1	左衛門尉頼季見知状	建武5年(1335)	縦31.5cm×横50.0cm	1件1点
2	横浜正金銀行関係資料	大正14年～昭和20年	縦25.0×横17.7cm 他	2件198点
3	大正・昭和期都市計画関係資料	大正11年～昭和30年頃	縦28.3×横40.2cm 他	4件15点
合計				7件214点

イ 原始取得・寄贈・寄託・借用・管理換 (寄贈)

No.	資料名	寄贈主	寄贈年月日	数量
1	横浜市計量検査所旧蔵計量器	横浜市	令和3年4月17日	1件16点
2	キツネ襟巻	個人（東京都在住）	令和3年4月17日	1件1点
3	満州重工業開発株式会社乙種株券（ろ号・10株・500円）	個人（神奈川県在住）	令和3年12月17日	1件5点
4	満州重工業開発株式会社乙種株券（へ号・10株・500円）	個人（神奈川県在住）	令和3年12月17日	1件5点
5	満州重工業開発株式会社丙種株券（ぬ号・10株・500円）	個人（神奈川県在住）	令和3年12月17日	1件11点
6	パーソナルコンピュータ PC-6001	個人（神奈川県在住）	令和3年12月17日	1件一式
7	早雲寺絵葉書	個人（神奈川県在住）	令和3年12月17日	1件6点
8	横浜正金銀行職員収集外国切手	個人（神奈川県在住）	令和3年12月17日	1件一式
合計				8件44点他

(寄託)

No.	資料名	当初寄託年月日	数量
1	帝政ロシア製 32 ポンド砲(旧居留地 90 番出土の大砲)	平成 16 年 2 月 1 日	1 件 1 点
2	長谷川氏所蔵文書	平成 23 年 2 月 17 日	1 件 22 点
3	岩松家文書	平成 25 年 2 月 1 日	210 件 350 点
4	稲葉正則書状 他	平成 30 年 7 月 1 日	2 件 2 点
5	瀬戸 灰釉劃花木葉文梅瓶 他	令和元年 10 月 16 日	3 件 4 点
合計			217 件 379 点

(借用)

No.	資料名	当初借用年月日	返却年月日	数量
1	烏帽子形兜	昭和 43 年 10 月 22 日	-	1 件 1 点
2	古瀬戸瓶子	昭和 45 年 9 月 1 日	-	1 件 1 点
3	刀片(三増合戦場出土)	昭和 47 年 6 月 10 日	-	3 件 3 点
4	関山家文書	昭和 47 年 9 月 8 日	-	1 件 24 点
5	久崎家文書 他	昭和 47 年 9 月 13 日	-	11 件 197 点
6	瀬戸四耳壺 他	昭和 48 年 7 月 1 日	-	3 件 3 点
7	渥美灰釉壺 他	昭和 48 年 10 月 1 日	-	1 件 6 点
8	本多家文書	昭和 49 年 3 月 1 日	-	1 件 953 点
9	嘆願書	昭和 52 年 3 月 23 日	-	1 件 1 点
10	生麦村新地実測図(神奈川県令中島信行宛) 他	昭和 52 年 12 月 1 日	-	1 件 5 点
11	舊荻野山中建物之繪図 他	昭和 53 年 12 月 1 日	-	1 件 19 点
12	寺井家文書 他	昭和 55 年 2 月 15 日	-	11 件 16 点
13	散弾銃	昭和 55 年 4 月 1 日	-	1 件 1 点
14	羽柴秀吉知行充行状 天正十一年六月五日付	昭和 58 年 5 月 20 日	-	1 件 1 点
15	平本家文書	昭和 58 年 10 月 14 日	-	1 件 1,309 点
16	黒船来航絵巻	平成 4 年 5 月 15 日	-	1 件 1 点
17	日月鳳凰螺鈿鞍	平成 4 年 11 月 1 日	-	1 件 1 点
18	旧小田原城天守閣模型	平成 5 年 12 月 15 日	-	1 件 1 点
19	辰御年貢可納割付之事 他	平成 6 年 7 月 20 日	-	2 件 2 点
20	享保十四年九月酉之内検見引牒 他	平成 6 年 10 月 7 日	-	22 件 23 点
21	中国青磁碗 線描き蓮弁文 他	平成 18 年 6 月 1 日	-	1 件 50 点
22	旧横浜正金銀行本店本館改修工事関係資料	平成 20 年 9 月 1 日	-	1 件 7 点
23	旧横浜正金銀行本店本館彩色立面図 他	平成 22 年 10 月 15 日	-	1 件 119 点
24	銅造 明治天皇立像 他	平成 23 年 12 月 15 日	-	1 件 3 点
合計				70 件 2,747 点

ウ 修理

No.	資料名	(備考)	数量
1	鈴木藤助日記	江戸時代	1 件 5 点
合計			1 件 5 点

エ 貸出

No.	資料名	申請者・目的	利用 方法	利用期間	数量
1	神奈川県鳥瞰図	府中市美術館 企画展「映える NIPPON 江戸～昭和 名所を描く」に展示するため	展示	令和3年5月22日 ～7月11日	5件5点
	神奈川県観光図絵				
	伸び行く大横浜				
	川崎市（絵葉書）				
	箱根名所図絵				
2	桜井家文書 No10 北条氏直感状	埼玉県立嵐山史跡の博物館 企画展「実相忍びの者」に展示するため	展示	令和3年8月7日 ～9月20日	2件2点
	桜井家文書 No30 我等はしりめくり之覚				
3	天養記 複製	鎌倉歴史文化交流館 企画展「頼朝以前－源頼朝はなぜ鎌倉を選んだか－」に展示するため	展示	令和3年9月25日 ～12月18日	1件1点
4	谷文一 万延元年遣米使節随行スケッチ	足立区立郷土博物館 令和3年度文化遺産調査特別展「谷文晁の末裔－二世文一と谷派の絵師たち－」に展示するため	展示	令和3年10月1日 ～12月5日	1件18点
5	他阿上人自筆仮名消息（五月廿八日） 複製	横浜市歴史博物館 企画展「浄土の庭－称名寺境内国史跡指定 100 年－」に展示するため	展示	令和3年12月4日 ～令和4年1月10日	5件5点
	北条頼時像 複製				
	北条実時像 複製				
	金沢貞将像 複製				
	金沢貞顕像 複製				
6	久崎家文書	あつぎ郷土博物館 企画展「『新編相模国風土記稿』が描くあつぎ」展 展示	展示	令和4年1月15日 ～3月6日	1件3点
7	北条家文書（弘治2年）8月10日付 北条氏康判物	小田原城天守閣 令和3年度小田原城天守閣特別展「没後450年 北条氏康伝」において展示するため	展示	令和4年1月15日 ～2月28日	1件1点
合計					16件35点

オ 特別利用

No.	資料名	申請者・目的	利用 方法	利用期間	数量
1	円覚寺仏殿模型	個人研究調査	閲覧 撮影	令和3年4月16日	1件1点
2	久崎家文書 地誌御用御調書上調	個人研究調査	閲覧 撮影	令和3年8月20日	3件3点
	久崎家文書 地誌御用御調書上調（御朱印御除地写）				
	久崎家文書 地誌御用御調書上調（御朱印御除地写）				
3	エチオピアンコンサート・プログラム	個人研究調査	閲覧	令和3年11月5日	1件1点

4	北条家文書（弘治2年）8月10日付 北条氏康判物	個人研究調査	閲覧 撮影	令和3年11月19日	2件2点
5	天保 小田原城図（瀬戸・横井本）	個人研究調査	閲覧 撮影	令和4年1月26日	1件1点
合計					8件8点

(3) 美術資料

イ 原始取得・寄贈・寄託・借用・管理換

（寄贈）

No.	資料名	寄贈主	寄贈年月日	数量
1	青木文庫資料	個人（東京在住）	令和3年11月24日	1件4168点
合計				1件4168点

（寄託）

No.	資料名	当初寄託年月日	数量
1	重要文化財 木造他阿真教坐像	平成17年5月24日	1件1点
2	束帯天神像 他	平成21年4月24日	1件12点
3	厳中周璽賛 渡唐天神像 他	平成21年8月1日	46件78点
4	眞葛焼（高浮彫南天二鶉花瓶 他）	平成22年3月1日	27件36点
5	潘閬図 右都御史筆	平成25年7月2日	1件1点
6	齋藤俊吉氏旧蔵作品群	平成27年6月18日	1件63点
7	仁阿弥道八作焼締急須 銘阿治王 他	平成27年6月26日	1件9点
8	一遍他阿真教像 他	平成28年3月25日	2件2点
9	絵瀬戸草文輪花皿 他	平成28年6月24日	26件68点
10	近代絵画作品群	平成29年3月1日	37件37点
11	下村観山筆 闘鶏 他	平成29年5月1日	11件14点
12	本多錦吉郎 鍾馗図	平成30年4月1日	1件1点
13	大倉孫兵衛旧蔵 錦絵画帖 他	平成30年4月1日	2件598点
14	渡辺幽香 山崎勢威子肖像	平成31年3月1日	1件1点
15	二河白道図 他	平成31年3月8日	4件4点
16	初代五姓田芳柳 婦人像 他	平成31年4月1日	16件16点
17	伝周文筆 山水図 他	平成31年4月1日	22件23点
18	新生紙パルプ商事株式会社寄託作品	平成31年5月31日	49件55点
19	鐔 奈良利寿作	令和元年11月15日	1件1点
20	蝶耳人物花鳥図香炉 他	令和元年11月15日	5件6点
21	極彩色鳳凰花瓶	令和元年11月15日	1件2点
22	短刀（ワーグマン使用）	令和3年3月1日	1件1点
23	井上良斎関係資料	令和3年11月1日	400件462点
24	曾我物語富士巻狩図巻	令和4年1月4日	2件2点
合計			659件 1,493点

（借用）

No.	資料名	当初借用年月日	返却年月日	数量
1	県指定重要文化財 紙本墨画淡彩 十六羅漢図 他	昭和44年3月1日	-	2件17点
2	県指定重要文化財 絹本着色 熊野権現影向図	昭和44年3月1日	-	1件1点

3	県指定重要文化財 絹本着色 両界曼荼羅図 他	昭和44年7月1日	-	1件37点
4	常滑印花文壺 他	昭和48年3月1日	-	11件12点
5	東海道図屏風	昭和49年7月1日	-	1件2点
6	絹本着色 七星如意輪曼荼羅図 他	昭和50年6月1日	-	1件24点
7	横浜浮世絵	昭和52年1月10日	-	1件473点
8	張交屏風	昭和52年7月15日	-	1件2点
9	県指定重要文化財 木造薬師如 来坐像	昭和56年2月25日	-	1件1点
10	大小暦コレクション	昭和59年4月1日	-	1件40点
11	鴉図（以天宗清） 他	昭和63年7月7日	-	2件2点
12	江島金沢八景図屏風 他	平成4年12月1日	-	1件4点
13	本牧風景 他	平成5年6月15日	-	2件2点
14	鶴岡八幡宮境内出土品の内 板 草履の芯 他	平成7年3月1日	-	8件19点
15	仁清意鶏形香合 初代宮川香山 他	平成12年3月1日	-	3件3点
16	俵藤太絵巻 他	平成12年5月1日	-	2件6点
17	喜多川歌麿 好色十二候 他	平成12年12月20日	-	1件12点
18	箱根権現縁起絵巻 付 納入箱	平成13年8月1日	-	1件2点
19	賀茂真淵筆 伊勢物語古意 他	平成28年9月20日	-	12件20点
20	森村組 輸出台帳	令和3年2月25日		18件18点
合計				71件697点

ウ 修理

No.	資料名	(備考)	数量
1	薙刀	(赤羽刀 No. 1968、官報 No. 2151、銘「相州住伊勢大掾綱廣」、江戸時代)	1件1点
2	国府台風景図屏風	六曲一双のうち一隻、二世五姓田芳柳	1件1点
合計			2件2点

エ 貸出

No.	資料名	申請者・目的	利用 方法	利用期間	数量
1	名所江戸百景 神田明神曙之景 名所江戸百景 日暮里諏訪の台 名所江戸百景 亀戸梅屋舗 名所江戸百景 隅田川水神の森 真崎 名所江戸百景 深川万年橋 名所江戸百景 大はしあたけの 夕立 名所江戸百景 両国橋大川ばた 名所江戸百景 八つ見のはし 名所江戸百景 水道橋駿河台 名所江戸百景 高輪うしまち 名所江戸百景 王子瀧の川	府中市美術館 企画展「映える NIPPON 江戸～ 昭和 名所を描く」に展示する ため	展示	令和3年5月22日 ～7月11日	14件14点

	名所江戸百景 上野山内月のまつ				
	名所江戸百景 浅草金龍山				
	名所江戸百景 深川洲崎十万坪				
2	本朝名所 相州七里ヶ浜 東都名所 両国之宵月 東都名所 洲崎雪之初日 東都名所 御殿山之夕桜 東都名所 日本橋雪中 東都名所 神田明神東阪 東都名所之内 隅田川八景 三 囲暮雪 東都名所坂つくし之内 江戸見 坂之図 江戸名所之内 御殿山之花盛 東都名所 両国夕すゞみ 江戸名所四季の眺 高輪月の景 開帳朝参之図 江戸名所 雪	町田市立国際版画美術館 「浮世絵風景画―広重・清長・ 巴水 三世代の眼―」展におけ る展示	展示	令和3年7月10日 ～9月12日	13件13点
合計					27件27点

オ 特別利用

No.	資料名	申請者・目的	利用 方法	利用期間	数量
1	名所江戸百景 隅田川水神の森真崎	東京メトロポリタンテレビジョン テレビ番組「わたしの芸術劇場」 (放送日：令和3年7月3日) に利用するため	画像 利用	令和3年6月30日 ～7月2日	1件1点
2	黒船の図 黒船の図	個人研究調査	熟覧 撮影	令和3年11月12日	2件2点
3	菩薩半跏（遊戯）像 附像内納入品（布製五臓六腑等） 神奈川県指定重要文化財	個人研究調査	熟覧 撮影 気体 採取 による 香料の 成分 分析	令和4年3月10日	1件1点
合計					4件4点

(4) 民俗資料

イ 原始取得・寄贈・寄託・借用・管理換 (寄贈)

No.	資料名	寄贈主	寄贈年月日	数量
1	道祖神の幟	個人（神奈川県在住）	令和3年12月21日	1件1点
合計				1件1点

(寄託)

No.	資料名	当初寄託年月日	数量
1	ダイカイ 他	平成 27 年 5 月 14 日	2 件 3 点
合計			2 件 3 点

(借用)

No.	資料名	当初借用年月日	返却年月日	数量
1	お食初め膳 他	昭和 46 年 10 月 23 日	-	1 件 3 点
2	燭台	昭和 47 年 3 月 6 日	-	1 件 1 点
3	長持 他	昭和 47 年 3 月 6 日	-	1 件 2 点
4	お歯黒の道具	昭和 47 年 3 月 11 日	-	1 件 1 点
5	天狗の面 他	昭和 48 年 2 月 27 日	-	1 件 3 点
6	帳場格子 他	昭和 48 年 3 月 2 日	-	1 件 15 点
7	結納樽	昭和 48 年 4 月 1 日	-	1 件 1 点
8	お馬板、ツノダル	昭和 48 年 8 月 20 日	-	1 件 3 点
9	鏡台と鏡 他	昭和 49 年 4 月 26 日	-	1 件 5 点
10	獅子頭 他	昭和 54 年 3 月 1 日	-	1 件 9 点
11	婚礼用具	昭和 54 年 3 月 1 日	-	1 件 2 点
12	足踏み脱穀機 他	平成 6 年 4 月 15 日	-	2 件 2 点
13	渡辺紳一郎時計コレクション	平成 28 年 7 月 1 日	-	1 件 22 点
合計				14 件 69 点

オ 特別利用

No.	資料名	申請者・目的	利用方法	利用期間	数量
1	ガンドウ ガンドウ	横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校	熟覧 計測 撮影	令和 3 年 12 月 22 日	2 件 2 点
合計					2 件 2 点

(5) 写真資料

令和 3 年度写真撮影資料

ア 特別展図録用

十王図

開基 500 年記念 早雲寺 ― 戦国大名北条氏の遺産と系譜 ―

洞窟遺跡を掘る ― 海蝕洞窟の考古学 ―

地図最前線 ― 紙の地図からデジタルマップへ ―

源頼朝が愛した幻の大寺院 永福寺と鎌倉御家人―荘厳される鎌倉幕府とそのひろがり―

イ コレクション展示用

帰源院文書からみた戦国時代 ― 小田原北条氏と鎌倉 ―

ウ その他

文化財保護ポスター 他

(6) 資料の燻蒸等

IPM(総合的病害虫管理 Integrated Pest Management)に基づき、日常的には「予防」の観点から資料保存活動を進めている。年に2回、文化財害虫調査ならびに空中浮遊菌調査を実施し、文化財害虫の生息状況やカビの発生危険度の把握に努めている。

本年度は展覧会出品予定資料および新収蔵資料等に対し、7月にエキヒューム燻蒸、12月に炭酸ガス燻蒸を行った。

(7) その他の資料

ア 図書

令和3年度図書資料の状況は次のとおりである。全国の博物館・美術館等からの寄贈も多く、当館の貴重な資料として活用されている。

受入種別	受入			除籍数	総数	ライブラリー公開数
	購入	寄贈	合計数			
図 書(冊)	4	702	706	18	22,386	4,673
図 録(冊)	0	301	301	2	17,699	686
逐次刊行物(タイトル)	23	44	—	10	2,569	83

※逐次刊行物はタイトル数で、寄贈は新規のみの数値。誌名変更等による新規書誌作成分を含む。

イ 写真

展示・調査研究資料として、収蔵資料を中心に撮影したフィルム124,546件とデジタルカメラデータ41,101件を保存し、データベース化するとともに、写真の特別利用として貸出しを行っている。

特別利用件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	14	13	18	16	17	17	12	19	22	14	13	21	196
点数	20	17	26	115	44	43	19	35	189	19	20	99	646

ウ 情報システム

(ア) システム整備の目的と背景

- a 学習の支援
- b 高度な知的ニーズへの対応
- c 博物館活動の活性化、効率化
- d 研究活動の高度化
 - (a) 各種アプリケーションの利用
 - (b) 博物館が所有する情報の活用

e 情報公開

博物館の再編整備の方向（「県立博物館整備構想に関する提言」昭和63年度）

- (a) 高度情報化社会における自然・文化の情報センター
- (b) 映像資料等、新しい形態の資料の収集・保存と活用の拠点
- (c) 内外の博物館、学習文化施設等とのネットワークの拠点

(イ) システム開発と運用

- a システム基本設計・詳細設計 平成5年度
- b システム運用開始 平成7年度
- c システム更新 平成13、18、23、28年度、令和2年度

(ウ) 稼働しているシステム（「デジタルミュージアム」）の内容

a 展示情報システムの内容

ミュージアムライブラリーに設置された2台の来館者用端末とWebページで提供している（No2 絵馬、No5 水墨画、No.12 収蔵コレクションは、来館者用端末のみで提供）。一部資料については高精細拡大画像も提供している。

No.	タイトル	内容
1	浮世絵	博物館所蔵の約7,000点ある浮世絵の中から、浮世絵の歴史、神奈川を描いた浮世絵、横浜浮世絵、著名な浮世絵師たち、一枚の絵から見る江戸時代の風俗など、テーマごとに選択した230点の浮世絵を紹介。
2	絵馬	神奈川県でよく見ることが出来る絵馬や珍しい絵馬など125点を紹介。
3	関東大震災	震災時の惨状等を伝える写真資料70点を紹介。
4	古地図・絵地図	当館収蔵の古地図の中から50点を紹介。館内端末では拡大画像により、細部まで見る事が可能。
5	水墨画	平成10年度に開催した水墨画の特別展に出品された作品の中から代表的な作品85点を紹介。
6	横浜正金銀行	かつて世界三大為替銀行の一つに数えられた横浜正金銀行の写真資料221点を紹介。
7	眞葛焼	かつて世界に名を知られた横浜の焼き物の中から46点を紹介。
8	鎌倉彫	館蔵品の鎌倉彫の中から32点を紹介。
9	後北条氏関係文書	戦国大名北条氏の多様な文書の世界を人物などととともに118点を紹介。
10	東海道分間絵図	東海道の情景を描いた道中案内記(1件5冊)を紹介。拡大画像により、細部まで見る事が可能。
11	県有形民俗文化財 職人の道具コレクション	神奈川県指定有形民俗文化財「神奈川の職人の道具コレクション」(17職種1,982点)のうち、大山木地師、小田原物差職人、下駄職人、傘職人の道具など、338点を紹介。
12	収蔵コレクション	収蔵データベースの一部について、概要を一覧形式で提供する。 考古：206点、中世文書96点、彫刻：14点、中世絵画80点、 浮世絵：288点、近代歴史資料260点、近代絵画156点、民俗306点
計 2,722点		
※この他に、神奈川県立生命の星・地球博物館が作成・提供している「電子百科」も閲覧が可能		

b 業務システムの内容

(a) 収蔵資料管理システム：収蔵品管理機能、画像登録機能、受入管理機能、特別利用管理運用機能、各種帳票ラベル出力機能

(b) 図書システム：蔵書の登録管理機能、蔵書情報の検索機能

(エ) システム構成

a 概要

館内LANを利用したサーバクライアントシステム

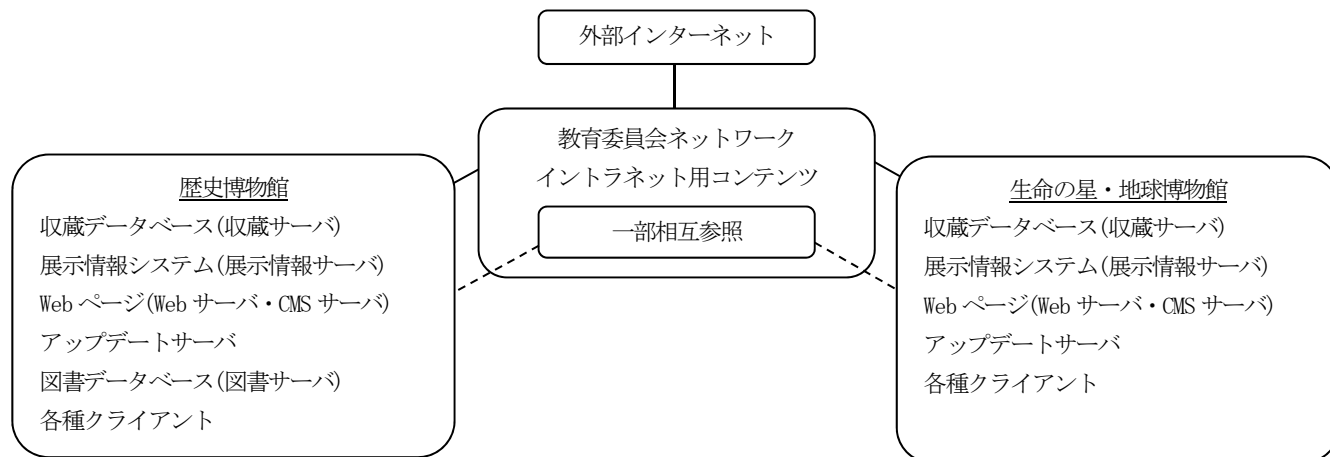
b 設置機器

(a) サーバ室

収蔵システムサーバ、Webサーバ、展示情報用サーバ、

- アップデートサーバ、図書サーバ、CMS サーバ、作業用パソコン
- (b) ミュージアムライブラリー
来館者用パソコン、レファレンス用パソコン
- (c) 展示機材倉庫 (印刷室)
画像入力用パソコン
- (d) 学芸部室・学芸部各資料整理室・管理課室・企画情報部室・図書整理室・写真整理室・写場
各室作業用パソコン

(オ) 歴史博物館システム機器構成図



(カ) ホームページアクセス件数 (再掲)

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
HP	140,264	133,281	136,483	154,331	144,397	123,009	149,864	164,143	139,973	137,740	111,736	123,965	1,659,186

参考 (内数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
デジタル ミュージアム	1,467	1,328	1,224	2,112	1,530	1,291	1,445	1,726	1,364	1,486	1,133	1,032	17,138

5 展示・教育普及・学習支援

(1) 総合テーマ展示（常設展）

ア 常設展の概要

当館の常設展示は「文化の交流と変容」という基本テーマに基づき、「かながわの文化と歴史」について、五つの時代に分け、それぞれのテーマのもとに、人々の生活や信仰、政治や経済の変化、外来文化の影響などを、さまざまな角度からとらえ、歴史的視点で展開している。

テーマ1 さがみの古代に生きた人びと

- ・大地に生きる狩人
- ・海への進出
- ・米づくり、はじまる
- ・古墳を築く
- ・都とさがみの国

テーマ2 都市鎌倉と中世びと

- ・源頼朝と東国武士団
- ・戦国大名後北条氏
- ・掘り起こされた鎌倉
- ・唐物とその影響
- ・民衆と仏教

テーマ3 近世の街道と庶民文化

- ・宿場と関所
- ・庶民信仰と名所めぐり
- ・村の支配と生活
- ・相武の産物と江戸

テーマ4 横浜開港と近代化

- ・蒸気船が導いた新たな時代
- ・世界へ開かれたみなとYOKOHAMA
- ・文明開化の音
- ・近代化と神奈川
- ・横浜浮世絵に見る神奈川
- ・横浜正金銀行

テーマ5 現代の神奈川と伝統文化

- ・関東大震災を越えて
- ・昭和恐慌と社会変化
- ・戦時体制と敗戦
- ・占領から講和へ
- ・高度経済成長と環境の変化
- ・変貌する町と村
- ・イエと暮らし
- ・くらしの中の祈り
- ・なりわいと儀礼
- ・伝承される技術と芸能

イ 常設展の展示替えと「トピック展示」の実施

常設展の展示資料のうち実物資料については、資料保存の観点から定期的な展示替えを行っており、資料整理休館日を中心に500件以上の展示替えを実施した。また、特定の小テーマによる「トピック展示」を随時行っており令和3年度は下記の通り実施した。

〈テーマ3〉「大山詣」、「宝永4年 富士山噴火」「裁許絵図」「箱根屋並図」「ハコネサンショウウオ」、「江の島・鎌倉・金沢」、「江戸在勤武士の江ノ島日帰り旅」、「昇斎一景「東京名所四十八景」最終回」「没後160年歌川国芳の魅力」（【第1回 国芳の「笑い」】、【第2回 異国が舞台の物語】、【第3回 国芳の武者絵】、【第4回 国芳が描いた女性たち】、【第5回 国芳の風景画】）

〈テーマ4〉横浜美術史（【第1期 没後130年チャールズ・ワーグマン】【第2期 大倉孫兵衛旧蔵錦絵】【第3期 横浜絵】【第4期 五姓田義松】 【第4期 下村観山について】）

ウ 展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」

スマートフォンを使用し、音声ガイドにも対応可能な展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」を導入し、常設展および特別展で活用している。音声4言語（日本語・英語・中国語・韓国語）および文字5言語（日本語・英語・中国語簡体字・中国語繁体字・韓国語）、画像による解説をしており常設展の日本語・英語の音声解説は県内の高校生がナレーションをしている。また、神奈川県立平塚盲学校と連携し

て、視覚障がいのある方がイメージを喚起しやすい文字解説を作成するとともに、その文字解説を放送部に所属する県内の高校生が読み上げる音声解説を提供している。

(2) 特別展

ア 「^{ビジュアル}錦絵にみる明治時代—丹波コレクションが語る近代ニッポン—」

会 期：【前期】4月29日（木・祝）～5月23日（日）

【後期】5月26日（水）～6月20日（日）

主 催：神奈川県立歴史博物館

後 援：神奈川県新聞社、朝日新聞横浜総局、毎日新聞社横浜支局、読売新聞横浜支局、産経新聞社横浜総局、東京新聞横浜支局、日本経済新聞社横浜支局、共同通信社横浜支局、時事通信社横浜総局、NHK 横浜放送局、TVK(テレビ神奈川)、ラジオ日本、FM ヨコハマ、J:COM

展示資料件数：278 点

入 場 者 数：4,122 名（有料2,821 名、無料1,301 名）

担 当：主任学芸員 桑山 童奈、学芸部長 丹治 雄一

概 要：当館が誇る日本有数の錦絵コレクション「丹波コレクション」により、明治時代の歴史的事象や文明開化の世相と、当該期の錦絵の展開過程を紹介した。6,000 点におよぶ「丹波コレクション」を一代で築き上げた丹波恒夫氏（1881～1971）は、明治時代に出版された「明治版浮世絵」を自らのコレクション形成の重要な柱のひとつに設定し、積極的に収集した。本展では、ペリー来航、戊辰戦争、鉄道開通、西南戦争、内国勸業博覧会、大日本帝国憲法発布、帝国議会開設、日清戦争、日露戦争など、事件当時あるいは後年に錦絵に描かれた幕末・明治期の歴史的事象をクロニクル（編年史）的に見渡し、さらに第一国立銀行や銀座煉瓦街といった文明開化を象徴する建造物や、明治天皇をはじめとする政府の高官らの肖像などを題材とした、当該期を特徴づける作品を紹介した。また、著名な浮世絵師だけでなく、これまでその存在を知られる機会が少なかった浮世絵師たちにも着目して、終焉期の錦絵を見つめ直した。

関 連 行 事：・記念講演会「錦絵にみる明治時代」5月9日

・連続講座「明治時代を語る」5月16日、23日、30日、6月6日、13日

・学芸員による展示解説 4月29日、5月1日、3日、5日、8日、15日、22日、29日、6月5日、12日、19日

出 品 目 録：（凡例）No、名称、絵師名、年代

1 米船渡来 旧諸藩土固之図 勝月 明治22（1889）年 大判錦絵3枚続	10 近世史略 薩州屋敷焼撃之図 国輝（三代） 明治24（1891）年 大判錦絵3枚続
2 生麦之発殺 松山 明治10（1877）年 大判錦絵3枚続	11 豊饒御蔭参之図 芳幾 慶応3（1867）年 大判錦絵3枚続
3 源頼朝公上洛之図 広重（二代） 文久3（1863）年 大判錦絵3枚続	12 幼童遊び 子をとろとろ 広重（三代） 慶応4（1868）年 大判錦絵2枚続
4 頼朝公参内之図 広重（二代） 文久3（1863）年 大判錦絵3枚続	13 皇国一新見聞誌 伏見の戦争 芳年 明治9（1876）年 大判錦絵横
5 海上安全万代寿 晝斎 文久3（1863）年 大判錦絵3枚続	14 徳川治蹟年間紀事 十五代徳川慶喜公 芳年 明治8（1875）年頃 大判錦絵3枚続
6 画卷国史 七卿西走之図 于時万延三季八月十三日 年英 明治24（1891）年 大判錦絵3枚続	15 画卷国史 山岡鉄太郎西上之図 年英 明治24（1891）年 大判錦絵3枚続
7 東都名所九段之風景 芳虎 慶応3（1867）年 大判錦絵3枚続	16 徳川家十五代之将軍慶喜公謹依之慶応四辰年四月十一旦卯ノ上刻西城奉還之図 芳洲 明治5-8（1872-75）年頃 大判錦絵3枚続
8 東都日本橋大隊練行之図 国輝（二代） 慶応3（1867）年 大判錦絵3枚続	17 魁題百撰相 土屋惣蔵 芳年 明治元（1868）年 大判錦絵
9 東都深川新地之景 広重（二代） 慶応3（1867）年 大判錦絵3枚続	18 箱根血戦 松山 明治10（1877）年 大判錦絵3枚続
	19 近世八戦争 相州箱根 芳年 明治4（1871）年 大判錦絵

20	無題（明治天皇江戸城御入城の図） 芳年 明治元（1868）年 大判錦絵3枚続	46	熊本賊徒討伐之図 芳年 明治9（1876）年 大判錦絵3枚続
21	東京府御東幸行烈図 芳虎 明治2（1869）年 大判錦絵3枚続	47	築地海軍省於練場ニ風船御試之図 広重（三代） 明治10（1877）年 大判錦絵3枚続
22	東京築地ホテル館 国輝（二代） 明治2（1869）年 大判錦絵3枚続	48	内国勸業博覧会之図 清親 明治10（1877）年 大判錦絵3枚続
23	東都築地ホテル館庭前の図 広重（三代） 明治元（1868）年頃 大判錦絵3枚続	49	勸業博覧会之内 器械場乃略図 房種 明治10（1877）年 大判錦絵3枚続
24	東京新島原俄図 芳幾 明治2（1869）年 大判錦絵5枚続	50	内国勸業博覧会 開場御式の図 周延 明治10（1877）年 大判錦絵3枚続
25	駒場野之風景 芳虎 明治3（1870）年 大判錦絵3枚続	51	錦町華族学校 学習院開業式図 国明（二代） 明治10（1877）年 大判錦絵3枚続
26	越中島大調練之図 国貞（二代）・国貞（三代） 明治3（1870）年 大判錦絵3枚続	52	鹿児島紀聞 永濯 明治10（1877）年 大判錦絵3枚続
27	東京銀座要路煉瓦石造真図 国輝（二代） 明治6（1873）年 大判錦絵3枚続	53	絵入新聞別号記載 西郷君暴徒説論の図 芳虎 明治10（1877）年 大判錦絵3枚続
28	東京ハッ山下海岸蒸気車鉄道之図 広重（三代） 明治3-5（1870-72）年 大判錦絵3枚続	54	鹿児島記事 芳年 明治10（1877）年 大判錦絵3枚続
29	東京築地舶来ぜんまい大仕かけきぬ糸を取る図 芳虎 明治5（1872）年 大判錦絵3枚続	55	鹿児島新聞 熊本城戦之図 吟光 明治10（1877）年 大判錦絵3枚続
30	上州富岡製糸場之図 国輝（二代） 明治6（1873）年か 大判錦絵3枚続	56	薩州鹿児島征討記之内 賊徒之女隊勇戦之図 芳年 明治10（1877）年 大判錦絵3枚続
31	元ト昌平阪聖堂ニ於テ 博覧会図 一景 明治5（1872）年 大判錦絵3枚続	57	鎮撫鹿児島新聞 吟光 明治10（1877）年 大判錦絵3枚続
32	博覧会諸人群集之図 元昌平坂ニ於テ 一景 明治5（1872）年 大判錦絵3枚続	58	高瀬口大進撃図 永濯 明治10（1877）年 大判錦絵3枚続
33	訓童小学校教導之図 夏良 明治7（1874）年 大判錦絵3枚続	59	鹿児島新聞之内 田原坂進撃之図 国貞（三代） 明治10（1877）年 大判錦絵3枚続
34	征韓論之図 周延 明治10（1877）年 大判錦絵3枚続	60	鹿児島紀聞 吉次越激戦篠原討死之談 年信（初代） 明治10（1877）年 大判錦絵3枚続
35	西海揚波起原 松山 明治10（1877）年 大判錦絵3枚続	61	鹿児島水股戦争 清親 明治10（1877）年 大判錦絵3枚続
36	皇国一新見聞誌 佐賀の事件 芳年 年直 明治9（1876）年 大判錦絵横	62	逆徒高千穂籠山 年信（初代） 明治10（1877）年 大判錦絵3枚続
37	日清両大臣於北京応接之図 房勝 明治7（1874）年 大判錦絵3枚続	63	鹿児島電報 双雄血戦之図 芳年 明治10（1877）年 大判錦絵3枚続
38	明治七十一月廿七日 弁理大臣帰朝市中祝賀之図 房勝 明治7（1874）年 大判錦絵3枚続	64	鹿児島暴徒降参之図 芳年 明治10（1877）年 大判錦絵3枚続
39	地方官会議之図 年信（初代） 明治13（1880）年 大判錦絵3枚続	65	西郷隆盛切腹図 芳年 明治10（1877）年 大判錦絵3枚続
40	雲揚艦兵士朝鮮江華戦之図 芳年 年参 明治8（1875）年頃 大判錦絵3枚続	66	賊魁ノ首級実検之図 年参 明治10（1877）年 大判錦絵3枚続
41	奥羽御巡幸 日光山御巡覧ノ図 広重（三代） 明治9（1876）年 大判錦絵3枚続	67	北陸東海御巡幸御発輦之図 宮内省窺済 東京万世橋之真景 周延 明治11（1878）年 大判錦絵3枚続
42	奥羽御巡行於須賀川駅良馬選挙図 周延 明治9（1876）年 大判錦絵横	68	陸海軍将校昇等ノ図 年信（初代） 明治11（1878）年 大判錦絵3枚続
43	陸奥松島観瀾亭島嶼叡覧之図 周延 明治9（1876）年 大判錦絵横	69	万々歳栄の寿 国利 明治10（1877）年 大判錦絵3枚続
44	明治小史年間紀事 三重県下頑民暴動之事件 芳年 明治10（1877）年 大判錦絵3枚続	70	花之東王子御慰の図 周延 明治11（1878）年 大判錦絵3枚続
45	西海暴動電信紀聞 周延 明治10（1877）年 大判錦絵3枚続	71	明治十二年八月廿五日 御臨幸上野公園之図 周延 明治12（1879）年 大判錦絵3枚続

72	於上野公園地 クラント君興忘ノ図 周延 明治12 (1879)年 大判錦絵3枚続	98	新皇居御出門之図 幾英 明治21(1888)年 大判錦絵 3枚続
73	東京名所ノ内 靖国神社真景 延一 明治21(1888)年 大判錦絵3枚続	99	枢密院会議之図 周延 明治21(1888)年 大判錦絵 3枚続
74	東京九段坂上靖国神社真景 安治 明治20(1887)年 大判錦絵3枚続	100	大日本帝国憲法発布式之図 年忠 明治22(1889)年 大判錦絵3枚続
75	諸国名所之内 甲州猿橋遠景 広重(三代) 明治13 (1880)年 大判錦絵3枚続	101	憲法発布式之図 周延 明治22(1889)年 大判錦絵3 枚続
76	第二回勸業博覧会図 国松 明治14(1881)年 大判錦 絵3枚続	102	憲法御発布鳳輦還幸之図 国利 明治22(1889)年 大 判錦絵3枚続
77	第二回内国勸業博覧会図 周延 明治14(1881)年 大 判錦絵3枚続	103	憲法御発布式祝祭之景況並ニ式重橋御成行列之図 国利 明治22(1889)年 大判錦絵3枚続
78	東京名所 上野博覧会縦覧之図 房種 明治14(1881) 年 大判錦絵3枚続	104	憲法発布式桜田之景 小国政 明治22(1889)年 大判 錦 絵3枚続
79	内国勸業博覧会館内列品ノ図 芳虎 明治14(1881)年 大判錦絵3枚続	105	憲法発布 青山觀兵式真図 安治 明治22(1889)年 大判錦絵3枚続
80	北海道御巡行之図 周延 明治14(1881)年 大判錦絵 3枚続	106	上野公園御幸之図 無款 明治22(1889)年 大判錦絵 3枚続
81	東京名所之内 赤坂仮皇居御出門之図 広重(三代) 明治14(1881)年 大判錦絵3枚続	107	憲法発布上野賑 勝月 明治22(1889)年 大判錦絵3 枚続
82	板垣君遭難之図 豊宣 明治15(1882)年 大判錦絵3 枚続	108	憲法発布式祝祭図 幾英 明治22(1889)年 大判錦絵 6枚続
83	朝鮮暴徒防禦図 国松 明治15(1882)年 大判錦絵3 枚続	109	横須賀行幸之図 安治 明治22(1889)年 大判錦絵3 枚続
84	朝鮮伝聞記 吟光 明治15(1882)年 大判錦絵3枚続	110	上野 徳川三百年祭ノ図 延一 明治22(1889)年 大判 錦絵3枚続
85	於隅田川海軍之端舟競走水雷火試発天覧之図 広重(三 代) 明治16(1883)年 大判錦絵3枚続	111	温古 東錦 東照宮三百年祭 勝月 明治22(1889)年 大判錦絵3枚続
86	清仏戦争図 安治 明治17(1884)年 大判錦絵3枚続	112	陸海軍大演習之図 延一 明治23(1890)年 大判錦絵3 枚続
87	東京上野鉄道開業式諸民拝見之図 広重(三代) 明治 17(1884)年か 大判錦絵3枚続	113	第三回内国勸業博覧会 会場一覽之図 国利 明治23 (1890)年 大判錦絵3枚続
88	東京名所上野山下ステーション開業式汽車発車之図 園吉 明治18(1885)年 大判錦絵3枚続	114	上野公園 内国勸業博覧会之図 春暁 明治23(1890)年 大判錦絵3枚続
89	日比谷於練兵場ニ陸軍諸隊整列式之真図 広重(三代) 明治17(1884)年 大判錦絵3枚続	115	上野公園地 第三回内国博覧会之図 勝月 明治23 (1890)年 大判錦絵3枚続
90	日比谷練兵場觀兵式之図 秀月 明治19(1886)年 大判錦絵3枚続	116	第三回内国勸業博覧会之図 春暁 明治23(1890)年 大判錦絵3枚続
91	上野不忍池共同競馬会真図 玉英 明治17(1884)年 大判錦絵3枚続	117	勸業博覧会 館内一覽之図 周延、延次 明治23(1890) 年 大判錦絵3枚続
92	上野不忍共同競馬会社 開業式之図 周延 明治17 (1884)年 大判錦絵3枚続	118	大日本帝国国会仮議事堂之図 安治 明治21(1888)年 大判錦絵3枚続
93	チャリネ大曲馬御遊覧ノ図 周延 明治19(1886)年 大判錦絵3枚続	119	国会儀事堂会儀之図 延一 明治22(1889)年大判錦絵 3枚続
94	伊太利亜国チャリ子世界第一大曲馬遊覧之図 政信(三 代国貞か) 明治19(1886)年 大判錦絵3枚続	120	大日本帝国議會之図 吟光 明治22(1889)年か 大判 錦絵3枚続
95	新年御拝賀之図 国保 明治20(1887)年 大判錦絵3 枚続	121	国会開式 鳳凰輦御臨幸之図 勝月 明治23(1890)年 大判錦絵3枚続
96	皇后宮御製唱歌 国周 明治21(1888)年 大判錦絵2 枚続	122	帝国議事堂炎上之図 清親 明治24(1891)年 大判錦 絵3枚続
97	大日本帝国造営御所之図 広重(三代) 明治21 (1888)年 大判錦絵3枚続		

- 123 第二期 帝国議會衆議院之図 延一 明治24 (1891) 年
大判錦絵3枚続
- 124 帝国議會衆議院之図 延一 明治25 (1892) 年か、大判錦
絵3枚続
- 125 第二会廿五年国会議事堂 小国政 明治25 (1892) 年
大判錦絵3枚続
- 126 魯国皇太子御着之図 国政(五代) 明治24 (1891) 年
大判錦絵3枚続
- 127 近世史略 魯国皇太子御来遊之図 国輝(三代) 明治
24 (1891) 年 大判錦絵3枚続
- 128 澳国皇族新橋御入京図 新橋ステーション御着之図
国政(五代) 明治26 (1893) 年 大判錦絵3枚続
- 129 福島中佐単騎旅行 延一 明治26 (1893) 年 大判錦絵
3枚続
- 130 新橋停車場 福島中佐着車之図 小国政 明治26
(1893) 年 大判錦絵3枚続
- 131 福島中佐君帰朝 上野不忍池畔歓迎之図 小国政 明治
26 (1893) 年 大判錦絵3枚続
- 132 福島中佐勲章授与之図 延一 小国政 明治26 (1893) 年
大判錦絵3枚続
- 133 銀婚式御祝典之図 年昌 明治27 (1894) 年 大判錦絵3
枚続
- 134 五五大典 銀婚御式之図 小国政・国秀 明治27
(1894) 年 大判錦絵3枚続
- 135 銀婚式御祝之図 小国政 明治27 (1894) 年 大判錦絵
3枚続
- 136 銀婚大典御儀式之図 延一 明治27 (1894) 年 大判錦絵
3枚続
- 137 銀婚式祝典 臨時観兵式行幸 桜田御出門之真図 吟光
明治27 (1894) 年 大判錦絵3枚続
- 138 大婚廿五年御祝典 青山観兵式之図 延一 明治27
(1894) 年 大判錦絵3枚続
- 139 京都大宮御所ヨリ後月輪新御陵へ御送柩之図 耕拳
明治30 (1897) 年 大判錦絵3枚続
- 140 其初 朝鮮発端 吟光 明治27 (1894) 年 大判錦絵
3枚続
- 141 牙山凱旋歓迎之図 吟光 明治27 (1894) 年 大判錦絵
3枚続
- 142 参謀本部会議之図 延一 小国政 明治27 (1894) 年
大判錦絵3枚続
- 143 我野戦砲兵九連城幕営攻撃 清親 明治27 (1894) 年 大
判錦絵3枚続
- 144 明治廿七年十二月清征祝捷大会ヲ上野ニ掲ル時ニ数千ノ
劒士ガ野試合ヲ天覧之図 小国政 明治27、28 (1894、
95) 年 大判錦絵3枚続
- 145 樋口大尉進撃之途次自ラ清民ノ遺児ヲ抱持スル之図
月耕 明治28 (1895) 年 大判錦絵3枚続
- 146 大寺將軍全カヲ揮テ百尺崖ヲ襲撃スル之図 月耕 明治
28 (1895) 年 大判錦絵3枚続
- 147 清国北洋艦隊於威海衛全滅遂提督丁汝昌我海軍敵不能於
官宅自殺図 年方 明治28 (1895) 年 大判錦絵3枚続
- 148 野戦病院エ行啓之図 清親 明治28 (1895) 年 大判錦絵
3枚続
- 149 請和談判之図 年章 明治28 (1895) 年 大判錦絵3枚続
- 150 台湾三景之内 基隆之雨 清親 明治30 (1897) 年 大判
錦絵3枚続
- 151 奠都三十年祭御臨幸之図 小国政 明治31 (1898) 年
大判錦絵3枚続
- 152 奠都三十年祭御臨幸之図 無款 明治31 (1898) 年 大判
錦絵3枚続
- 153 奠都三十年祭祝賀奉迎之図 香斎 明治31 (1898) 年 大
判錦絵3枚続
- 154 奠都三十年祭 鳳凰輦御臨幸之図 周延 明治31
(1898) 年 大判錦絵3枚続
- 155 奠都三十年祝賀祭御遊覧之図 幾英 明治31 (1898) 年
大判錦絵3枚続
- 156 明治三十一年四月十日上野公園ニ於テ 奠都三十年祭
祝賀会 春暁 明治31 (1898) 年 大判錦絵3枚続
- 157 奠都三十年祭之図 国貞(三代) 明治31 (1898) 年
大判錦絵3枚続
- 158 貴族大礼式ノ図 無款 明治33 (1900) 年 大判錦絵3枚続
- 159 額画 貴族大礼式之図 無款 明治33 (1900) 年 大判
錦絵3枚続
- 160 貴顕結婚式之図 延一 明治33 (1900) 年 大判錦絵3枚続
- 161 大激戦二百三高地占領 清親 明治38 (1905) 年 大判錦絵
3枚続
- 162 日露仁川海戦 大日本海軍大勝利 万歳 清親 明治37
(1904) 年 大判錦絵3枚続
- 163 日露戦争電報実記之内 小国政 明治37 (1904) 年 大判
錦絵3枚続
- 164 二重橋外御大葬之図 半哺 大正元 (1912) 年 大判錦絵
6枚続
- 165 東都築地ホテル館之図 広重(三代) 明治2 (1869) 年
大判錦絵3枚続
- 166 東京海運橋五階造為替会社之図 一景 明治6 (1873) 年
大判錦絵3枚続
- 167 海運橋三井組会社図 一景 明治5 (1872) 年 大判錦絵
3枚続
- 168 東京開化名勝京橋石造銀座通り両側煉化石商家盛栄之図
広重(三代) 明治7 (1874) 年 大判錦絵3枚続
- 169 東京名所 三ツ井ハウスノ図 する賀町 広重(三代)
明治7、8年頃 大判錦絵3枚続
- 170 総州銚子港燈台略図 国輝(二代) 国貞(三代)
明治7 (1874) 年頃 大判錦絵3枚続
- 171 東京府下自慢競 江戸橋駅通寮 国輝(二代) 明治7
(1874) 年 大判錦絵
- 172 東京名所図会 江戸橋郵便局 広重(三代) 明治13
(1880) 年頃 大判錦絵
- 173 山形県下名所図会 竹葉 明治13 (1880) 年 大判錦絵横

174	浅草公園 富士山繁栄の図 幾英 明治20 (1887) 年 大判錦絵3枚続	明治25 (1892)年 大判錦絵3枚続
175	芝愛宕山 上ヨリ芝浦海岸遠望 園吉 明治24 (1891) 年 大判錦絵3枚続	201 薩摩沖海上の場 国貞 (三代) 明治25 (1892)年 大判 錦絵2枚続
176	浅草公園凌雲閣之図 延一 明治25 (1892)年 大判錦絵	202 深野座 福島中佐 山口定雄 吟光 明治26 (1893)年 大判錦絵堅2枚続
177	靖国神社 大村大輔之肖像 延一 延重 明治26 (1893)年 大判錦絵3枚続	203 久松町劇場 久松座繁栄図 広重 (三代) 明治12 (1879) 年 大判錦絵3枚続
178	二重橋楠公銅像 延一 明治32 (1899) 年 大判錦絵3 枚続	204 東京日々新聞 九百十四号 芳幾 明治8 (1875) 年 大判錦絵
179	東京名所之内 新橋ステーション蒸汽車鉄道図 広重 (三代) 明治6 (1873) 年頃 大判錦絵3枚続	205 郵便報知新聞 第四百四十九号 芳年 明治8 (1875) 年 大判錦絵
180	鉄道馬車往復京橋煉瓦造ヨリ竹河岸図 広重 (三代) 明治15 (1882) 年 大判錦絵3枚続	206 各種新聞図解の内 横浜毎日新聞 第六百廿一号 第八 永濯 明治7 (1874) 年 大判錦絵
181	東京第一名所 日本橋御模様替繁栄之図 国輝 (二代) 明治6 (1873) 年 大判錦絵3枚続	207 大阪新聞錦画 第二号 貞信 (二代) 明治8 (1875) 年頃 中判錦絵
182	東京名所筋違万代橋図 広重 (三代) 明治6 (1873) 年 大判錦絵3枚続	208 近世人物誌 やまと新聞附録第十五 木戸翠香院殿 芳年 明治20 (1887) 年 大判錦絵
183	東京両国橋之図 芳年 明治8 (1875) 年頃 大判錦絵 3枚続	209 地本錦絵双紙団扇問屋 紅英堂蔦屋林吉蔵 広重 (三 代) 明治前期 大判錦絵横
184	東京第一名所 永代橋之真景広重 (三代) 明治8 (1875) 年 大判錦絵3枚続	210 於威海衛附近我海軍陸戦隊決死隊七勇士先鋒上陸之図 年方 明治28 (1895)年 大判錦絵3枚続
185	東京名所浅草鉤橋鉄道馬車往復之図 広重 (三代) 明治17 (1884) 年 大判錦絵3枚続	211 東台 山王山戦争之図 芳年 明治7 (1874) 年頃 大判 錦絵3枚続
186	大日本東京 吾妻橋真画 安治 明治20 (1887) 年 大判錦絵3枚続	212 奉楽天覧 国周 明治12 (1879) 年 大判錦絵3枚続
187	隅田花吾妻賑 周延 延一 明治21 (1888) 年 大判錦 絵3枚続	213 鹿児島平定寿語録 芳年 明治10 (1877) 年 大判錦絵 3枚続2段
188	東京小網町鎧橋通り 吾妻亭 安治 明治21 (1888) 年 大判錦絵3枚続	214 世界第一チャリ子大曲馬廻り寿語六 周延 明治19 (1886) 年 69.6X58.8
189	秋園菊花の盛 周延 明治20 (1887) 年 大判錦絵3枚続	215 未来之鏡 皇国双六 無款 明治21 (1888) 年 216 五大州還遊寿語録 延一 明治23 (1890)年
190	欧洲管絃楽合奏之図 周延 明治22 (1889) 年 大判錦絵 3枚続	217 高貴肖像 国周 明治18 (1885) 年 大判錦絵3枚続
191	大日本婦人束髪図解 吟光 明治18 (1885) 年 大判錦絵 3枚続	218 扶桑高貴鑑 周延 明治11 (1878) 年 大判錦絵3枚続
192	青山仮皇居御能ノ図 周延 明治11 (1878) 年 大判錦絵 3枚続	219 皇国官員鏡 周延 明治13 (1880) 年 大判錦絵3枚続
193	延遼館天覧相撲之図 月耕 明治17 (1884) 年 大判錦 絵3枚続	220 明治文徳武功競 年参 明治13 (1880) 年 大判錦絵 3枚続
194	靖国神社大祭執行 横綱式場ノ図 小国政 明治29 (1896) 年大判錦絵3枚続	221 皇国貴顕肖像 清親 明治16 (1883) 年 大判錦絵3枚続
195	高貴演劇遊覧ノ図 周延 明治20 (1887) 年 大判錦絵 3枚続	222 扶桑高貴鑑 周延 明治19 (1886) 年 大判錦絵3枚続
196	与衆同楽 国周 明治20 (1887) 年 大判錦絵3枚続	223 皇国高貴鑑 国保 明治20 (1887) 年 大判錦絵3枚続
197	西南雲晴朝東風 隆盛の本営に少年輩留別の図 芳年 明治11 (1878) 年 大判錦絵3枚続	224 東西英雄競 編 国貞 (三代) 明治10 (1877) 年 大判錦絵3枚続
198	無題 (三府五港写幻燈 紀州沖汽船沈没の場) 国貞 (三代) 明治20 (1887) 年 大判錦絵堅2枚続	225 大日本王代一覽 壹 年基 基一 基春 大判錦絵 3枚続
199	紀州沖汽船沈没の場 国周 明治20 (1887) 年 大判錦絵 3枚続	226 尽忠報国高名一覽 芳年 大判錦絵3枚続
200	横堀村山越谷道の場 道連小平 尾上菊五郎 国周	227 世上各国 写画帝王鏡 周延 明治12 (1879) 年 大判 錦絵3枚続
		228 大日本帝国衆議員肖像 国輝 (三代) 明治24 (1891) 年 大判錦絵3枚続
		229 皇国貴顕之像 国貞 (三代) 明治15 (1882) 年 大判 錦絵

230	皇国貴顕之像 国貞（三代） 明治15（1882）年 大判錦絵	芳年 明治21（1888）年 大判錦絵
231	大日本優名鏡 年信（初代） 明治11（1878）年 大判錦絵	253 俳優写真鏡 仁木弾正 尾上菊五郎 芳幾 明治3（1870）年 大判錦絵
232	大日本優名鏡 年信（初代） 明治11（1878）年 大判錦絵	254 俳優写真鏡 荒獅子男之助 坂東三津五郎 芳幾 明治3（1870）年 大判錦絵
233	有名十八史略 西郷吉之助 隆盛 年基 明治10（1877）年か 大判錦絵	255 俳優写真鏡 白拍子花子 中村芝翫 芳幾 明治3（1870）年 大判錦絵
234	文武高名伝 旧陸軍大将正三位西郷隆盛 年基 明治10（1877）年 大判錦絵	256 ゆかんバギ三 菊五郎 国周 明治2（1869）年 大判錦絵
235	鹿児島藩規則列士族一覧之図 龍洞 明治10（1877）年 大判錦絵3枚続	257 がい志や三代吉 坂東三津五郎 国周 明治2（1869）年 大判錦絵
236	天盃 蕉窓 明治10（1877）年 大判錦絵3枚続	258 熊谷直実 中村芝翫 国周 明治2（1869）年 大判錦絵
237	鹿児島征討記 国松 明治10（1877）年か 大判錦絵3枚続	259 海運橋 清親 明治9（1876）年 大判錦絵横
238	鹿児島戦記 佐土原落城ノ図 甘斎 明治10（1877）年 大判錦絵3枚続	260 東京銀座街日報社 清親 明治9（1876）年 大判錦絵横
239	青山練兵場観兵式之図 桜湖 明治22（1889）年か 大判錦絵3枚続	261 御厩橋之図 清親 明治13（1880）年頃 大判錦絵横
240	斎藤少佐之恩愛ニ促テ捕虜軍内之実ヲ吐ク図 米作 明治27（1894）年 大判錦絵3枚続	262 鶏こトンボ 清親 明治13（1880）年 大判錦絵横
241	大日本名誉奇談 耕漁 明治27（1894）年 大判錦絵3枚続	263 新吉原夜桜景 安治 明治13（1880）年 大判錦絵横
242	帝国艦隊豊島ニ支那艦ヲ破ル 経茂 明治27（1894）年 大判錦絵3枚続	264 銀座商店夜景 安治 明治15（1882）年 大判錦絵横
243	大本営ニ擬大軍議之図 耕一 明治27（1894）年 大判錦絵3枚続	参考 新形三十六怪撰 為朝の武威痘鬼神を退く図 芳年 明治23（1890）年 大判錦絵
244	営口附近氷踏敵情偵察 精三 明治28（1895）年 大判錦絵3枚続	参考 新形三十六怪撰 葛の葉きつね童子とわかるるの図 芳年 明治23（1890）年 大判錦絵
245	猛将抛生不棄仁愛 耕涛 明治28（1895）年 大判錦絵3枚続	参考 新橋ステーション 清親 明治14（1881）年 大判錦絵横
246	請和使談判之図 光逸 明治28（1895）年 大判錦絵3枚続	参考 霊岸島高橋の景 安治 明治14（1881）年頃 大判錦絵横
247	靖国神社大祭之図 清興 明治28（1895）年か 大判錦絵3枚続	参考 皇城二重橋 安治 明治21（1889）年 大判錦絵横
248	九連城蛤蟆塘之激戦 我軍大捷露国狙撃歩兵第三師団長中将カスタースキー將軍戦死之図 古邨 明治37（1904）年 大判錦絵3枚続	参考 月百姿 源氏夕顔巻 芳年 明治19（1886）年 大判錦絵
249	藤花鯉魚 芳年 明治22（1889）年 大判錦絵3枚続	参考 風俗三十二相 さむそう 天保年間深川仲町芸者風俗 芳年 明治21（1889）年 大判錦絵
250	芳涼閣両雄動 芳年 明治18（1885）年 大判錦絵縦2枚続	参考 風俗三十二相 むまさう 嘉永年間女郎之風俗 芳年 明治21（1889）年 大判錦絵
251	月百姿 卒塔婆の月 芳年 明治19（1886）年 大判錦絵	参考 風俗三十二相 はづかしさう 明治年間むすめの風俗 芳年 明治21（1889）年 大判錦絵
252	風俗三十二相 じれつたそう 嘉永年間鳶妻之風俗	参考 高縄鉄道之図 芳年 年延 明治4（1871）年 大判錦絵3枚続
		参考 高輪牛町朧月景 清親 明治12（1879）年 大判錦絵横
		参考 吾妻橋 安治 明治21（1889）年 大判錦絵横
		参考 外桜田遠景 安治 明治14～22（1881～89）年 四ッ切判錦絵横
		参考 永代橋日本銀行の雪 安治 明治14～22（1881～89）年 四ッ切判錦絵横

イ 「重要文化財修理完成記念「十王図」」

会 期：7月17日（土）～ 8月29日（日）

主 催：神奈川県立歴史博物館

後 援：神奈川県新聞社、朝日新聞横浜総局、毎日新聞社横浜支局、読売新聞横浜支局、産経新聞社横浜総局、東京新聞横浜支局、日本経済新聞社横浜支局、共同通信社横浜支局、時事通信社横浜総局、NHK 横浜放送局、TVK（テレビ神奈川）、ラジオ日本、FM ヨコハマ、J:COM

認 証：beyond 2020

展示資料件数：18 件

入 場 者 数：2,863 名（有料 1,570 名、無料 1,293 名）

担 当：学芸員 橋本 遼太

概 要：神奈川県立博物館の開館にあわせて購入し中世絵画部門を代表する館蔵品として展示活用してきた国指定重要文化財の十王図が5ヵ年（平成24年～28年）の解体修理を完了したことをうけて、これを展示公開することを目的に開催を企画した特別展。

関 連 行 事：・記念講演会「神奈川県立歴史博物館所蔵《十王図》の修理内容とその特殊性」7月18日
・講演会「神奈川県立歴史博物館所蔵の《十王図》について」8月8日
・講演会「十王図の図像と転写にみる死生観」8月22日
・学芸員による展示解説 7月17日、31日、8月7日、14日、21日、28日
（※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、一部日程を変更して実施した。）

出 品 目 録：（凡例）No.、資料名称、総員数、材質技法、時代・世紀、所蔵者、指定

1	十王図 10 絹本着色 南宋～元時代 13 世紀 神奈川県立歴史博物館 国指定重要文化財	10	仏説地藏菩薩発心因縁十王経 1 紙本墨摺 江戸時代 17 世紀 神奈川県立金沢文庫
2	十王二使者図 12 絹本着色 明時代 14 世紀 総世寺	11	十王図 10 絹本着色 江戸時代 18 世紀 大仙寺
3	地藏十王図 11 絹本着色 室町時代 16 世紀 建長寺 鎌倉市指定有形文化財	12	十王図 9 絹本着色 室町時代 16 世紀 寶生寺
4	地藏十王図 11 絹本着色 室町時代 16 世紀 能永寺 横須賀市指定重要有形文化財	13	地藏十王図 11 紙本着色 江戸時代 17～18 世紀 明長寺 川崎市重要歴史記念物
5	探幽縮図 地藏十王図巻 1 紙本淡彩 江戸時代 17 世紀 大倉集古館 重要美術品	14	地藏十王図 10 紙本着色 江戸時代 享保20年(1735) 無量院
6	十王図 5 絹本着色 元時代 13～14 世紀 称名寺	15	十王図 6 紙本着色 江戸時代 元文4年 (1739) 神武寺
7	十王図 10 絹本着色 鎌倉時代 13～14 世紀 西光寺 千葉県指定有形文化財（絵画）	16	地藏十王図 11 紙本着色 江戸時代 18 世紀 長運寺 葉山町指定重要文化財
8	往生要集 3 紙本墨書 平安時代 11 世紀 最明寺 国指定重要文化財	17	十王図 10 紙本着色 江戸時代 18 世紀 称名寺
9	往生要集鈔 1 紙本墨書 鎌倉時代 承久2年(1220) 称名寺 国宝	18	十王図 10 紙本着色 江戸時代 18 世紀 長徳寺

ウ 「開基 500 年記念 早雲寺—戦国大名北条氏の遺産と系譜—」

会 期：10 月 16 日(土) ～ 12 月 5 日(日)

主 催：神奈川県立歴史博物館、早雲寺、文化庁

特 別 協 力：箱根町立郷土資料館、大阪府立狭山池博物館、大阪狭山市教育委員会、小田原城天守閣 神奈川県観光協会

後 援：神奈川新聞社、朝日新聞横浜総局、毎日新聞横浜支局、読売新聞横浜支局、産経新聞社 横浜総局、東京新聞横浜支局、日本経済新聞横浜支局、共同通信横浜支局、時事通信横浜総局、NHK 横浜放送局、TVK（テレビ神奈川）、ラジオ日本、FM ヨコハマ、J:COM

助 成：文化庁[令和3年度地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業]

展示資料件数：137 件

入 場 者 数：7,154 名（有料 4,814 名、無料 2,340 名）

担 当：学芸員 渡邊 浩貴

概 要：箱根にある金湯山早雲寺は、伊勢宗瑞（北条早雲）を開基とし、大永元年（1521）に戦国大名北条氏の二代当主氏綱が建立したとされる。かつて早雲寺は、小田原を拠点に関東に覇を唱えた戦国大名北条氏の菩提所として栄華を極め、かつ大徳寺関東龍泉派の古刹でもあるため、京都の文化を取り入れる窓口として関東において大きな影響力を持っていた。令和3年（2021）は、早雲寺の開基 500 周年にあたる。本展はこれを記念して、早雲寺とそのゆかりの寺院や北条氏一族が今日まで大切に伝えてきた数々の宝物を一挙に公開する。箱根霊場・関東公方足利氏・小田原北条氏・玉縄北条氏・狭山藩北条氏・早雲寺の

僧侶と末寺ネットワークなど、多様な視点から早雲寺の寺宝を読み解き、その背後にひろがる文化と権力の複雑に絡まり合う様子を、文献・考古・美術資料から示す。

関 連 行 事：・入門講座「早雲寺展をふかめる―早雲寺をとりまく文化と権力の相克―」11月3日
・県博セミナー「早雲寺展をひろげる―戦国大名北条氏の歴史と文化をたどる―」
11月3日、7日、14日、21日、28日、12月5日

(※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、一部日程を変更して実施した)

- ・連続講座「体験！大人のせんごく寺子屋《パートⅠ》」11月13日、20日
- ・連続講座「体験！大人のせんごく寺子屋《パートⅡ》」11月27日、12月4日
- ・現地見学会「早雲寺と戦国大名北条氏ゆかりの地を訪ねる」11月5日
- ・学芸員による展示解説 11月6日、12日、19日、23日、12月3日

(※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、一部日程を変更して実施した。)

出 品 目 録：(凡例) No.、指定、名称、品質形状、員数、時代、所蔵

*資料名の前に付した記号のうち、◎は重要文化財、●は重要美術品、□は区・市指定文化財を示す。

1 ◎織物張文台及硯箱 木製織物張 1具 室町時代 神奈川県 早雲寺	神奈川 早雲寺
2 菰山城跡出土品	10 ◎箱根権現縁起 紙本著色 1巻 鎌倉末～南北朝時代 神奈川県 箱根神社
2-1 白磁皿(中国産) 陶製 1点 戦国時代 静岡県 伊豆の 国市教育委員会	11 □箱根権現縁起絵巻 紙本著色 2巻 天正10年 (1582) 個人
2-2 青磁碗(中国産) 陶製 1点 戦国時代 静岡県 伊豆 の国市教育委員会	12 ○菩薩像頭部 木造 1点 平安時代 神奈川県 興福院
2-3 染付碗 陶製 1点 戦国時代 静岡県 伊豆の国市教育 委員会	13 ○普賢菩薩坐像 木造 1軀 永仁5年(1297) 神奈川県 興福院
2-4 染付小杯 陶製 1点 戦国時代 静岡県 伊豆の国市教 育委員会	14 伊勢菊寿丸所領注文 紙本墨書 1通 永正16年 (1519) 神奈川県 箱根神社
2-5 染付皿 陶製 1点 戦国時代 静岡県 伊豆の国市教育 委員会	15 伊勢氏綱社殿造営棟札 木製 1点 大永3年(1523) 神奈川県 箱根神社
2-6 青磁皿(中国産) 陶製 1点 戦国時代 静岡県 伊豆 の国市教育委員会	16 ○地藏菩薩立像 木造 1軀 鎌倉時代 神奈川県 正眼寺
2-7 天目茶碗(瀬戸美濃産) 陶製 1点 戦国時代 静岡県 伊豆の国市教育委員会	17 □地藏菩薩立像 木造 1軀 室町時代 神奈川県 正眼寺
2-8 瓶子(瀬戸美濃産) 陶製 1点 戦国時代 静岡県 伊豆の国市教育委員会	18 地藏菩薩立像 像内納入品
2-9 腰折皿(瀬戸美濃産) 陶製 1点 戦国時代 静岡県 伊豆の国市教育委員会	18-1 □武蔵法橋康信願文 紙本墨書 1紙 康元元年 (1256) 神奈川県 正眼寺
2-10 かわらけ 土製 3点 戦国時代 静岡県 伊豆の国市 教育委員会	18-2 □藤原家信願文 紙本墨書 1紙 建長8年(1256) 神奈川県 正眼寺
3 山内上杉顕定書状 紙本墨書 1通 明応5年(1496) カ 神奈川県 小田原城天守閣	18-3 □藤原氏武者御前願文 絹本墨書 1紙 建仁元年 (1201) 神奈川県 正眼寺
4 □伊勢宗瑞書状(早雲寺文書) 紙本墨書 1通 永正3年(1506) 神奈川県 早雲寺	18-4 □某仮名願文 紙本墨書 1紙 鎌倉時代 神奈川県 正眼寺
5 □伊勢宗瑞書状(早雲寺文書) 紙本墨書 1通 永正 3年(1506) 神奈川県 早雲寺	18-5 □沙弥永長署名 紙本墨書 1紙 鎌倉時代 神奈川県 正眼寺
6 □伊勢宗瑞書状(早雲寺文書) 紙本墨書 1通 永正 4年～永正8年(1507～1511) カ 神奈川県 早雲寺	18-6 □某願文断簡 紙本墨書 1紙 鎌倉時代 神奈川県 正眼寺
7 □伊勢宗瑞書状(早雲寺文書) 紙本墨書 1通 永正 7年(1510) 神奈川県 早雲寺	18-7 □修造記録断簡 紙本墨書 2紙 鎌倉時代 神奈川県 正眼寺
8 □芹碗 木製漆塗 7点 戦国～江戸時代 神奈川県 早雲寺	19 ●雪嶺斎図 僊可筆 紙本墨画淡彩 1幅 天文7年 (1538) 東京 五島美術館
9 早雲寺芹碗之記 紙本墨書 1通 明治22年(1889)	20 ◎伝貞巖和尚像 一色直朝筆 紙本著色 1幅 戦国時代 埼玉県 甘棠院
	21 富嶽図 伝祥啓筆 紙本墨画淡彩 1幅 室町時代

- 東京 東京国立博物館
- 22 山水図 祥啓筆 紙本墨画淡彩 1 幅 室町時代 栃木
栃木県立博物館
- 23 春景山水図 祥啓筆 紙本墨画淡彩 1 幅 室町時代
神奈川 神奈川県立歴史博物館
- 24 山水図 興悦筆 紙本墨画淡彩 1 幅 室町時代
神奈川 神奈川県立歴史博物館
- 25 ○機婦図 狩野派筆 紙本墨画淡彩 2 幅 室町時代
神奈川 早雲寺
- 26 ○枇杷小禽図 紙本著色 1 幅 室町時代 神奈川
早雲寺
- 27 ○羅漢図 紙本墨画 3 幅 室町時代 神奈川 早雲寺
- 28 達磨図 式部輝忠筆 紙本墨画淡彩 1 幅 室町時代
神奈川 早雲寺
- 29 □足利義晴書状（喜連川文書） 紙本墨書 1 通
天文 18 年（1549） 栃木 さくら市ミュージアム—荒
井寛方記念館—
- 30 □足利義輝書状（喜連川文書） 紙本墨書 1 通 天文
24 年（1555） 栃木 さくら市ミュージアム—荒井寛
方記念館—
- 31 □足利晴氏書状写（喜連川文書） 紙本墨書 1 通
戦国時代 栃木 さくら市ミュージアム—荒井寛方記念
館—
- 32 □足利晴氏書状案（喜連川文書） 紙本墨書 1 通
天文 21 年（1552）カ 栃木 さくら市ミュージアム—
荒井寛方記念館—
- 33 □足利義氏吉書（喜連川文書） 紙本墨書 1 通 天文
24 年（1555） 栃木 さくら市ミュージアム—荒井寛
方記念館—
- 34 □北条氏照条書（喜連川文書）紙本墨書 1 通 戦国
時代 栃木 さくら市ミュージアム—荒井寛方記念館—
- 35 □北条氏政書状（喜連川文書） 紙本墨書 1 通 天正
11 年（1583） 栃木 さくら市ミュージアム—荒井寛
方記念館—
- 36 □北条氏照書状（喜連川文書） 紙本墨書 1 通 天正
11 年（1583） 栃木 さくら市ミュージアム—荒井寛
方記念館—
- 37 足利義氏 和歌短冊 紙本墨書 1 葉 戦国時代 栃木
栃木県立博物館
- 38 伝北条氏和歌短冊（北条家文書）
- 38-1 伝北条氏政和歌短冊 紙本墨書 1 葉 戦国時代
神奈川 神奈川県立歴史博物館
- 38-2 伝北条氏直和歌短冊 紙本墨書 1 葉 戦国時代
神奈川 神奈川県立歴史博物館
- 38-3 伝北条氏康和歌短冊 紙本墨書 1 葉 戦国時代
神奈川 神奈川県立歴史博物館
- 38-4 伝北条氏政和歌短冊 紙本墨書 1 葉 戦国時代
神奈川 神奈川県立歴史博物館
- 38-5 伝北条氏直和歌短冊 紙本墨書 1 葉 戦国時代
神奈川 神奈川県立歴史博物館
- 39 ◎北条早雲像 絹本著色 1 幅 戦国時代 神奈川
早雲寺
- 40 □以天宗清像 絹本著色 1 幅 享禄元年（1528）
神奈川 早雲寺
- 41 □大室宗碩像 絹本著色 1 幅 永禄 11 年（1568）
神奈川 早雲寺
- 42 □梅隠宗香像 紙本著色 1 幅 天正 17 年（1589）
神奈川 早雲寺
- 43 東海宗朝像 絹本著色 1 幅 永正 13 年（1516）
神奈川 早雲寺
- 44 □以天宗清遺偈紙本墨書 1 通 戦国時代 神奈川
早雲寺
- 45 鴉図 以天宗 清筆 紙本墨画 1 幅 室町時代 個人
- 46 杜子美図 以天宗清賛 紙本墨画 1 幅 室町時代
神奈川 神奈川県立歴史博物館
- 47 □後奈良天皇徽号勅書（早雲寺文書） 紙本墨書 1 通
天文 11 年（1542） 神奈川 早雲寺
- 48 □後奈良天皇綸旨（早雲寺文書） 紙本墨書 1 通
天文 11 年（1542） 神奈川 早雲寺
- 49 □北条氏綱寺領寄進状（早雲寺文書） 紙本墨書 1 通
天文 4 年（1535） 神奈川 早雲寺
- 50 □北条氏綱寺領寄進状（早雲寺文書） 紙本墨書 1 通
戦国時代 神奈川 早雲寺
- 51 □北条氏政判物（早雲寺文書）紙本墨書 1 通 永禄
11 年（1568） 神奈川 早雲寺
- 52 □北条氏政判物（早雲寺文書） 紙本墨書 1 通
元亀 3 年（1572） 神奈川 早雲寺
- 53 □北条氏政判物（早雲寺文書） 紙本墨書 1 通 天正
3 年（1575） 神奈川 早雲寺
- 54 □北条氏政書状（早雲寺文書） 紙本墨書 1 通 天正
5 年（1577）カ 神奈川 早雲寺
- 55 □北条氏政書状（早雲寺文書）紙本墨書 1 通 戦国時代
神奈川 早雲寺
- 56 □北条家朱印状（早雲寺文書） 紙本墨書 1 通 弘治
元年（1555） 神奈川 早雲寺
- 57 □北条氏規書状（早雲寺文書） 紙本墨書 1 通 天正
17 年（1589）カ 神奈川 早雲寺
- 58 □北条氏規書状（早雲寺文書） 紙本墨書 1 通 文禄
2 年（1593）カ 神奈川 早雲寺
- 59 □北条氏盛書状（早雲寺文書） 紙本墨書 1 通 文禄
2 年（1593） 神奈川 早雲寺
- 60 □北条氏盛書状（早雲寺文書） 紙本墨書 1 通 戦国
時代 神奈川 早雲寺
- 61 北条氏康判物（本光寺文書） 紙本墨書 1 通 永禄
元年（1558） 神奈川 神奈川県立歴史博物館
- 62 北条氏康判物（本光寺文書） 紙本墨書 1 通 永禄
元年（1558） 神奈川 神奈川県立歴史博物館
- 63 北条家朱印状（本光寺文書） 紙本墨書 1 通 永禄
3 年（1560） 神奈川 神奈川県立歴史博物館
- 64 □北条時長像 絹本著色 1 幅 戦国時代 神奈川

宝泉寺	77-4 白磁皿（中国産） 陶製 3点 戦国時代 東京 八王子市郷土資料館
65 □宝泉寺寺領図 紙本墨画淡彩 1枚 元龜3年 (1572) 神奈川 宝泉寺	77-5 五彩皿（中国産） 陶製 6点 戦国時代 東京 八王子市郷土資料館
66 正親町天皇綸旨 紙本墨書 1通 元龜2年 (1571) 東京 廣徳寺	77-6 青磁香炉（中国産） 陶製 1点 戦国時代 東京 八王子市郷土資料館
67 以天宗清像 紙本著色 1幅 天文12年 (1543) 東京 廣徳寺	77-7 青釉小皿（中国産） 陶製 1点 戦国時代 東京 八王子市郷土資料館
68 明叟宗普書状 紙本墨書 1通 戦国時代 東京 廣徳寺	77-8 茶臼 石製 1点 戦国時代 東京 八王子市郷土資料館
69 明叟宗普遺偈 紙本墨書 1幅 天正18年 (1590) 東京 廣徳寺	78 菊徑宗存像 絹本著色 1幅 延宝3年 (1675) 神奈川 早雲寺
70 ○北条氏綱像 紙本著色 1幅 戦国時代 神奈川 早雲寺	79 説叟宗演像 絹本著色 1幅 元禄4年 (1691) 神奈川 早雲寺
71 ○北条氏康像 紙本著色 1幅 戦国時代 神奈川 早雲寺	80 北条氏政像 土佐光起筆 絹本著色 1幅 寛文10年 (1670) 頃 神奈川 早雲寺
72 □北条幻庵覚書 紙本墨書 1通 永禄3年 (1560) カ 東京 世田谷区立郷土資料館	81 北条氏直像 土佐光起筆 絹本著色 1幅 寛文10年 (1670) 頃 神奈川 早雲寺
73 謡本「錦木」（伝北条氏直筆） 紙本墨書 1冊 戦国 時代 神奈川 神奈川県立歴史博物館	82 北条早雲像 土佐光起筆 絹本著色 1幅 寛文10年 (1670) 頃 神奈川 早雲寺
74 刀 銘相州住綱廣（赤羽刀No.4299） 1振 天文24年 (1555) 神奈川 神奈川県立歴史博物館	83 北条氏綱像 土佐光起筆 絹本著色 1幅 寛文10年 (1670) 頃 神奈川 早雲寺
75 鉄黒漆塗四十八間筋兜鉢 1頭 戦国時代 神奈川 神奈川県立歴史博物館	84 北条氏康像 土佐光起筆 絹本著色 1幅 寛文10年 (1670) 頃 神奈川 早雲寺
76 小田原城跡出土品	85 北条早雲像 絹本著色 1幅 享和3年 (1803) 大阪 法雲寺
76-1 青磁浮牡丹壺（中国産） 陶製 1点 戦国時代 神奈川 小田原市教育委員会	86 北条氏綱像 絹本著色 1幅 享和3年 (1803) 大阪 法雲寺
76-2 白磁皿（中国産） 陶製 9点 戦国時代 神奈川 小田原市教育委員会	87 北条氏康像 絹本著色 1幅 享和3年 (1803) 大阪 法雲寺
76-3 白磁皿（中国福建省産） 陶製 1点 戦国時代 神奈川 小田原市教育委員会	88 北条氏政像 絹本著色 1幅 享和3年 (1803) 大阪 法雲寺
76-4 手づくねかわらけ（伊勢産） 土製 1点 戦国時代 神奈川 小田原市教育委員会	89 北条氏直像 絹本著色 1幅 享和3年 (1803) 大阪 法雲寺
76-5 ロクロかわらけ 土製 3点 戦国時代 神奈川 小田原市教育委員会	90 北条早雲像下絵（北条家文書） 紙本墨画 1幅 江戸 時代 神奈川 神奈川県立歴史博物館
76-6 手づくねかわらけ 土製 3点 戦国時代 神奈川 小田原市教育委員会	91 北条氏康像下絵（北条家文書） 紙本墨画 1幅 江戸 時代 神奈川 神奈川県立歴史博物館
76-7 金箔かわらけ 土製 5点 戦国時代 神奈川 小田原市教育委員会	92 北条氏政像下絵（北条家文書） 紙本墨画 1幅 江戸 時代 神奈川 神奈川県立歴史博物館
76-8 ガラス製小玉 ガラス製 1点 (12粒) 戦国時代 神奈川 小田原市教育委員会	93 北条早雲・氏綱・氏直像下絵（北条家文書） 紙本墨画 1巻 江戸時代 神奈川 神奈川県立歴史博物館
76-9 水滴（瀬戸美濃産） 陶製 2点 戦国時代 神奈川 小田原市教育委員会	94 北条先祖画像下絵（北条家文書） 紙本墨画 1幅 寛政7年 (1795) 神奈川 神奈川県立歴史博物館
76-10 漆器椀 木製漆塗 2点 戦国時代 神奈川 小田原市教育委員会	95 北条早雲半身像（北条家文書） 紙本著色 1幅 江戸 時代 神奈川 神奈川県立歴史博物館
77 八王子城跡出土品	96 北条先祖画像（北条家文書） 紙本著色 1幅 江戸時 代 神奈川 神奈川県立歴史博物館
77-1 金箔かわらけ 土製 6点 戦国時代 東京 八王子市 郷土資料館	97 折敷 木製漆塗 5点 寛文12年 (1672) 個人
77-2 手づくねかわらけ 土製 2点 戦国時代 東京 八王子市郷土資料館	
77-3 レースガラス瓶（ヴェネチア産） ガラス製 1点 戦国時代 東京 八王子市郷土資料館	

- 98 北条時政より鎌倉代々法名・位牌・墳墓之地書付（江馬家文書） 紙本墨書 1冊 正徳5年（1715） 大阪 大阪狭山市教育委員会
- 99 北条氏康・氏政連署書状写（江馬家文書） 紙本墨書 1通 永禄7年（1564） 大阪 大阪狭山市教育委員会
- 100 願成就院修治記写（願成就院文書） 紙本墨書 1巻 宝暦3年（1753） 静岡 願成就院
- 101 本小札紫糸素懸威腹巻（狭山北条家伝来） 1領 戦国時代 神奈川 小田原城天守閣
- 102 北条氏政判物（北条家文書） 紙本墨書 1通 天正8年（1580） 神奈川 神奈川県立歴史博物館
- 103 徳川家康起請文（北条家文書） 紙本墨書 1通 天正10年（1582） 神奈川 神奈川県立歴史博物館
- 104 豊臣秀吉朱印状（北条家文書） 紙本墨書 1通 天正19年（1591） 神奈川 神奈川県立歴史博物館
- 105 豊臣秀吉朱印状（北条家文書） 紙本墨書 1通 天正19年（1591） 神奈川 神奈川県立歴史博物館
- 106 豊臣秀吉朱印状（北条家文書） 紙本墨書 1通 文禄3年（1594） 神奈川 神奈川県立歴史博物館
- 107 三鱗紋陣羽織 布製 1点 江戸時代 神奈川 神奈川県立歴史博物館
- 108 三鱗紋旗指物 布製 1点 江戸時代 神奈川 神奈川県立歴史博物館
- 109 軍配団扇 革製漆塗 1本 戦国時代 東京 東京国立博物館
- 110 軍配団扇 竹製漆塗 1本 戦国時代 東京 東京国立博物館
- 111 氏朝公日記（北條尚氏所蔵文書） 紙本墨書 1巻 享保17年～享保19年（1732～1734） 個人
- 112 北条氏朝家譜（北條尚氏所蔵文書） 紙本墨書 1巻 享保17年（1732） 個人
- 113 狭山池由緒書（池守田中家文書） 紙本墨書 1冊 享保7年（1722） カ 個人
- 114 狭山池改修控絵図（池守田中家文書） 紙本彩色 1枚 寛保元年（1741） カ 個人
- 115 狭山藩知事任命書（北条家文書） 紙本墨書 1通 明治2年（1869） 神奈川 神奈川県立歴史博物館

- 116 早雲寺記録 柏州記 紙本墨書 1冊 元禄14年（1701） 神奈川 早雲寺
- 117 早雲寺宝物古器物古文書目録 紙本墨書 1冊 明治時代 神奈川 早雲寺
- 118 早雲寺什宝物目録追加届控 紙本墨書 1冊 明治36年（1903） 神奈川 早雲寺
- 119 宗祇法師像 土佐光起筆 紙本著色 1幅 江戸時代 神奈川 早雲寺
- 120 永禄山寶泉禅寺格弊記 紙本墨書 1巻 元禄9年（1696） 神奈川 宝泉寺
- 121 御法号牒写（北條尚氏所蔵文書） 紙本墨書 1冊 文政9年～明治24年（1826～1891） 個人
- 122 御宝物改帳（江馬家文書） 紙本墨書 1冊 文政13年（1830） 個人
- 123 北条氏所領役帳（野村家文書） 紙本墨書 1冊 元文5年（1740） 大阪 河内長野市立図書館
- 124 北条氏所領役帳（北条家文書） 紙本墨書 2冊 江戸時代 神奈川 神奈川県立歴史博物館
- 125 宗峰妙超像 絹本著色 1幅 室町時代カ 東京 廣徳寺
- 126 明叟宗普像 絹本著色 1幅 戦国時代カ 東京 廣徳寺
- 127 希叟宗罕像 紙本墨画淡彩 1幅 慶長14年（1609） 東京 廣徳寺
- 128 花鳥図 紙本著色 1幅 文政11年（1828） 東京 廣徳寺
- 129 虎図 紙本墨画 1幅 江戸時代 東京 廣徳寺
- 130 這畜生図 紙本墨画 1幅 江戸時代 東京 廣徳寺
- 131 金湯山早雲寺古文章 紙本墨書 3冊 江戸時代 神奈川 早雲寺
- 《参考出品》
- 1 ○正眼寺地藏菩薩立像像内納入品 神奈川 正眼寺
- 2 小田原陣仕寄陣取図（複製） 神奈川 神奈川県立歴史博物館
- 3 早雲寺鉄鉢 神奈川 早雲寺
- 4 揮毫「金湯山」 神奈川 早雲寺
- 5 早雲寺本堂絵葉書 神奈川 神奈川県立歴史博物館
- 6 箱根案内図 神奈川 神奈川県立歴史博物館

(3) コレクション展

1階フリーゾーンにあるコレクション展示室において、常設展示では紹介しきれない館のコレクションの一部を、年1回程度展示している。（観覧料無料）

ア 「運動のすすめ ―20世紀神奈川のスポーツイベント―」

会 期：6月26日（土）～ 9月12日（日）

会 場：コレクション展示室

主 催：神奈川県立歴史博物館

展示資料件数：76件

担 当：学芸員 武田 周一郎

概 要：当館は、20世紀の神奈川県で行われた2つのスポーツイベントに関する資料を収蔵している。1964（昭和39）年の東京オリンピックは、高度経済成長期を象徴する一大イベントであり、神奈川県内で4つの競技が実施された。同年に行われたパラリンピック

では箱根療養所の選手が活躍している。また、1998（平成10）年には第53回国民体育大会「かながわ・ゆめ国体」と第34回全国身体障害者スポーツ大会「かながわ・ゆめ大会」が開かれ、40万人を超える参加者が集まった。本展では、これらの大会に関するコレクションを一堂に展示し、あわせて東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会について紹介した。

関 連 行 事：学芸員による展示解説 6月27日、7月25日、8月15日、29日

（※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、一部日程を変更して実施した。）

出 品 目 録：（凡例）No.、名称、時代、作成・発行、所蔵

1-1 国内聖火リレー記念切手台紙 1964（昭和39）年 神奈川県立歴史博物館	1-21 『オリンピックを見るために』 1964（昭和39）年9月 神奈川県立歴史博物館
1-2 聖火リレー参加記念バッジ 1964（昭和39）年 神奈川 県立歴史博物館（鈴木栄司氏寄贈）	1-22 『オリンピックNHK放送時刻表』 1964（昭和39）年 神奈川県立歴史博物館（山本文夫氏寄贈）
1-3 『月刊朝日ソノラマ 12月号』 1964（昭和39）年12 月1日 神奈川県立歴史博物館	1-23 『第18回オリンピック競技大会公式報告書 上巻』 1966（昭和41）年7月20日 神奈川県立歴史博物館
1-4 聖火トーチと聖火筒 1964（昭和39）年 神奈川県ス ポーツ協会	1-24 カルピス オリンピックハイライトソノシート 1964 （昭和39）年10月 神奈川県立歴史博物館（竹内廣一 氏寄贈）
1-5 公式第1号ポスター（シンボルマーク） 1961（昭和 36）年2月 神奈川県立歴史博物館	1-25 記録映画「東京オリンピック」シナリオ 1964（昭和 39）年 神奈川県立歴史博物館（平林信彦氏寄贈）
1-6 公式第4号ポスター（聖火ランナー） 1964（昭和 39）年4月 神奈川県立歴史博物館	1-26 記録映画「東京オリンピック」パンフレット 1965（昭 和40）年3月10日 神奈川県立歴史博物館（宮内典子 氏寄贈）
1-7 『東京オリンピックプログラム 全種目』 1964 （昭和39）年6月20日 神奈川県立歴史博物館	1-27 募金バッジ 1962～64（昭和37～39）年 神奈川県立 歴史博物館（宮内典子氏寄贈）
1-8 『第18回オリンピック競技大会公式報告書 下巻』 1966（昭和41）年7月20日 神奈川県立歴史博物館	1-28 参加記念バッジ 1964（昭和39）年 神奈川県立歴史 博物館（近江政雄氏寄贈）
1-9 バレーボール日本女子選手ユニフォーム 1964（昭 和39）年 神奈川県スポーツ協会	1-29 グッドウィルガイドバッジ 1964（昭和39）年 神奈 川県立歴史博物館（西田卓嗣氏寄贈）
1-10 体操日本男子選手ユニフォーム 1964（昭和39）年 神奈川県スポーツ協会	1-30 大会関係者制服 1964（昭和39）年 神奈川県スポー ツ協会
1-11 『アサヒグラフ増刊』 1964（昭和39）年11月1日 神奈川県立歴史博物館	パネル 神奈川県広報課撮影写真 1964（昭和39）年 神奈 川県立公文書館
1-12 『第18回オリンピック東京大会／神奈川県・写真報告 記念集』 1965（昭和40）年3月10日 神奈川県立歴 史博物館	パネル 1964年東京パラリンピックポスター 1964（昭和 39）年 画像提供：しょうけい館
1-13 神奈川県スポーツ協会写真アルバム 1964（昭和39）年 神奈川県スポーツ協会	パネル 1964年東京パラリンピック開会式の選手宣誓 1964 （昭和39）年 出典：『パラリンピック 国際身体 障害者スポーツ大会 写真集』
1-14 競技役員制服 1964（昭和39）年 神奈川県立歴史博 物館（小嶋昭和氏寄贈）	2-1 かなべえ炬火受皿マスコット 1998（平成10）年 神奈川県立歴史博物館
1-15 『第18回オリンピック東京大会陸上競技プログラム』 1964（昭和39）年10月16日 神奈川県立歴史博物館	2-2 大会スタッフ帽子 1998（平成10）年 神奈川県立歴 史博物館
1-16 入場券（陸上競技） 1964（昭和39）年10月 神奈川 県立歴史博物館（平林信彦氏寄贈）	2-3 『第53回国民体育大会開催基本構想』 1990（平成 2）年3月 神奈川県立歴史博物館
1-17 入場券封筒 1964（昭和39）年 神奈川県立歴史博物 館（吉川晃氏寄贈）	2-4 『かながわ・ゆめ国体 宿泊・交通マップ』 神奈川 県立歴史博物館
1-18 入場券引換証封筒 1964（昭和39）年 神奈川県立歴 史博物館（吉川晃氏寄贈）	2-5 『かながわ・ゆめ国体 横浜市宿泊・輸送総合ガイドブ ック』 1998（平成10）年8月3日 神奈川県立歴史 博物館
1-19 公式第2号ポスター（陸上競技） 1962（昭和37）年 5月 神奈川県立歴史博物館	2-6 『夏季大会競技日程・組合せ表』 1998（平成10）年 神奈川県立歴史博物館
1-20 公式第3号ポスター（水泳） 1963（昭和38）年2月 神奈川県立歴史博物館	

2-7 『秋季大会総合プログラム』 1998 (平成 10) 年 神奈川県立歴史博物館	2-25 『かながわ・ゆめ競技の解説』 1998 (平成 10) 年 9 月 神奈川県立歴史博物館
2-8 『かながわ・ゆめ国体グラフ』 1999 (平成 11) 年 1 月 神奈川県立歴史博物館	2-26 『かながわ・ゆめ大会プログラム』 1998 (平成 10) 年 11 月 神奈川県立歴史博物館
2-9 PR ポスター 1998 (平成 10) 年 神奈川県立歴史博物館	2-27 かながわ・ゆめ大会メダル 1998 (平成 10) 年 神奈 川県立歴史博物館
2-10 夏季大会公式ポスター 1998 (平成 10) 年 神奈川県 立歴史博物館	2-28 『「かながわ・ゆめ大会」報告書 (パーフェクト版)』 1999 (平成 11) 年 3 月 神奈川県立歴史博物館
2-11 秋季大会公式ポスター 1998 (平成 10) 年 神奈川県 立歴史博物館	3-1 『東京 2020 大会ガイドブック』 2019 (令和元) 年 7 月 オリンピック・パラリンピック課
2-12 かなべえ据置型マスコット 1998 (平成 10) 年 神奈 川県立歴史博物館	3-2 東京 2020 パラリンピック競技大会 22 競技ガイド 2019 (令和元) 年 オリンピック・パラリンピック課
2-13 炬火リレートーチ・ランプ 1998 (平成 10) 年 神奈 川県立歴史博物館	3-3 『事前キャンプガイドパンフレット』 2017 (平成 29) 年 オリンピック・パラリンピック課
2-14 『大会旗・炬火リレー実施計画書』 1998 (平成 10) 年 神奈川県立歴史博物館	3-4 SKY Project パンフレット オリンピック・パラリンピ ック課
2-15 炬火リレーランナー靴下 1998 (平成 10) 年 神奈川 県立歴史博物館	3-5 聖火ランナー募集パンフレット 2019 (令和元) 年 オリンピック・パラリンピック課
2-16 炬火リレーランナーユニフォーム 1998 (平成 10) 年 天野勇氏	3-6 江ノ電中吊広告 2019 (令和元) 年 オリンピック・パ ラリンピック課
2-17 『かながわ・ゆめ国体 報告書』 1999 (平成 11) 年 3 月 神奈川県立歴史博物館	3-7 湘南モノレール外装見本 2019 (令和元) 年 オリンピ ック・パラリンピック課
2-18 パスマスク (前面掲幕) 1998 (平成 10) 年 神奈 川県立歴史博物館	3-8 「セーリングはじまる」ポスター オリンピック・パラ リンピック課
2-19 かながわ・ゆめ大会ポスター 1998 (平成 10) 年 11 月 神奈川県立歴史博物館	3-9 ロードテストイベント交通規制ポスター 2019 (令和 元) 年 7 月 オリンピック・パラリンピック課
2-20 かながわ・ゆめ大会ポスター 1998 (平成 10) 年 11 月 神奈川県立歴史博物館	3-10 パラリンピック競技ピクトグラムポスター 2019 (令和 元) 年 オリンピック・パラリンピック課
2-21 かながわ・ゆめ大会ポスター 1998 (平成 10) 年 11 月 神奈川県立歴史博物館	3-11 東京 2020 オリンピック聖火リレートーチ 2021 (令和 3) 年 オリンピック・パラリンピック課
2-22 『ホテルで働く人のための介助ハンドブック』 1998 (平成 10) 年 9 月 神奈川県立歴史博物館	3-12 東京 2020 パラリンピック聖火リレートーチ 2021 (令 和 3) 年 オリンピック・パラリンピック課
2-23 『バリアフリーマップ はまっぷ』 1998 (平成 10) 年 11 月 神奈川県立歴史博物館	
2-24 かながわ・ゆめ大会パンフレット 1998 (平成 10) 年 神奈川県立歴史博物館	

イ 「赤星直忠と神奈川県立博物館 ―赤星直忠コレクション展―」

会 期：令和 4 年 1 月 8 日(土) ～ 2 月 27 日(日)

会 場：コレクション展示室

主 催：神奈川県立歴史博物館

展示資料件数：79 件

担 当：主任学芸員 千葉 毅、学芸員 神野 祐太、学芸員 武田 周一郎

概 要：本展は当館が所蔵する赤星直忠旧蔵資料展である。当館は、大正から昭和にかけて神奈川県内の多くの文化財を調査し、膨大な記録を遺した赤星直忠（あかほし・なおただ、1902 年―1991 年）が収集した約 350 件もの資料を収蔵している。赤星は考古学的な発掘調査を多く実施し、当館のコレクションにも赤星の発掘による出土資料が多く含まれる。加えて、民俗、美術史、文献史、現代史等、多岐にわたる分野や時代の資料も含まれ、赤星の関心の幅広さをうかがうことが出来る。令和 2 年度、当館ではそれらの資料を『赤星直忠旧蔵資料目録』として刊行し、当館が所蔵する赤星コレクションの全貌をはじめて公開した。赤星は神奈川県立博物館の設立準備にも関わっており、開館後

は嘱託として約10年間在籍した。本展では、赤星コレクションを通して、赤星の文化財調査や研究成果を概観し、「郷土史」を描くことに注がれた想いを紹介した。

関 連 行 事：学芸員による展示解説 1月15日、22日、30日、2月6日、13日、20日

(※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、一部日程を変更して実施した。)

出 品 目 録：(凡例) No.、名称、時代、出土地、使用地、発行

1-1	鳥ヶ崎横穴群 出土遺物 古墳時代 後期 横須賀市	2-3	ほしいもの(神奈川県立博物館研究報告 考古・歴史・美術・民俗4号) 昭和46(1971)年3月 赤星直忠著
1-2	田戸遺跡 出土遺物 縄文時代 早期 横須賀市	2-4	鎌倉市小町等出土木製品 鎌倉時代
1-3	吉井第1貝塚 出土遺物 縄文時代 中期 横須賀市	2-5	鎌倉勝槌図 江戸時代
1-4	法隆寺金堂薬師如来像光背銘拓本 明治時代 稻生真履・秋山大旧蔵	2-6	新編鎌倉志 貞享2(1685)年
1-5	薬師寺東塔擦銘拓本 明治時代 稻生真履・秋山大旧蔵	2-7	古事記伝 江戸時代 赤星蔵書印
1-6	敵御方供養塔拓本 昭和時代 赤星直忠拓	2-8	日本書紀 江戸時代 赤星蔵書印
1-7	多胡碑拓本 昭和時代 赤星直忠購入	2-9	太鼓独楽 昭和33(1958)年採集 足柄上郡山北町
1-8	称名寺貝塚・薬王寺貝塚 出土遺物 縄文時代 後期 横浜市金沢区	2-10	川漁鑑札 足柄上郡山北町
1-9	雪ノ下遺跡 出土遺物 縄文時代 後期 鎌倉市	2-11	蜜柑籠 南足柄市内山
1-10	榎戸貝塚 出土遺物 縄文時代 後期 横須賀市	2-12	遍数え札 昭和38(1963)年採集 三浦郡葉山町上山口
1-11	江戸坂貝塚 出土遺物 縄文時代 中期 横須賀市	2-13	ヘラ 昭和38(1963)年採集
1-12	野島貝塚 出土遺物 縄文時代 早期 横浜市金沢区	2-14	テイシ(鯛石) 昭和41(1966)年以前 横須賀市久比里
1-13	茅山貝塚 出土遺物 縄文時代 早期 横須賀市	2-15	海苔簀 昭和41(1966)年以前 横須賀市久比里
1-14	大六天社裏山 出土遺物 縄文時代 後期 横須賀市	2-16	餌箱 三浦市南下浦町金田
1-15	諸磯遺跡 出土遺物 縄文時代 前期 三浦市	2-17	忠連引き 昭和42(1967)年 横須賀市長沢
1-16	高坂遺跡 出土遺物 縄文時代 前期～中期 横須賀市	2-18	神札 昭和45(1970)年採集 横須賀市子安
1-17	平戸山遺跡 出土遺物 縄文時代 後期 鎌倉市	2-19	船鉈 横須賀市公郷町 赤星家使用
1-18	間口洞窟遺跡 出土遺物 弥生時代 後期 三浦市 県指定重要文化財	2-20	賜盃 横須賀市公郷町 赤星家使用
1-19	毘沙門洞窟遺跡群 出土遺物 弥生時代 後期 三浦市	2-21	斗棒 横須賀市公郷町 赤星家使用
1-20	向ヶ崎B洞窟遺跡 出土遺物 弥生時代 後期 三浦市	2-22	煙管入れ 明治～大正時代 横須賀市公郷町 赤星家使用
1-21	大浦山洞窟遺跡 出土遺物 古墳時代 前期 三浦市	2-23	弁当箱 横須賀市公郷町 赤星家使用
1-22	住吉神社裏洞窟遺跡 出土遺物 古墳時代 後期 横須賀市	2-24	サングラス 大正時代 横須賀市公郷町 赤星家使用
1-23	蓼原遺跡 出土遺物 古墳時代 後期 横須賀市	2-25	箱枕 横須賀市公郷町 赤星家使用
1-24	荒立貝塚 出土遺物 縄文時代 後期 横浜市鶴見区	2-26	蠟燭 横須賀市公郷町 赤星家使用
1-25	鉞切遺跡 出土遺物 古墳時代 後期 横須賀市	2-27	紙子 明治20～30年代 横須賀市公郷町 赤星家使用
1-26	吉井城山横穴群 出土遺物 古墳時代 後期 横須賀市	2-28	仕事着 横須賀市公郷町 赤星家使用
1-27	さぐら浜洞窟遺跡 出土遺物 古墳時代 後期 三浦市	2-29	紋付 横須賀市公郷町 赤星家使用
1-28	岡崎横穴群 出土遺物 古墳時代 後期 平塚市	2-30	床屋椅子
1-29	逗子駅裏横穴 出土遺物 古墳時代 後期 逗子市	3-1	『鎌倉の金石文』(『考古学雑誌』24巻10号) 昭9(1934)年10月 考古学会 赤星直忠著
1-30	長浜横穴 出土遺物 古墳時代 後期 横須賀市	3-2	『横須賀市に於ける形象埴輪の出土に就いて』(『考古学雑誌』28巻6号) 昭和13(1938)年6月 考古学会 赤星直忠著
1-31	佐島横穴 出土遺物 古墳時代 後期 横須賀市	3-3	『穴の考古学』 昭和45(1970)年 学生社 赤星直忠著
1-32	山の根横穴 出土遺物 古墳時代 後期 逗子市	3-4	『三浦半島城郭史』上・下(『横須賀市史』No.8,9) 昭和30(1955)年 横須賀市教育委員会 赤星直忠著 横須賀市博物館編
1-33	三戸横穴 出土遺物 古墳時代 後期 三浦市	3-5	『鎌倉市史』 考古編 昭和47(1972)年 吉川弘文館 赤星直忠担当執筆
1-34	新宿横穴 出土遺物 古墳時代 後期 逗子市	3-6	『神奈川県史』資料編20 考古資料 昭和45(1970)年 神奈川県 赤星直忠分担執筆
1-35	衣料切符 昭和19(1944)年以降 赤星家使用	3-7	『中世考古学の研究』 昭和55(1980)年 有隣堂 赤星直忠著
1-36	軍事郵便封書 昭和時代 赤星家使用		
1-37	頭まき 昭和20(1945)年 赤星家使用		
1-38	宝泉寺横穴 出土遺物 古墳時代 後期 横浜市鶴見区		
2-1	書類(収集すべきもの) 昭和38(1963)年 赤星直忠案		
2-2	県立博物館研究調査委員一覧 昭和39(1964)年		

- 3-8 『逗子市史』 別編2 考古・建築・美術・漁業編 平成
7 (1995) 年 逗子市 赤星直忠分担執筆
- 3-9 『小田原市史』 通史編 原始・古代・中世 平成10
(1998) 年 小田原市

- 3-10 『大磯町史』 10 別編 考古 平成19 (2007) 年
大磯町
- 3-11 『赤星直忠旧蔵資料目録』 令和3 (2021) 年 神奈川県
—立歴史博物館

ウ 「帰源院文書からみた戦国時代 —小田原北条氏と鎌倉—」

会 期：令和4年3月5日(土) ～ 4月10日(日)

会 場：コレクション展示室

主 催：神奈川県立歴史博物館

展示資料件数：35 件

担 当：学芸員 梯 弘人

概 要：小田原北条氏は、初代宗瑞以来5代100年にわたり、関東地方において大きな勢力を築いた戦国大名である。当館は、小田原北条氏関係文書を中世史分野の重要なコレクションの柱として積極的に収集を進めてきており、現在、北条家文書、本光寺文書、帰源院文書、桜井家文書、江梨鈴木家文書など貴重な古文書を所蔵している。本展ではその中から、鎌倉の円覚寺塔頭帰源院に伝来した「帰源院文書」に焦点をあて、南北朝時代から江戸時代初期に至る26通の文書すべての展示を行った。北条氏と帰源院との関係や鎌倉における北条氏の事績に加えて、各時代の文書の様式など古文書学的見地も含め多角的な視点で紹介した。

関 連 行 事：・講演会「戦国時代の鎌倉と小田原北条氏」3月20日

・学芸員による展示解説 3月6日、26日、4月3日、9日

出 品 目 録：(凡例) No.、名称、時代、作成・発行、所蔵

1-1 パネル 現在の帰源院	神奈川県立歴史博物館
2-1 古河公方家奉行人連署状(帰源院文書) (天正13年) 6月3日 神奈川県立歴史博物館	3-3 松田直秀副状(帰源院文書) (天正16年) 11月15日 神奈川県立歴史博物館
2-2 古河公方家奉行人連署状(帰源院文書) (天正13年) 6月3日 神奈川県立歴史博物館	3-4 鶴岡八幡宮修宮目論見絵図 複製(原品鶴岡八幡宮) 天正19年5月14日 神奈川県立歴史博物館
2-3 太田資宗書状(帰源院文書) 江戸時代(年未詳) 12月 22日 神奈川県立歴史博物館	3-5 片桐且元・早川長政連署状案(帰源院文書) (天正18年) 7月23日 神奈川県立歴史博物館
2-4 北条氏康像(北条家文書) 江戸時代 神奈川県立歴史博物館	3-6 高力清長書状案(帰源院文書) (天正18年) 7月26日 神奈川県立歴史博物館
2-5 北条氏康判物(帰源院文書) 天文16年11月21日 神奈川県立歴史博物館	3-7 山中長俊副状案(帰源院文書) (天正18年) 8月22日 神奈川県立歴史博物館
2-6 北条氏康判物(帰源院文書) 天文18年8月15日 神奈川県立歴史博物館	3-8 パネル 豊臣秀吉朱印状(円覚寺文書) 天正18年8月 22日 円覚寺(鎌倉国宝館寄託)
2-7 パネル 太田氏資判物写(武州文書) 永禄10年2月 1日 国立公文書館	3-9 片桐直倫(且元)書状案(帰源院文書) (天正18年) 12月27日 神奈川県立歴史博物館
2-8 北条家朱印状(帰源院文書) (永禄4年) 2月28日 神奈川県立歴史博物館	3-10 彦坂元正手形案(帰源院文書) (天正19年) 4月8日 神奈川県立歴史博物館
2-9 北条氏政判物(帰源院文書) 永禄9年7月22日 神奈川県立歴史博物館	3-11 建長・円覚両寺納所連署目安案(帰源院文書) 江戸時代(年未詳) 10月16日 神奈川県立歴史博物館
2-10 大道寺資親書状(帰源院文書) 永禄9年8月1日 神奈川県立歴史博物館	3-12 棟別訴訟状之写(帰源院文書) 江戸時代(年未詳) 10月 28日 神奈川県立公文書館
2-11 パネル 北条氏康書状(円覚寺文書) (永禄12年カ) 11月25日 円覚寺(鎌倉国宝館寄託)	3-13 伊奈忠宥宛訴状案(帰源院文書) 宝暦11年8月 神奈川県立公文書館
2-12 パネル 円覚寺仏殿地割図 元亀4年3月23日 鎌倉国宝館	4-1 足利直義下文案(帰源院文書) 建武2年11月10日 神奈川県立歴史博物館
3-1 北条家朱印状(帰源院文書) 天文16年10月12日 神奈川県立歴史博物館	4-2 鎌倉府奉行人連署奉書(帰源院文書) 建武4年1月26日 神奈川県立歴史博物館
3-2 北条氏繁書状(帰源院文書) 元亀4年7月26日	

4-3 関東管領高師有施行状（帰源院文書） 康安2年4月25日 神奈川県立歴史博物館	神奈川県立歴史博物館
4-4 大道寺周勝書状（帰源院文書）（天文23年カ）1月10日 神奈川県立歴史博物館	4-7 寿庵道閑書状（帰源院文書）（慶長19年）12月10日 神奈川県立歴史博物館
4-5 北条氏直判物（帰源院文書） 天正12年12月12日 神奈川県立歴史博物館	4-8 江戸幕府寺社奉行所召状（帰源院文書）（慶安元年） 11月9日 神奈川県立歴史博物館
4-6 北条家朱印状（帰源院文書） 天正12年12月12日	4-9 江戸幕府寺社奉行所召状（帰源院文書） 江戸時代 （年未詳）10月25日 神奈川県立歴史博物館

(4) その他の展示

ア パネル展示

(ア) かながわの近代建築

概 要：神奈川県内には、現在も明治・大正・昭和戦前期に建てられた数多くの近代建築が残されている。これらの近代建築の多くは、横浜における開港場や居留地に由来する建築、湘南地域に幅広く分布する避暑・避寒のための別荘建築、海軍の軍都として発展した横須賀などに見られる軍事関連の建築、箱根を中心とした観光地に建てられた旅館やホテル建築、京浜工業地帯の一角を占める横浜・川崎の臨海部の工場建築という、五つの要素に大別してとらえることができる。これは神奈川県内の近代建築の特色を表現しているだけでなく、神奈川県の近代の歩みを考える上で重要な要素でもある。本展示では、神奈川県内に現存する近代建築のうち、当館の建物である旧横浜正金銀行本店本館や「キングの塔」と通称される神奈川県庁本庁舎をはじめとする24棟の建物を取り上げ、その魅力を紹介した。

会 期：通年

会 場：1階 フリーゾーン 廊下

展示資料点数：25点（番外のマップを含む）

出 品 目 録：（いずれも写真パネル）（凡例） No、名称、所在地、竣工年月

番外 かながわの近代建築 MAP(神奈川県内の近代建築のうち60棟を地図上に示し、各建物の写真と概要データを紹介したもの。)	11 旧横浜英国総領事館(横浜開港資料館旧館) 横浜市中区日本大通 1931年(昭和6)
1 旧横浜正金銀行本店本館(神奈川県立歴史博物館) 横浜市中区南仲通 1904年(明治37)7月	12 横浜税関本関庁舎 横浜市中区海岸通 1934年(昭和9)3月
2 神奈川県庁舎(神奈川県庁本庁舎) 横浜市中区日本大通 1928年(昭和3)10月	13 横浜郵船ビル(日本郵船歴史博物館) 横浜市中区海岸通 1936年(昭和11)10月
3 旧新港埠頭煉瓦二号倉庫(横浜赤レンガ倉庫2号館) 横浜市中区新港 1911年(明治44)5月	14 旧内田家住宅(外交官の家) 横浜市中区山手町 1910年(明治43)
4 旧三井物産横浜支店(三井物産横浜ビル) 横浜市中区日本大通1号ビルー1911年(明治44)8月、2号ビルー1927年(昭和2)	15 旧英国総領事公邸(横浜市イギリス館) 横浜市中区山手町 1937年(昭和12)
5 旧開港記念横浜会館(横浜市開港記念会館) 横浜市中区本町 1917年(大正6)6月	16 旧大倉精神文化研究所(横浜市中区大倉山記念館) 横浜市中区大倉山 1932年(昭和7)4月
6 旧川崎銀行横浜支店(日本興亜馬車道ビル) 横浜市中区弁天通 1922年(大正11)	17 福住旅館金泉楼・萬翠楼 足柄下郡箱根町湯本 1877年(明治10)・1878年(明治11)
7 旧生糸検査所(横浜第2合同庁舎) 横浜市中区北仲通 1926年(大正15)2月	18 富士屋ホテル本館 足柄下郡箱根町宮ノ下 1891年(明治24)
8 ホテルニューグランド本館 横浜市中区山下町 1927年(昭和2)11月	19 旧日本爆発物製造株式会社支配人執務室(旧海軍火薬廠将校クラブ、旧横浜ゴム平塚製造所記念館) 平塚市浅間町 1912年(明治45)頃
9 旧横浜商工奨励館(横浜情報文化センター) 横浜市中区日本大通 1929年(昭和4)4月	20 旧木下邸 中郡大磯町大磯 明治時代末期
10 旧三井銀行横浜支店(三井住友銀行横浜支店) 横浜市中本町 1931年(昭和6)3月	21 旧近藤邸 藤沢市鵠沼東(同市内より移築) 1925年(大正14)
	22 旧華頂家住宅主屋(旧華頂宮邸) 鎌倉市浄明寺 1929年(昭和4)

23 旧藤沢ゴルフ倶楽部クラブハウス(神奈川県立体育センター食堂) 藤沢市善行 1932 年(昭和 7)

24 旧前田家別邸(鎌倉文学館本館) 鎌倉市長谷 1936 年(昭和 11)8 月

(イ) 『米夷紀事』にみる大槻磐溪によるペリー来航前後の情報収集活動

概 要：JSPS 科研費 JP18K00952 (平成 30 年度～令和 2 年度 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C) 「開国期・危機的状況下における知識人による情報活動と意志決定過程に関する研究」研究代表者 主任学芸員 嶋村 元宏) の成果の一部を社会へ還元することを目的として実施。これまで十分に知られていなかった仙台藩儒者・大槻磐溪著『米夷紀事』(国立国会図書館所蔵) から判明した磐溪が嘉永 7 年の正月から 2 月頃までおこなったペリー来航前後の探索活動の結果についてわかりやすく伝えた。

会 期：3 月 31 日(水) ～ 10 月 4 日(日)

会 場：1 階 フリーゾーン 廊下

展示資料件数：10 点

担 当：主任学芸員 嶋村 元宏

出 品 目 録：(いずれも展示パネル) (凡例) No.、名称、時代、所蔵(文書群名)

1 趣旨	6 第 2 回浦賀調査：嘉永 7 年正月 25 日から
2 大槻磐溪	7 第 1 回横浜調査：嘉永 7 年 2 月 10 日から
3 大槻磐溪著『米夷紀事』	8 横浜周辺の風説
4 第 1 回浦賀調査：嘉永 7 年正月 3 日～7 日頃	9 第 2 回横浜調査：嘉永 7 年 2 月 19 日から
5 江戸での情報収集：嘉永 7 年正月 12 日頃～24 日頃	10 科研費について/講演会の案内

イ 「馬車道を描く日曜画家展作品」展示

(ア) 「馬車道を描く日曜画家展 歴代金賞作品展」

概 要：昭和 55 年度から始められた「馬車道を描く日曜画家展」の歴代金賞受賞作品を、会議室に展示した。なお、例年と同様、令和 3 年度の第 42 回において、主任学芸員 角田 拓朗が審査員の一人として協力した。

会 期：12 月 4 日(土) ～ 12 月 9 日(木)

会 場：1 階 会議室

主 催：馬車道商店街協同組合、神奈川県立歴史博物館

展 示 点 数：合計 40 点(第 2 回(昭和 56 年度)～第 41 回(令和 2 年度)の金賞作品)

(5) 教育普及・学習支援事業

広く県民の学習ニーズに応えるべく学習の機会を提供し、博物館で行う講座・講演会や各種行事などへの参加を通して、神奈川の歴史・文化や文化財についての知識・関心を深めることを目的として実施した。なお、講座等の催し物は定員を減らし受講者の間隔をあけて密にならないよう座席位置を工夫するなど新型コロナウイルス感染防止対策に万全を期して運営した。

ア 県立社会教育施設公開講座

生涯学習課主管の有料の連続講座(各回 1,000 円、全回申込者を優先するが、定員に達しない場合は各回単独受講可能)

県博セミナー「早雲寺展をひろげるー戦国大名北条氏の歴史と文化をたどるー」

(定員 35 名 応募者 88 名(単回を含む事前申込者))

概 要：特別展「開基 500 年記念 早雲寺ー戦国大名北条氏の遺産と系譜ー」に関連し、伊勢宗瑞に関する最新研究から箱根霊場の宗教世界等について専門家が語った。

会 場：地下講堂

・第 1 回 11 月 3 日(水・祝) 13:30～15:30 (受講者 21 名)

「箱根の霊場から早雲寺へ」日本女子大学教授 古川 元也 氏

・第 2 回 11 月 7 日(日) 13:30～15:30 (受講者 26 名)

- 「戦国大名北条氏と関東公方足利氏」聖学院大学准教授 阿部 能久 氏
- ・第3回 11月14日(日) 13:30～15:30 (受講者26名)
「発掘調査にみる小田原北条氏の文化と領国支配」
小田原市文化財課埋蔵文化財係長 佐々木 健策 氏
 - ・第4回 11月21日(日) 13:30～15:30 (受講者22名)
「北条氏と戦国の関東画壇」成城大学教授 相澤 正彦 氏
 - ・第5回 11月28日(日) 13:30～15:30 (受講者25名)
「戦国大名北条氏と早雲寺」元神奈川県立歴史博物館学芸員 鳥居 和郎 氏
 - ・第6回 12月5日(日) 13:30～15:30 (受講者23名)
「伊勢宗瑞の曹洞禅から大徳寺派臨済禅へー宗教的遍歴の意味を考えるー」
学習院大学教授 家永 遵嗣 氏
- ※担当(普及担当): 学芸員 渡邊 浩貴(非常勤学芸員 市野 悦子)

イ 特別展等関連行事(特別展等のテーマに沿った内容の講演会等の実施)

(ア) 特別展「錦絵にみる明治時代ー丹波コレクションが語る近代ニッポンー」

a 講演会

「錦絵にみる明治時代」(無料、ただし特別展観覧券が必要)

開催日: 5月9日(日) 13:30～15:30 (定員50名 応募者80名 受講者39名)

概要: 明治時代はニュースとなる出来事が錦絵に直接的に描かれるようになった。明治初年から明治天皇崩御まで、社会を写した錦絵を見ながら、明治時代という時代を概観し、錦絵の出版事業などもお話いただいた。

講師: 美術史家 岩切 信一郎 氏

※普及担当: 非常勤学芸員 豊田 倫子

b 連続講座

「明治時代を語る」(全5回、無料、ただし初回受講日のみ特別展観覧券が必要)

(定員50名 応募者73名〈単回含む事前申込者〉)

概要: 明治の錦絵を美術史学と歴史学の専門家が、画題や絵師、技法など多角的な視点で解き明かした。

- ・第1回 5月16日(日) (受講者36名)

「『丹波コレクション』と明治の錦絵」主任学芸員 桑山 童奈

- ・第2回 5月23日(日) (受講者39名)

「明治の浮世絵師たちー挫折と挑戦ー」太田記念美術館主席学芸員 日野原 健司 氏

- ・第3回 5月30日(日) (受講者34名)

「錦絵に描かれた『文明開化』と金融機関」

日本銀行金融研究所貨幣博物館主任学芸員 関口 かをり 氏

- ・第4回 6月6日(日) (受講者34名)

「錦絵にみる日本の工業化」当館学芸部長 丹治 雄一

- ・第5回 6月13日(日) (受講者34名)

「戦争と明治の錦絵」横浜都市発展記念館調査研究員 吉田 律人 氏

※担当(普及担当): 主任学芸員 桑山 童奈(非常勤学芸員 市野 悦子)

(イ) 特別展「重要文化財修理完成記念 十王図」

a 講演会(無料、ただし特別展観覧券が必要)

(a) 「神奈川県立歴史博物館所蔵《十王図》の修理内容とその特殊性」

開催日: 7月18日(日) 13:30～15:30 (定員50名 応募者52名 受講者41名)

概要: 当館が所蔵する十王図の修復内容について当時の文化庁 主任文化財調査官であった朝賀浩氏に解説をいただいた。

講師: 宮内庁長官官房参事官 朝賀 浩 氏

※普及担当: 非常勤学芸員 豊田 倫子

(b)「神奈川県立歴史博物館所蔵の《十王図》について」

開催日：8月8日（日）13:30～15:30（定員50名 応募者84名 受講者33名）

概要：当館が所蔵する十王図の図像の内容や意味について、類似の図像の十王図を比較することで考察をおこなった。

講師：学芸員 橋本 遼太

※普及担当：非常勤学芸員 下田 充代子

(c)「十王図の図像と転写にみる死生観」

開催日：8月22日（日）13:30～15:30（定員50名 応募者99名 受講者38名）

概要：十王図には、冥界の判官である十王に加えて、地獄の責め苦が描かれることが多いが、責め苦の内容や種類には、おもに描かれた時代により違いが見られる。こうした違いに注目して、中世以来の人々が死後の世界をいかに見ていたのかを考えた。

講師：学芸員 橋本 遼太

※普及担当：非常勤学芸員 市野 悦子

(d) 特別展「開基500年記念 早雲寺 ―戦国大名北条氏の遺産と系譜―」

a 入門講座（無料、ただし特別展観覧券が必要）

「早雲寺展をふかめる―早雲寺をとりまく文化と権力の相克―」

開催日：11月3日（水・祝）10:00～12:00（定員35名 応募者103名 受講者22名）

概要：早雲寺の寺宝群はどのような歴史をたどってきたのか。本講座では、特に北条五代画像（北条早雲・氏綱・氏康・氏政・氏直）の伝来を手掛かりに、寺宝が形成される歴史的過程を小田原北条氏・玉縄北条氏・狭山藩北条氏の動向から探り、謎解きのような感覚で、絵画資料の伝来とその経緯を考えた。

講師：学芸員 渡邊 浩貴

※普及担当：非常勤学芸員 下田 充代子

b 連続講座

(a)「体験！大人のせんごく寺子屋」《パートⅠ》

（全2回、無料、ただし初回受講日のみ特別展観覧券が必要）

（定員16名 応募者50名〈単回含む事前申込者〉）

概要：初心者の方に向けて、和紙の原料である楮から紙を漉いて中世文書を作る体験を通して、資料をより深く細部にわたり学ぶ機会とした。

・第1回 11月13日（土）13:30～15:30（受講者14名）

「戦国文書を作ってみよう―本格！紙漉き体験―」紙漉き師 田村 正 氏

・第2回 11月20日（土）13:30～15:30（受講者14名）

「戦国文書を書いてみよう―文書の書き方・折り方・とじ方―」学芸員 渡邊 浩貴

※担当（普及担当）：学芸員 渡邊 浩貴（非常勤学芸員 豊田 倫子）

(b)「体験！大人のせんごく寺子屋」《パートⅡ》

（全2回、無料、ただし初回受講日のみ特別展観覧券が必要）

（定員30名 応募者58名〈単回含む事前申込者〉）

概要：初心者の方に向けて、甲冑や刀剣に触れ、間近に見ることで、資料の鑑賞のポイントを知り、資料をより深く細部にわたり学ぶ機会とした。

・第1回 11月27日（土）13:30～15:30（受講者23名）

「甲冑を知ろう」甲冑師 西岡 文夫 氏

・第2回 12月4日（土）13:30～15:30（受講者23名）

「刀剣の扱い方、見方を知ろう」刀剣研師 小野 敬博 氏

※担当（普及担当）：学芸員 渡邊 浩貴（非常勤学芸員 豊田 倫子）

c 現地見学会（無料）

「早雲寺と戦国大名北条氏ゆかりの地を訪ねる」

開催日：11月5日（金）13:30～16:00（定員15名 応募者90名 受講者12名）

概要：早雲寺や正眼寺など、北条氏ゆかりの地を北条氏研究者と特別展担当者の案内により見学することで、特別展の歴史的背景をより深く理解した。

講師：元神奈川県立歴史博物館学芸員 鳥居 和郎 氏
学芸員 渡邊 浩貴

※普及担当：非常勤学芸員 市野 悦子

d その他

「小田原北条氏ゆかりの地を巡り「巡礼！戦国北条カード」を集めよう！」

特別展「開基500年記念 早雲寺―戦国大名北条氏の遺産と系譜―」にあわせ、公益社団法人神奈川県観光協会のご協力のもと、歴代戦国大名北条氏当主や早雲寺住持などの肖像画像を使用したコレクションカードを全7種類作成し、横浜・小田原・箱根地区の文化施設等で配布した。本展来場者が早雲寺や戦国大名北条氏ゆかりの地を周遊し様々な事績に触れることで、県内の歴史を身近に感じてもらうことを目的とした。

制作協力：公益社団法人神奈川県観光協会

配布施設／配布カード：

- ・当館 総合受付／伊勢宗瑞（北条早雲） 像《小田原北条氏初代》
- ・当館 ミュージアムショップ／北条時長 像《北条氏康のいところ》
- ・当館 喫茶ともしび／北条氏直 像《小田原北条氏5代》
- ・小田原城天守閣／北条氏康 像《小田原北条氏3代》
- ・箱根神社宝物殿／北条氏綱（伊勢氏綱） 像《小田原北条氏2代》、
北条氏政 像《小田原北条氏4代》
- ・箱根町立郷土資料館／以天宗清 像《早雲寺開山》

(エ) コレクション展「帰源院文書からみた戦国時代―小田原北条氏と鎌倉―」

a 講演会（無料、ただし常設展観覧券が必要）

「戦国時代の鎌倉と小田原北条氏」

開催日：令和4年3月20日（日）13:30～15:30（定員50名 応募者181名 受講者41名）

概要：戦国時代の鎌倉と小田原北条氏とのかかわりをテーマとし、小田原北条氏と鎌倉の由緒ある寺社、主に鶴岡八幡宮や鎌倉五山との結びつきに焦点をあてて紹介した。

講師：学芸員 梯 弘人

※普及担当：非常勤学芸員 豊田 倫子

ウ 学芸員による展示解説

特別展・コレクション展の担当学芸員による展示解説。

※新型コロナウイルス感染防止対策のため、展示室内（当日自由参加）での開催を地下講堂での講座形式（当日先着順）に替えて開催した。

展覧会名	開催日	時間	会場	解説者	受講者 (名)
特別展 「錦絵にみる明治時代ー丹波コレクションが語る近代ニッポンー」	4月29日(木祝)	13:30 ～ 14:00	講堂	主任学芸員 桑山 童奈 学芸部長 丹治 雄一	12
	5月1日(土)				16
	5月3日(月祝)				36
	5月5日(水祝)				8
	5月8日(土)				15
	5月15日(土)				8
	5月22日(土)				14
	5月29日(土)				24
	6月5日(土)				20
	6月12日(土)				24
	6月19日(土)				22
小計					199
コレクション展 「運動のすすめー20世紀神奈川のスポーツイベントー」	6月27日(日)	13:30 ～ 14:00	講堂	学芸員 武田 周一郎	13
	7月25日(日)				6
	8月15日(日)				4
小計					23
特別展 「重要文化財修理完成記念 十王図」	7月17日(土)	13:30 ～ 14:00	講堂	学芸員 橋本 遼太	10
	7月24日(土)				11
	7月31日(土)				22
	8月7日(土)				11
	8月14日(土)				19
	8月21日(土)				26
小計					99
特別展 「開基500年記念 早雲寺ー戦国大名北条氏の遺産と系譜ー」	11月6日(土)	13:30 ～ 14:00	講堂	学芸員 渡邊 浩貴	40
	11月12日(金)				31
	11月19日(金)				48
	11月23日(火祝)				40
	12月3日(金)				42
小計					201
コレクション展 「赤星直忠と神奈川県立博物館ー赤星直忠コレクション展ー」	1月15日(土)	13:30 ～ 14:00	講堂	主任学芸員 千葉 毅 学芸員 神野 祐太 武田 周一郎	18
	2月6日(日)				15
	2月13日(日)				8
	2月20日(日)				9
小計					50
コレクション展 「帰源院文書からみた戦国時代ー小田原北条氏と鎌倉ー」	3月6日(日)	13:30 ～ 14:00	講堂	学芸員 梯 弘人	25
	3月26日(土)				37
小計					62
合計					634

エ ミュージアムトーク「今月の逸品」

常設展示資料より毎月逸品をピックアップし、展示室内で学芸員が解説を行うもの。

※新型コロナウイルス感染防止対策のため、展示室内での開催に替えてウェブサイトのみでの展開とし、詳しい解説を掲載した。

開催月	逸品テーマ	解説者
4月	海岸線は国境～江梨鈴木家文書からみた海上交通～	梯 弘人
5月	端午の節供飾り	新井 裕美
6月	金銅六角経筒	佐藤 登美子
7月	重要文化財「神奈川県庁舎」附指定の建築図面	丹治 雄一
8月	ペリーの肖像	嶋村 元宏
9月	七沢村と煤ヶ谷村田畑境并山論裁許絵図	根本 佐智子
10月	五姓田義松 神奈川・横浜の風景	角田 拓朗
11月	エビス講	三浦 麻緒
12月	国芳の武者絵	桑山 童奈
1月	日本語ワードプロセッサ JW-10 モデル2	武田 周一郎
2月	御手洗正邦自画詠 江島鎌倉名所図会	寺西 明子
3月	祖栄筆 蘆葉達磨図	橋本 遼太

オ その他の行事

(ア) 「旧横浜正金銀行本店本館 建物見学会」(無料、ただし常設展観覧券が必要)

国の重要文化財である旧館部分について、学芸員が案内・解説する。

- ・開催日：6月2日(水) ①10:30～11:30 (定員10名 応募者17名 受講者8名)
②14:00～15:00 (定員10名 応募者10名 受講者9名)
- ・開催日：12月8日(水) ①10:30～12:00 (定員15名 応募者16名 受講者12名)
②14:00～15:30 (定員15名 応募者13名 受講者10名)
- ・開催日：3月13日(日) ①10:30～12:00 (定員9名 応募者12名 受講者12名)
②14:00～15:30 (定員9名 応募者12名 受講者9名)

講 師：学芸部長 丹治 雄一

※普及担当：非常勤学芸員 福田 真由美／豊田 倫子／市野 悦子

(イ) ミュージアムコンサート(無料、ただし常設展観覧券が必要)

「クラシック・ヨコハマ2021 ミュージアムコンサート in 神奈川県立歴史博物館」

(無料、ただし常設展観覧券が必要)

日 時：12月12日(日) 14:00～14:45 (定員35名 応募者70名 参加者34名)

演奏者：菊地 実月 氏、大熊 啓悟 氏、山村 侑 氏、伊藤 利英子 氏

(ミュージック・マスタース・コース・ジャパン修了生)

概 要：「クラシック・ヨコハマ2021」(クラシック・ヨコハマ推進委員会、毎日新聞社、横浜市主催)の一環として、室内楽(弦楽四重奏)を実施。

※担当：非常勤学芸員 下田 充代子

(ウ) 講演会

「“ペリー来航”を記録した男：大槻磐溪」

概 要：当館で平成30年度から令和2年度に実施した科学研究費助成事業「開国期・危機的状況下における知識人の情報活動と意志決定過程に関する研究」(研究代表者：嶋村元宏主任学芸員、JSPS 科研費 JP18K00952)で得られた研究成果を広く一般に公開することを目的として実施。本研究では、『米夷紀事』(国立国会図書館)『和米始末』(静嘉堂文庫)などの新たな史料を見出し、仙台藩の儒学者・大槻磐溪が、一部交易容認論から全面的開国論へと持論を変化させる過程を跡づけたが、講演会では、磐溪がペリー再来航時の浦賀や横浜での探索活動などについてまとめた「米夷紀事」の記述から、磐溪が何を見出し、何に関心を持ったのかを詳しく解説した。(10月中旬までフリーゾーンでパネル展示中)

の「『米夷紀事』にみる大槻磐溪によるペリー来航前後の情報収集活動」をさらに深めた内容の講座。）

【講堂開催】（無料、ただし常設展観覧券が必要）

開催日：12月11日（土）13:30～15:30（定員50名 応募者45名 受講者36名）

※新型コロナウイルス感染拡大状況に鑑み、開催日を9月25日（土）（応募者32名）から延期し、再度募集をかけて開催。

講 師：主任学芸員 嶋村 元宏

【オンライン配信】（無料）

配信期間：3月4日（金）～17日（木）

（定員100名 応募者68名 視聴者68名 視聴数332回）

※担当：非常勤学芸員 市野 悦子

(エ) 連続講座（全4回、無料、ただし初回受講日のみ常設展観覧券が必要）

「博物館の古文書を読む」（定員50名 応募者39名〈単回含む事前申込者〉）

概 要：当館常設展示室に展示されている古文書を取り上げ、古文書の読み方を解説する初心者向けの講座。常設展示テーマ3の中でも人気の高い神奈川の庶民の旅に関する古文書を用いて読み方を解説。受講者自身が展示されている資料を少しでも読むことができるようになることで、近世の文書の楽しさや郷土への関心を深める機会とする。

・第1回 1月13日（木）14:00～15:30（受講者34名）

「古文書をよむために一旅の心得ー」学芸員 寺西 明子

・第2回 3月3日（木）14:00～15:30（受講者34名）

「かな文字をよんでみようー江ノ島への旅からー」学芸員 寺西 明子

・第3回 3月10日（木）14:00～15:30（受講者34名）

「漢字をよんでみようー大山への旅からー」非常勤学芸員 根本 佐智子

・第4回 3月17日（木）14:00～15:30（受講者35名）

「紀行文・日記をよんでみようー箱根への旅からー」非常勤学芸員 根本 佐智子

※担当：非常勤学芸員 下田 充代子

カ 子ども・青少年向け教育普及事業

(ア) ミュージアム・ミッション2021

2003年からはじまった地域連携イベントが元になっており、みなとみらい・関内・山手地区にある博物館を巡っていく、夏休み子ども向け事業。クイズ等の課題(ミッション)をクリアしながら巡ることで、博物館に親しむ機会を創出することをねらいとしたもの。新型コロナウイルス感染防止対策のため、令和2年度に引き続き、博物館を実際に訪れるのに替えて、特設サイトを開設し参加館10館に関するクイズをWEB上で出題する形式で開催した。

開催期間：7月21日（水）～8月31日（火）

開催期間中の閲覧数：3,660回

開催館園：（10館）大佛次郎記念館、県立神奈川近代文学館、JICA 横浜 海外移住資料館、シルク博物館、ニュースパーク（日本新聞博物館）、野毛山動物園、放送ライブラリー、三菱みなとみらい技術館、横浜人形の家、当館

※担当：非常勤学芸員 市野 悦子

(イ) おうちでかながわけんぱく

新型コロナウイルス感染症の影響による休校等でおうち時間が増えた子どもたちが楽しめるよう、令和2年4月下旬にホームページ上に新たに開設した子ども向けWEBコンテンツ。当初は子どもを対象としていたが、大人も楽しめるようなコンテンツも作成し、実際の展示の内容とも関連するコンテンツも作成する等、WEBだけで楽しむのではなく、来館にもつながるような内容になるよう工夫している。

閲覧数：30,436回

- (ウ) 体験教室（無料、ただし高校生以上の方は常設展観覧券が必要）

「レプリカでタイムスリップ！江戸時代の地図をつくる」

開催日：8月1日（日）14:00～15:30（定員10名 応募者14名 受講者9名）

概 要：収蔵資料「嘉永新增大日本国郡輿地全図」（嘉永2、1849年）を常設展で見学後、本資料の複製（簡易版）を作成する。本資料は木版（各36.8cm×48.5cm）6枚を貼り合わせた大型の資料で、江戸時代の日本を描いた絵図である。廃藩置県前の66国の律令国が色分けして描かれている上、全国の主な地名や城・街道等も書き込まれており、折り畳むとコンパクトに持ち運べる形状などが特徴である。今回の体験教室では、本資料のほぼ同寸のコピーを貼り合わせてレプリカを作り、資料を身近に感じてもらい、江戸時代の国のかたちや今も残る地名などから身近な地域の歴史を感じてもらうとともに、歴史資料に親しみを持ってもらう機会とする。

講 師：非常勤学芸員 根本佐智子／学芸員 寺西 明子

※普及担当：非常勤学芸員 豊田 倫子

キ 中止した行事

新型コロナウイルス感染症の影響により、次の行事を中止した。

※応募者数が記載されている行事は、募集中または募集締切後に開催中止としたもの。

- (ア) コレクション展「運動のすすめー20世紀神奈川のスポーツイベントー」関連行事

・学芸員による展示解説（当日先着順） 開催予定日：8月29日（日）

- (イ) 特別展「重要文化財修理完成記念 十王図」関連行事

・学芸員による展示解説（当日先着順） 開催予定日：8月28日（土）

- (ウ) コレクション展「赤星直忠と神奈川県立博物館ー赤星直忠コレクション展」関連行事

・学芸員による展示解説（当日先着順） 開催予定日：1月22日（土）、30日（日）

- (エ) その他行事

・博物館入門講座 開催予定日：10月2日（土）、9日（土）

・建物見学会「旧横浜正金銀行本店本館 建物見学会」

開催予定日：9月23日（木・祝）（応募者 午前14名 午後4名）

・講座・現地見学会

「岩石・石材から見た横浜の近代建築と近代化遺産」 開催予定日：10月3日（日）

ク 学校連携事業の状況

- (ア) 小・中・高等学校及び特別支援学校等の利用状況

	県 内											
	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校・学級		その他		県内合計	
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数
4月	1	102	5	53	5	68	0	0	0	0	11	223
5月	1	86	5	405	4	76	0	0	0	0	10	567
6月	2	247	8	424	2	31	0	0	0	0	12	702
7月	2	190	2	126	4	23	0	0	0	0	8	339
8月	0	0	0	0	0	0	0	0	1	21	1	21
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	4	227	1	12	5	41	0	0	0	0	10	280
11月	9	437	16	805	2	18	1	21	0	0	28	1281
12月	8	615	12	645	2	175	0	0	0	0	22	1435
1月	2	145	1	54	1	35	1	8	2	8	7	250
2月	0	0	3	35	1	10	0	0	1	3	5	48
3月	1	79	22	1047	2	50	0	0	0	0	25	1176
合計	30	2128	75	3606	28	527	2	29	4	32	139	6322

	県 外											
	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校・学級		その他		県外合計	
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数
4月	1	119	3	191	1	2	0	0	0	0	5	312
5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	1	41	1	90	0	0	0	0	0	0	2	131
11月	1	40	14	613	6	84	0	0	0	0	21	737
12月	0	0	10	480	4	84	0	0	0	0	14	564
1月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	1	52	0	0	0	0	0	0	0	0	1	52
3月	0	0	24	967	2	10	3	24	0	0	29	1001
合計	4	252	52	2341	13	180	3	24	0	0	72	2797

	令和3年度総計		令和2年度総計		平成31(令和元)年度総計		平成30年度総計		平成29年度総計	
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数
4月	16	535	休館		32	1,291	0	0		
5月	10	567			63	1,536	93	2,233		
6月	12	702	0	0	37	1,096	31	867		
7月	8	339	1	2	14	361	11	53		
8月	1	21	0	0	51	594	10	54		
9月	0	0	6	199	17	366	19	378	休館	
10月	12	411	9	288	16	491	19	775		
11月	49	2018	17	708	58	3,006	42	2,568		
12月	36	1999	7	372	18	490	15	603		
1月	7	250	0	0	33	1,159	25	1,016		
2月	6	100	休館		14	262	30	1,495		
3月	54	2177	7	142	0	0	6	222		
合計	211	9119	47	1,711	353	10,652	301	10,264		

来館児童・生徒の県内外の内訳

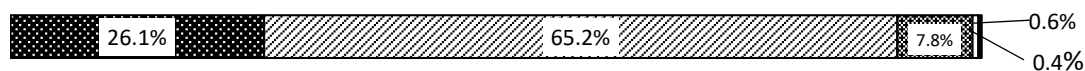
■ 県内 ■ 県外



総数 9,119人

来館児童・生徒の校種別内訳

■ 小学校 ■ 中学校 ■ 高等学校 ■ 特別支援学校 ■ その他



総数 9,119人

(イ) 当館の利用目的

(単位：校数)

	利用目的	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校・学級
県内	教科学習(社会科等)	18(60%)	17(23%)	3(11%)	0(0%)
	総合的な学習の時間	7(23%)	12(16%)	2(7%)	0(0%)
	学校・学年行事(遠足等)	4(13%)	44(59%)	19(68%)	2(100%)
	その他(部活動等)	1(4%)	1(2%)	4(14%)	0(0%)
	合 計	30	74	28	2
県外	教科学習(社会科等)	1(25%)	9(17%)	0(0%)	0(0%)
	総合的な学習の時間	1(25%)	7(14%)	0(0%)	0(0%)
	学校・学年行事(遠足等)	2(50%)	36(69%)	13(100%)	3(100%)
	その他(部活動等)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
	合 計	4	52	13	3

※事前連絡校による統計

※義務教育学校、中等教育学校は課程により分類

(ウ) 学校の博物館利用の状況

(単位：校数)

校 種	事前準備			博物館活用			利用形態			付帯施設利用		
	FAX連絡校	電話連絡校	下見来館校	ボランティア解説	ワークシート活用	特別依頼	全員一斉	グループ	その他	駐車場	講堂・会議室	その他
小学校	12	18	25	0	30	0	27	3	0	11	7	1
中学校	27	61	22	0	40	0	7	120	0	3	5	27
高等学校	9	5	4	0	1	2	17	24	0	1	3	2
特別支援学校・学級	2	3	2	0	0	0	4	1	0	0	1	0
合 計	50	87	53	0	71	2	55	148	0	15	16	30

※事前連絡校による統計

※「ワークシート活用」＝館提供のワークシートを活用して見学。

※「特別依頼」＝学芸員による館の概要説明や建物の解説など。

※付帯施設利用の「その他」＝ライブラリの利用、エントランスでのチェックポイント設置など。

(エ) 教員、児童・生徒に向けた資料の提供

小・中学生向けの「小・中学生の歴史学習に関連した展示資料」と、小学校及び中学校教員向けの「歴史学習に対応した主な展示資料」を引き続きホームページに掲載するとともに、下見に来館した教員へ配付するなど、展示の内容を紹介する資料として活用した。

「高校生のための展示資料50」も併せて、ホームページに掲載している。

(オ) ワークシートの作成と活用

児童・生徒向けに「けんぱく見学シート」、「けんぱくクイズ」、「けんぱくミッション」をホームページに掲載し提供した。課題を持って見学するうえで効果的であった。

(カ) 教員対象の講座・研修の実施

教員のための博物館講座

第1回 日 時 8月4日(水) 10:00～16:00 参加者 34名

第2回 日 時 8月12日(木) 10:00～16:00 参加者 34名

内容(第1回・2回とも同じ内容)

バックヤードツアー・学芸員による常設展示解説・常設展見学・特別展見学
学芸員による展示資料を活用した教材化のワークショップ

社会体験研修の実施

- 1 日目 日 時 8 月 9 日 (月) 9 : 00 ~ 17 : 45 参加者 8 名
内容 ガイダンス、館内見学、企画普及課業務、情報資料課業務
- 2 日目 日 時 8 月 10 日 (火) 9 : 00 ~ 17 : 45 参加者 11 名
内容 学芸員業務 (博物館資料の調査と整理) 体験・博物館の学校利用について
- 3 日目 日 時 8 月 12 日 (木) 10 : 00 ~ 16 : 00 参加者 4 名
内容 第 2 回「教員のための博物館講座」に合同参加

(キ) 出張講座

休館中の学校連携の一環として開始した、学芸員が講師となり県内の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校に出張して講義をする「出張講座」を実施した。

日付	学校名	講座名	概要	講師名	対象学年 授業時限数 受講者数
4 月 23 日 (金)	湘南白百合学園中学・高等学校	博物館・学芸員の仕事	博物館という施設とそこで資料に関わる様々な仕事をしている学芸員について、実際の体験に基づき解説した。	学芸員 神野 祐太	中 2 1 時限 166 名
5 月 19 日 (水)	横浜女学院中学校 高等学校	鎌倉大仏に なってみよう	神奈川の仏像、特に鎌倉大仏について、その形の意味や服装を実際にまねしてもらいながら紹介した。	学芸員 神野 祐太	中 2 1 時限 180 名
5 月 20 日 (木)	藤沢市立 長後小学校	考古学の魅力	考古学とは何か。どのような楽しさがあるのかを、身近な遺跡や遺物などを通して紹介した。	主任学芸員 千葉 毅	小 6 4 時限 144 名
6 月 25 日 (金)	横浜市立 桂台小学校	鎌倉大仏に なってみよう	神奈川の仏像、特に鎌倉大仏について、その形の意味や服装を実際にまねしてもらいながら紹介した。	学芸員 神野 祐太	小 6 2 時限 50 名
7 月 9 日 (金)	平塚市立 なでしこ 小学校	鎌倉大仏に なってみよう	神奈川の仏像、特に鎌倉大仏について、その形の意味や服装を実際にまねしてもらいながら紹介した。	学芸員 神野 祐太	小 6 1 時限 57 名
9 月 17 日 (金)	逗子市立 逗子中学校	かながわの 地質と歴史 を学ぶ	学校所在地域の地質的な特徴と、そこで展開された「石」にまつわる人間の営みを地域の歴史と一体的に紹介した。	学芸部長 丹治 雄一	中 1 1 時限 118 名
10 月 26 日 (火)	寒川町立 寒川小学校	鎌倉大仏に なってみよう	神奈川の仏像、特に鎌倉大仏について、その形の意味や服装を実際にまねしてもらいながら紹介した。	学芸員 神野 祐太	小 6 1 時限 93 名
10 月 26 日 (火)	横浜市立 大豆戸小学校	鎧兜の移り 変わりから 見る歴史	主に中世、平安後期から戦国時代の鎧兜から、時代による鎧兜の変遷や社会の変化について紹介した。	学芸員 梯 弘人	小 6 2 時限 83 名
10 月 27 日 (水)	横浜市立 港北小学校	江戸時代の 花、浮世絵 の話	江戸時代の美術である浮世絵について、歴史・木版技術・題材・浮世絵師の魅力・描かれた神奈川の名所などを紹介した。	主任学芸員 桑山 童奈	小 6 2 時限 152 名

11月2日 (火)	川崎市立 宮内小学 校	江戸時代の 花、浮世絵 の話	江戸時代の美術である浮世絵について、歴史・木版技術・題材・浮世絵師の魅力・描かれた神奈川の名所などを紹介した。	主任学芸員 桑山 童奈	小6 2時限 141名
12月2日 (木)	県立相模 原総合高 等学校	身近な地域 の現代史	関東大震災から現在までを対象に、当館資料の複製等を通じて、学校周辺の様子など、身近な地域の現代史を紹介した。	学芸員 武田 周一郎	高3 2時限 21名
12月16日 (木)	横須賀市 立公郷小 学校	中世の美術 (絵画)	室町時代の山水や花鳥の絵から、何がどのように描かれたのか、誰が描き、どのような人々が鑑賞したのか、を考えながら室町文化への理解を深めた。	学芸員 橋本 遼太	小6 3時限 105名
1月18日 (火)	横浜市立 新羽小学 校	昔の食べ物 と台所	展示室に再現された古民家の台所や行事食・日常食の複製資料を画像で紹介し、昔と今の食生活の違いを考えた。	非常勤学芸員 三浦 麻緒	小3 1時限 71名
合 計					23時限 1,381名

(7) 大学団体利用

授業内容等の専門性を高めるため、の常設展または特別展等の見学や学芸員による解説を行う。

【受入実績】

	来 館 日	大 学 名	数 (名)
1	8月7日 (土)	東海大学	15
2	8月7日 (土)	東洋英和女学院	16
3	10月26日 (火)	神奈川大学	18
4	11月17日 (水)	神奈川大学	6
5	12月5日 (土)	福島大学	17
6	1月10日 (月・祝)	法政大学	7
合 計			40

(6) ミュージアムライブラリー

県民の学習活動を支援する場として、1階フリーゾーンにミュージアムライブラリーを設置している。図書、情報システム端末（デジタルミュージアム用）などがあり、展示を中心とした神奈川の歴史や文化について学ぶことが出来る。

職員が1名以上常駐し、質問等を受け付けるなど、生涯学習の場として広く利用されるように運営している。（図書、情報システムの内容についてはそれぞれの項目に記載）

令和3年度の利用者総数は2,970名で、フリーゾーンを含めた入館者に対する比率は6.3%ある。

ア 閲覧用座席数

16席、来館者用情報システム端末：2台

イ 利用者数

(単位：名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
小学生	9	7	0	5	10	11	9	4	8	9	8	5	85
中学生	0	168	0	6	5	3	1	1	2	0	9	4	199
高校生	0	2	0	2	0	0	7	0	3	1	0	2	17
大学生	1	4	1	7	20	30	1	13	6	15	8	3	109
一般成人	146	139	84	106	220	107	120	166	131	129	105	118	1,571
65歳以上	48	84	74	55	56	46	84	166	93	84	49	97	936
生徒引率	0	0	31	0	0	2	9	11	0	0	0	0	53
合計	204	404	190	181	311	199	231	361	243	238	179	229	2970
開館日数(日)	24	27	21	25	26	24	25	25	21	22	22	26	288
1日平均	8.5	15.0	9.0	7.2	12.0	8.3	9.2	14.4	11.6	10.8	8.1	8.8	10.3

ウ 利用形態

(単位：名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
図書閲覧	130	150	125	111	139	107	138	198	130	115	113	141	1,597
情報システム端末	2	7	3	7	9	1	2	4	6	2	3	6	52
各種照会※	66	58	60	52	73	47	65	88	61	52	50	52	724
コピー	(件数)	5	17	9	12	15	5	11	20	11	13	14	145
サービス	(枚数)	115	384	123	100	166	62	86	306	145	114	137	1,880

※写真資料の特別利用手続、ポスター掲出・チラシ配架依頼、周辺施設の所在地に関する照会などへの対応

(7) 普及印刷物

ア 図録

- ・特別展図録「錦絵にみる明治時代 ―丹波コレクションが語る近代ニッポン―」
令和3年4月28日神奈川県立歴史博物館発行
- ・特別展図録「重要文化財修理完成記念 十王図」
令和3年7月17日神奈川県立歴史博物館発行
- ・特別展図録「開基500年記念 早雲寺 ―戦国大名北条氏の遺産と系譜―」
令和3年10月15日合同会社小さ子社発行

イ 広報印刷物

- ・特別展「錦絵にみる明治時代 ―丹波コレクションが語る近代ニッポン―」ポスター・チラシ
- ・特別展「重要文化財修理完成記念 十王図」ポスター・チラシ
- ・特別展「開基500年記念 早雲寺 ―戦国大名北条氏の遺産と系譜―」ポスター・チラシ
- ・コレクション展「赤星直忠と神奈川県立博物館―赤星直忠コレクション―」ポスター・チラシ
- ・コレクション展「帰源院文書からみた戦国時代 ―小田原北条氏と鎌倉―」ポスター・チラシ
- ・「催し物のご案内(2022年4月～2023年3月)」

ウ 神奈川県立歴史博物館だより

- 『神奈川県立歴史博物館だより』VOL. 27 No. 1 通巻217号 令和3年5月20日(2,000部)
- 『神奈川県立歴史博物館だより』VOL. 27 No. 2 通巻218号 令和3年8月4日(2,000部)
- 『神奈川県立歴史博物館だより』VOL. 27 No. 3 通巻219号 令和4年3月1日(2,000部)

(8) ボランティアの活動

博物館ボランティアについては、展示解説ボランティアの活動を平成9年度から開始し、平成13年度から活動年数を最長5年とした。また、写真職が撮影したフィルムをスキャンしデジタル化する作業に従事するボランティアもいた。平成22年度からは行事補助ボランティアを導入して活動を拡大した。

令和3年度のボランティア人数は108名（令和4年3月末日現在）である（詳細は下記「(イ) ボランティア数」参照）。なお、令和3年度も新型コロナウイルスの影響から長期のボランティア活動休止があり、活動機会が制限されたため、令和2年度に引き続き令和3年度も活動任期に換算せず全ボランティアの活動任期をさらに1年間延長した。また、現状、ボランティア人数を確保できていること、直近に採用したボランティアの活動機会が少なく、経験が浅いボランティアが多いところに、新規ボランティアを採用・配属すると活動に支障をきたす恐れがあることから、令和3年度は新規ボランティア（令和4年度活動開始）の募集を実施しなかった。

ア 活動状況及び実績

新型コロナウイルス感染状況等に鑑み、令和3年4月から10月及び令和4年1月26日から3月21日の活動を休止したことで、約3か月程度の活動となった。活動時には、「新型コロナウイルス感染症感染予防のための県立歴史博物館ボランティア活動マニュアル」を必要に応じて更新しながら、ボランティアの安心安全を第一に考え、活動時間の短縮、展示解説の休止など活動内容に制限を設ける形で、看視活動を中心に活動した。また、ボランティア会では、幹事会（各曜日から2名の幹事を選出）を組織し、月1回、館側の担当者と様々な調整や情報・意見交換を行うほか、年3回『ボランティアニュース』の編集・発行や、自主的な研修の企画等を行っている。

【参考：活動休止前の活動内容】

展示解説ボランティア：常設展の展示解説、特別展開催中には1日2回の定時解説（11時、15時）を行うほか、看視や来観者案内を行う。

行事補助ボランティア：子ども向け行事等の指導補助をはじめ、受付や案内など、学習支援事業の補助を行う。

(ア) 活動日数及び人数

月	活動日数(日)	延べ活動人数(名)
4	0	0
5	0	0
6	0	0
7	0	0
8	0	0
9	0	0
10	0	0
11	25	306
12	17	203
1	14	213
2	0	0
3	7	77
合計	63	799

※令和3年4月～10月、令和4年1月26日～3月21日は新型コロナウイルス感染防止のため活動休止

(イ) ボランティア数(令和4年3月末現在)

展示解説ボランティア 計95名

火曜班：15名、水曜班：16名、木曜班：18名、金曜班：16名、土曜班：16名、日曜班：14名

行事補助ボランティア 計13名

(年代別・男女別人数等)

年代	男	女	計
20	1	0	1
30	0	0	0
40	1	0	1
50	0	7	7
60	32	16	48
70	34	17	51
合計	68	40	108
平均年齢	68.4	66.1	67.6

イ 専門研修

翌年度の新規採用ボランティアを対象として、展示解説に必要な常設展示に関する知識や資料の保存、教育普及活動について、その内容を知ってもらうために実施する。

新型コロナウイルス感染防止のため、令和3年度活動開始予定の新規採用ボランティア対象の研修は当初予定（令和3年1月～3月の全7日間）を変更した。

・令和3年度活動開始予定の新規ボランティア対象

実施日：4月10日、17日、24日、5月15日

※令和4年度活動開始予定の新規ボランティアの募集・採用は実施しなかった。

ウ その他の研修

(ア) 特別展勉強会

特別展「早雲寺」・コレクション展「赤星直忠と神奈川県立博物館」開催にあたり、展示解説・看視活動に備えるため、必要な資料を配布するとともに、これまで展示室で担当学芸員が解説しながら行っていた勉強会を、新型コロナウイルス感染防止のため、令和2年度に引き続き講堂での講座形式に替えて実施した。

(イ) フォローアップ研修

常設展示等解説のフォローアップとして、例年、常設展からテーマを決めて研修講座を実施している。令和3年度は新型コロナウイルスの影響で長期の活動休止期間となったため、研修を企画・実施できなかった。

(9) 博物館実習生の受け入れ

「神奈川県立歴史博物館博物館実習生受け入れ要領」に基づき、見学実習と実務実習を受け入れた。

ア 見学実習

当館の概要(歴史・施設・組織・展示や事業概要など)について説明した後、展示室、バックヤード等の見学を行う。

【受け入れ実績】

	来館日	大 学 名	人 数 (名)
1	8月6日(金)	日本女子大学	16
2	9月7日(火)	日本女子大学	6
3	9月8日(水)	日本女子大学	17
4	11月13日(土)	日本大学文理学部	23
5	11月28日(日)	日本大学文理学部	9
6	1月23日(日)	東京家政学院大学	3
合 計			74

イ 実務実習

博物館運営に関わる業務や教育普及事業、学芸部の資料の取扱いや整理の方法などについて学ぶ全6日間の実習を行った。

○応 募 数：32 大学42名

○受 入 数：16 大学16名

○実 受 入 数 : 16 大学 16 名

○実受入大学名 : 青山学院大学、桜美林大学、学習院大学、国士舘大学、駒澤大学、実践女子大学、聖心女子大学、大正大学、大東文化大学、帝京大学、東京女子大学、東洋大学、日本大学、日本女子大学、明星大学、立正大学

(1 大学につき 1 名)

【実習内容】

令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染防止のため実習生 16 名のうち 8 名ずつの A・B グループに分け、第 2 日、第 3 日、第 4 日、第 5 日に当館での資料を扱う実習と並行して在宅実習を行い、課題の作成・提出をもって実習に代わるものとした。

日 付	場 所	グ ル ー プ	内 容
第 1 日目 9 月 8 日 (水)	館内	A・B	ガイダンス、当館の概要、ボランティア活動、博物館の広報とデザインの現場、環境と資料保存の実践、写真資料の役割と保存、博物館資料の収集と収蔵資料データベース（情報システム）、写場見学・撮影体験、博物館の広報とデザイン
第 2 日目 9 月 9 日 (木)	館内	A	考古資料の取り扱い方（展示と梱包） 館内・バックヤード見学、学校連携、「教育普及の実践」について
	在宅実習	B	課題（1）の作成と提出
第 3 日 9 月 10 日 (金)	館内	B	民俗資料の取り扱い方（クリーニングと保管） 館内・バックヤード見学、学校連携、「教育普及の実践」について
	在宅実習	A	課題（1）の作成と提出
第 4 日目 9 月 15 日 (水)	館内	A	歴史資料（卷子・軸装）の取り扱いと調査について 美術資料（額、マット装）の取り扱い方と調査について
	在宅実習	B	課題（2）の作成と提出
第 5 日目 9 月 16 日 (木)	館内	B	歴史資料（近世文書）の取り扱い方と調査について 美術資料（浮世絵、工芸）の取り扱い方と調査について
	在宅実習	A	課題（2）の作成と提出
第 6 日目 9 月 17 日 (金)	館内	A・B	教育普及の実践と発表

6 資料

(1) 条例・規則

ア 神奈川県立の博物館条例

〔 昭和 41 年 10 月 7 日 〕
条例第 43 号

最終改正 平成 28 年 10 月 21 日条例第 77 号

(趣旨)

第 1 条 この条例は、神奈川県立の博物館の設置、管理等に関し必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第 2 条 博物館法(昭和 26 年法律第 285 号)に基づき、次のとおり神奈川県立の博物館(以下「博物館」という。)を設置する。

名 称	位 置	目 的
神奈川県立歴史博物館	横浜市中区南仲通 5 丁目 60 番地	神奈川の文化及び歴史に関する資料の収集、保管及び展示並びにこれに関する調査研究、情報提供等を行い、県民の学習活動を支援すること。
神奈川県立生命の星・地球博物館	小田原市入生田 499 番地	地球及び生命の営みに関する資料の収集、保管及び展示並びにこれに関する調査研究、情報提供等を行い、県民の学習活動を支援すること。

(職員)

第 3 条 博物館に、事務職員、技術職員その他の所要の職員を置く。

(観覧料の納付)

第 4 条 博物館に展示している博物館資料を観覧する者(以下「観覧者」という。)は、別表に定める額の観覧料を納めなければならない。ただし、公開の施設に展示している博物館資料の観覧については、この限りでない。

2 前項本文の規定にかかわらず、特別な企画の展覧会を開催する場合の観覧料は、神奈川県教育委員会(以下「教育委員会」という。)がその都度定めることができる。

3 教育委員会は、第 1 項本文及び前項に規定する観覧料を納めた者に観覧券を交付するものとする。

4 観覧者(別表備考 2 に規定する者を除く。)は、入館する際に、前項に規定する観覧券又はこれに代わるものとして教育委員会が認めたものを提出し、又は提示しなければならない。

(観覧料の減免)

第 5 条 前条第 1 項本文及び第 2 項の規定にかかわらず、教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者については、観覧料を減免することができる。

(1) 教育委員会が開催する行事に参加する者

(2) 教育課程に基づく教育活動として入館する高校生(学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号。別表備考において「法」という。)第 1 条に規定する高等学校及び中等教育学校の後期課程並びにこれらに準ずる教育施設に在学する者という。別表において同じ。)並びに児童及び生徒の引率者

(3) その他教育委員会が適当と認めた者

(観覧料の不還付)

第 6 条 既に納付された観覧料は、還付しない。ただし、教育委員会が災害その他特別の事情により還付するのを適当と認めたときは、この限りでない。

(資料の特別利用)

第 7 条 博物館資料を学術上の研究のため特に利用しようとする者は、教育委員会の承認を受けなければならない。

(利用の制限)

第 8 条 教育委員会は、博物館の利用者が次の各号のいずれかに該当する場合には、その利用を制限することができる。

(1) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。

(2) 他の利用者に著しく迷惑をかけるおそれがあると認めるとき。

(3) 施設、博物館資料等を損傷するおそれがあると認めるとき。

(4) その他教育委員会が必要と認めるとき。

(委任)

第 9 条 この条例に定めるもののほか、博物館の管理等に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

この条例は、公布の日から起算して6月をこえない範囲内で教育委員会規則で定める日から施行する。（昭和41年11月18日教育委員会規則第8号で、同41年11月21日から施行。ただし、第4条から第9条までの規定の施行期日にあつては昭和42年3月22日とし、第10条の規定の施行期日にあつては昭和42年4月1日とする。）
(略)

附 則(平成28年10月21日条例第77号)

この条例は、平成28年12月1日から施行する。

別表(第4条関係)(抄)

区 分		個 人	20人以上の団体
神奈川県立歴史博物館	20歳以上65歳未満の者 (学生及び高校生を除く。)	1人につき 300円	1人につき 250円
	20歳未満の者(高校生を除く。)	同 200円	同 150円
	学生(65歳以上の者を除く。)		
	65歳以上の者	同 100円	同 100円
	高 校 生		

備考 1 学生とは、法第1条に規定する大学及び高等専門学校、法第124条に規定する専修学校並びに法第134条第1項に規定する各種学校に在学する者をいう。

2 学齢に達しない者並びに法第1条に規定する小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程及び特別支援学校並びにこれらに準ずる教育施設に在学する者は、無料とする。

イ 神奈川県立の博物館組織規則

昭和41年11月18日
教育委員会規則第10号

最終改正 平成18年3月31日教育委員会規則第13号

(趣旨)

第1条 この規則は、神奈川県立の博物館の組織に関し必要な事項を定めるものとする。

(部等の設置)

第2条 神奈川県立の博物館に、次の部及び課を置く。

管理課

企画情報部

企画普及課

情報資料課

学芸部

(管理課の事務)

第3条 管理課においては、次の事務を分掌する。

- (1) 公印に関すること。
- (2) 文書の收受、発送、保存、閲覧等に関すること。
- (3) 個人情報の開示、訂正、利用停止等に関すること。
- (4) 人事に関すること。
- (5) 財産の管理及び館内の秩序の維持に関すること。
- (6) 予算の経理に関すること。
- (7) 観覧料の徴収に関すること。
- (8) 物品の調達及び処分に関すること。
- (9) 寄贈品の受納並びに寄託品の受納及び返納に関すること。
- (10) その他他部課の主管に属しないこと。

第4条 削除

(企画普及課の事務)

第5条 企画普及課においては、次の事務を分掌する。

- (1) 博物館活動の企画及び調整に関すること。
- (2) 博物館活動の普及及び広報に関すること。
- (3) 博物館活動に関する講演会、講習会、研究会等の開催に関すること。
- (4) 他の博物館その他教育、学術又は文化に関する施設、団体等との連絡、協力及び情報の交換に関すること。

(情報資料課の事務)

第6条 神奈川県立歴史博物館の情報資料課においては、次の事務を分掌する。

- (1) 人文科学等に関する図書等の収集、整理、保管及び閲覧に関すること。
- (2) 博物館情報システムの運用に関すること。

2 神奈川県立生命の星・地球博物館の情報資料課においては、次の事務を分掌する。

- (1) 自然科学等に関する図書等の収集、整理、保管及び閲覧に関すること。
- (2) 博物館情報システムの総合的企画及び調整並びに運用に関すること。

(学芸部の事務)

第7条 学芸部においては、次の事務を分掌する。

- (1) 博物館資料の収集、製作、整理、保管、展示、解説及び指導に関すること。
- (2) 博物館資料の専門的及び技術的な調査研究に関すること。

(委任)

第8条 この規則の施行に関し必要な事項は、神奈川県教育委員会教育長が定める。

附 則

この規則は、昭和41年11月21日から施行する。

(略)

附 則(平成18年3月31日教育委員会規則第13号)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

ウ 神奈川県立の博物館の利用等に関する規則

昭和41年11月18日
教育委員会規則第9号

最終改正 平成28年11月29日教育委員会規則第23号

(趣旨)

第1条 この規則は、神奈川県立の博物館の利用等に関し必要な事項を定めるものとする。

(権限の委任)

第2条 次に掲げる神奈川県教育委員会の権限は、神奈川県教育委員会教育長(以下「教育長」という。)に委任する。

- (1) 神奈川県立の博物館条例(昭和41年神奈川県条例第43号。以下「条例」という。)第4条第2項の規定により観覧料を定めること。
- (2) 条例第4条第3項の規定により観覧券を交付すること。
- (3) 条例第4条第4項の規定により観覧券に代わるものを認めること。
- (4) 条例第5条の規定により観覧料を減免すること。
- (5) 条例第6条ただし書の規定により観覧料の還付を認めること。
- (6) 条例第7条の規定により利用を承認すること。
- (7) 条例第8条の規定により利用を制限すること。

(休館日等)

第3条 神奈川県立歴史博物館及び神奈川県立生命の星・地球博物館(以下「博物館」という。)の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 月曜日(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「国民の祝日等」という。)に当たるときを除く。)
- (2) 国民の祝日等の翌日(土曜日、日曜日又は国民の祝日等に当たるときを除く。)
- (3) 12月28日から翌年の1月4日まで
- (4) その他教育長が定める日

2 前項の規定にかかわらず、教育長は、必要があると認めるときは、臨時に博物館を開館することができる。

(開館時間等)

第4条 開館時間は、次のとおりとする。

名 称	開 館 時 間
神奈川県立歴史博物館	午前9時30分から午後5時まで。ただし、午後4時30分以降は、入館することができない。
神奈川県立生命の星・地球博物館	午前9時から午後4時30分まで。ただし、午後4時以降は、入館することができない。

2 前項の規定にかかわらず、教育長は、必要があると認めるときは、これを変更することができる。

(観覧券の様式)

第5条 条例第4条第3項に規定する観覧券は、神奈川県立歴史博物館にあつては第1号様式とし、神奈川県立生命の星・地球博物館にあつては第2号様式とする。

(観覧料の減免申請)

第6条 観覧料の減免を受けようとする者は、あらかじめ、観覧料減免申請書を教育長に提出し、観覧料減免承認書の交付を受けなければならない。

(観覧料の還付申請)

第7条 観覧料の還付を受けようとする者は、観覧料還付申請書に観覧券を添えて教育長に提出し、観覧料還付承認書の交付を受けなければならない。

(資料の特別利用)

第8条 条例第7条の規定により博物館資料の特別利用の承認を受けようとする者は、特別利用承認申請書を教育長に提出し、特別利用承認書の交付を受けなければならない。

(利用の方法)

第9条 博物館を利用する者は、博物館の管理上必要な事項を守り、職員の指示に従わなければならない。

(資料の館外貸出し)

第10条 次に掲げるものは、教育長の承認を受けて博物館資料の館外貸出しを受けることができる。

- (1) 国立の博物館、博物館法（昭和26年法律第285号）第2条第1項に規定する博物館及び同法第29条の規定により文部科学大臣の指定した博物館に相当する施設
- (2) 社会教育法（昭和24年法律第207号）第21条に規定する公民館
- (3) 国立の図書館及び図書館法（昭和25年法律第118号）第2条第1項に規定する図書館
- (4) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第1条に規定する学校
- (5) その他教育長が適当と認めるもの

2 前項の規定による承認を受けようとするものは、館外貸出承認申請書を教育長に提出し、館外貸出承認書の交付を受けなければならない。

(館外貸出しの期間)

第11条 博物館資料の館外貸出しの期間は、30日以内とする。ただし、教育長は、特に必要があると認めるときは、これを延長することができる。

2 前項の館外貸出しの期間は、博物館が当該博物館資料を引き渡した日から起算してその返還を受ける日までの日数により算定するものとする。

3 教育長は、館務の都合により必要があるときは、博物館資料の館外貸出しの期間中であつても、当該博物館資料の返還を求めることができる。

(館外貸出しをした資料の利用方法)

第12条 博物館資料の館外貸出しを受けたものは、当該博物館資料を、承認を受けた利用の目的又は場所以外の目的又は場所で、利用してはならない。

(資料滅失等の届出)

第13条 博物館資料の館外貸出しを受けたものは、当該博物館資料を滅失し、又は損傷したときは、直ちに資料滅失（損傷）届出書を教育長に提出しなければならない。

(寄託を受けた資料の利用の制限)

第14条 寄託を受けた博物館資料の館外展示及び館外貸出しは、寄託者の承諾がある場合のほかは、行なうことができない。

(委任)

第15条 この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則

この規則は、昭和41年11月21日から施行する。ただし、第2条から第9条までの規定は、昭和42年3月22日から施行する。

(略)

附 則（平成28年11月29日教育委員会規則第23号）

この規則は、平成28年12月1日から施行する。

(2) 利用案内

- 1 名 称：神奈川県立歴史博物館 (Kanagawa Prefectural Museum of Cultural History)
- 2 所 在 地：横浜市中区南仲通 5-60 〒231-0006
- 3 電 話：045-201-0926(代表)
- 4 F A X：045-201-7364
- 5 ホームページ：<https://ch.kanagawa-museum.jp/>
- 6 交 通：みなとみらい線「馬車道駅」3・5番出口から徒歩1分、
横浜市営地下鉄「関内駅」9番出口から徒歩5分、JR「桜木町駅」新南口（ICカード専用）
から徒歩5分
- 7 休 館 日：月曜日（ただし、祝日の場合は開館）、資料整理休館日、年末年始
- 8 観 覧 料：○常設展
 - ・20歳以上(学生を除く)：300円(250円)（ ）内は20名以上の団体
 - ・20歳未満及び学生：200円(150円)
 - ・高校生及び65歳以上：100円(100円)
 - ・中学生以下及び障害者手帳等をお持ちの方は無料○特別展
 - ・常設展とは別料金となり、金額は展示ごとに別途定める。○コレクション展
 - ・無料
- 9 団 体 見 学：事前にご連絡ください。
- 10 地 図



神奈川県立歴史博物館年報 令和3年度

令和5(2023)年2月14日

編集・発行 ㊦231-0006

横浜市中区南仲通5-60

神奈川県立歴史博物館

本書の無断転載を禁ず

ISSN 1346-6127

Kanagawa Kenritsu Rekishi Hakubutsu-kan

Nen-po

Annual Report of the Kanagawa Prefectural Museum of Cultural History

(2021.4~2022.3)

Kanagawa Prefectural Museum of Cultural History

Naka-ku, Yokohama, Kanagawa, JAPAN